

# 治山工種 標準施工図集

令和7年4月1日以降

中部森林管理局 治山課

## 目

## 次

工種	No.	種別	備考	凡例
土留工	土1	練石積		①
	土1-1	大転石練積		①-(1)
	土4-1	コンクリート	残存型枠(平割材)	④-(1)
	土5-1	丸太積		⑤-(1)
	土5-2	木製校倉式		⑤-(2)
	土5-3	木製枠		⑤-(3)
	土6-2	ふとんかご	かご工(A)	⑥-(2)
	土8-4	かご枠		⑧-(4)
	土13	植生土のう積		⑬
	土14	練ブロック積〔裏込礫〕		⑭
	土14-1	練ブロック積〔板状排水材〕		⑭-(1)
	土14-2	練ブロック積〔板状排水材〕	良質土を確保することが出来ない場合	⑭-(2)
		限界直高適用表	表1～表3	
水路工	水1	練石張		①
	水11-1	植生土のうA(幅1.0m)		⑪-(2)
	水11-2	植生土のうB(幅0.8m)		⑪-(2)
	水12-2	軽量植生シート		⑫-(2)
暗渠工	暗I	集束排水管		①
柵工	柵1	丸太〔3段/5段〕		++++①++++
筋工	筋1	石		--①--
	筋5	そだ		--⑤--
	筋7-1	丸太〔階段幅0.3m/0.5m〕		--⑦--
	筋7-2	丸太〔2段積/3段積〕	積タイプ	--⑦--
	筋10	植生土のう		--⑩--
伏工	伏1-1	植生マット		①
	伏1-2	植生マット	各タイプ	①
	伏2	むしろ		②

工種	No.	種別	備考	凡例
植栽工	植1	植栽	植栽(A)山腹工事等適用	○
仮設工	仮2	堤名板		
	仮3	銘板	集水井工	
	仮4	標柱		
	仮5	鉄筋階段		
	仮6	落石防護網		
	仮7-1	落石防止柵	(標準図 丸太材組立)	
	仮7-2	落石防止柵	(標準図 丸パイプ組立)	
	仮8-1	防護柵	(標準図 丸太材組立)	
仮締切工	締1	大転石練積		
	締2	大転石空積		
	締4	牛枠		
その他	他1	挿し筋	水平打継目	
	他2-1	挿し筋	補修・嵩上げ等	
	他2-2	挿し筋	補修・増厚等	
	他3	残存型枠	丸太	
	他4-1	残存型枠	平割材	
	他4-2	残存型枠	平割材(土留・擁壁)	
	他5	水路工基礎部		
	他6	ふとんかご根固		
	他7	梯子土台		

## 注意事項

治山工種標準施工図は、森林整備保全事業の積算における、施工の基準を示したものであり、寸法等は、設計の値となります。

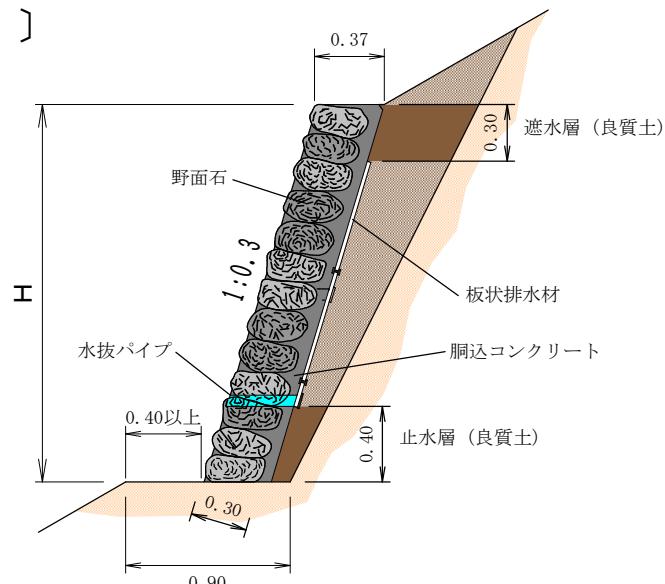
また、公共事業における事業者間の公平かつ自由な競争を維持・促進する観点から、応札者、受注者等による「同等以上の品質」の工事材料の使用を排除しているものではありません。

番号	工種	種別
土1	土留工	練石積

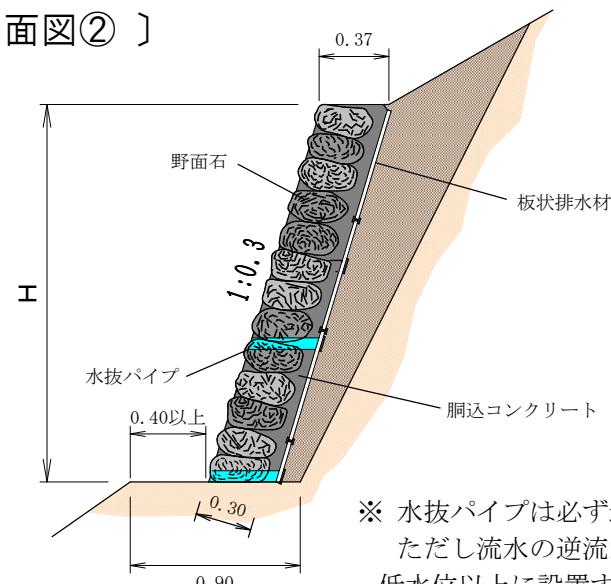
凡例	①
----	---

良質土を確保することが出来ない場合に適用

[ 側面図① ]

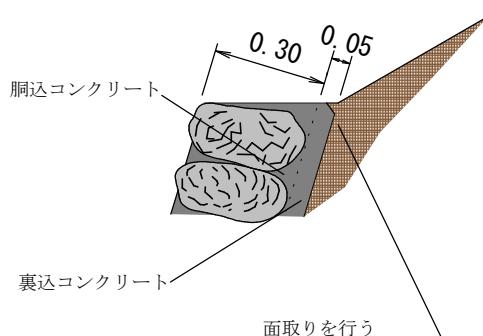


[ 側面図② ]



※ 水抜パイプは必ず最下部に設置する。  
ただし流水の逆流が懸念される場合は、  
低水位以上に設置する。

[ 拡大図 ]  
天端部分

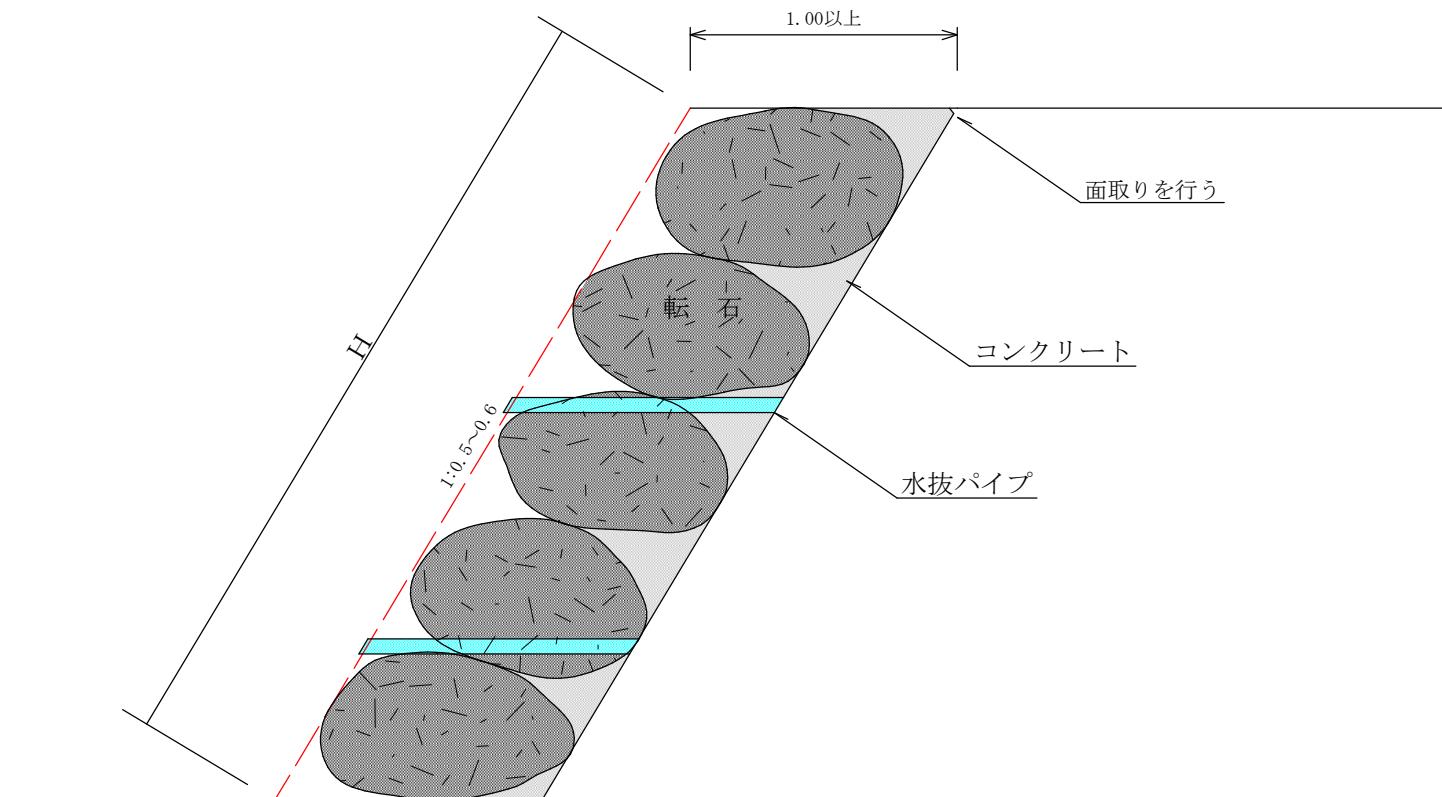


板状排水材を切断使用する場合は、基本的に最下段で調整する。また切断面は被覆する。

名 称	規 格	数 量 表		規 格
		側面図①	側面図②	
野面石	控え 30cm標準	1.00 m <sup>2</sup>		
脇込コンクリート	18-8-25N	0.25 m <sup>3</sup>	(0.22) m <sup>3</sup>	
水抜パイプ	塩ビ管VU φ50mm 長0.40m	0.33 本	0.50 [1.00] 本	①3m <sup>2</sup> 、②2 [1] m <sup>2</sup> に1箇所標準
板状排水材	厚7mm 幅30・60cm	必要量	1.00 m <sup>2</sup>	
伸縮継目	厚10mm 各種	必要量		

番号	工種	種別
土1-1	土留工	大転石練積

凡例 (1)-(1)

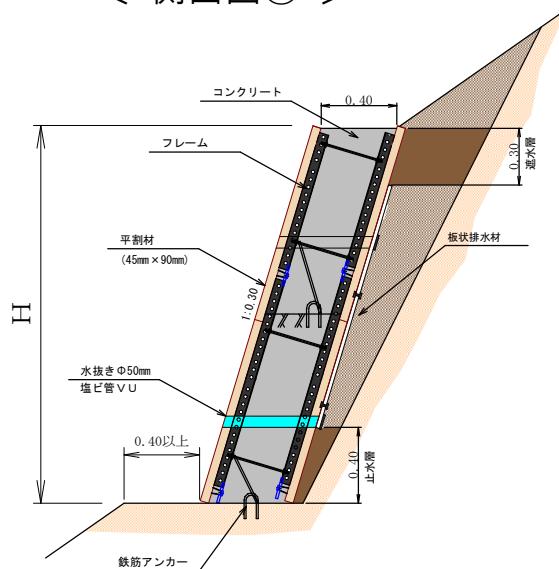


大転石練積土留工 数量表 1.0m <sup>2</sup> 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
転 石	控長0.7~1.3m 標準1.0m	1.0m <sup>2</sup>	
コンクリート	18-8-25 N	0.20m <sup>3</sup>	
水 抜 パイプ	塩ビ管 VU 径100mm 長1.1m	0.33本	
伸 縮 繰 目	各種 厚10mm	必要数量	

番号	工種	種別
土4-1	土留工	コンクリート 残存型枠(平割材)

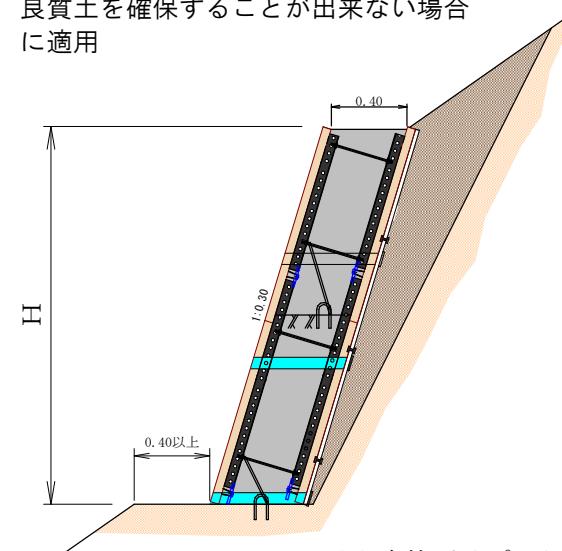
凡例  
④- (1)

[ 側面図① ]



[ 側面図② ]

良質土を確保することが出来ない場合  
に適用



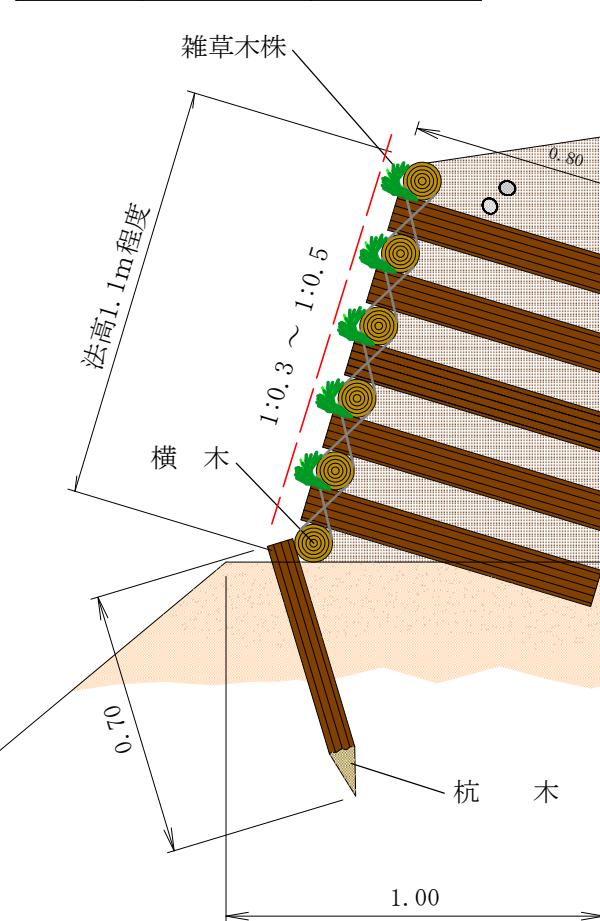
※ 水抜パイプは必ず最下部に設置する。  
ただし流水の逆流が懸念される場合は、  
低水位以上に設置する。

コンクリート土留工(曲線対応型) (間詰工)			数量表		土留工施工面積100m <sup>2</sup> 当り
名 称	規 格	数 量		備 考	
		側面図①	側面図②		
コンクリート	18-8-40 B B		42.8m <sup>3</sup>	(40.0m <sup>3</sup> ) 割増7%	
残存型枠 平割材(土留・擁壁用)	軽量鋼製枠複合式・平割材(上下流)仕様		100.0m <sup>2</sup> (施工面積)	C型セバ、付属品を含む	
平割材	45mm×90mm L2000mm		9.6m <sup>3</sup>		
水抜パイプ	塩ビ管 VU 径50mm 長0.50m	33.3本	50 [100] 本	①3・②2 [1] m <sup>2</sup> に1箇所標準	
板状排水材	厚さ7mm 幅30cm	必要量	100.0m <sup>2</sup>		
伸縮継目	厚10mm 各種	必要量			

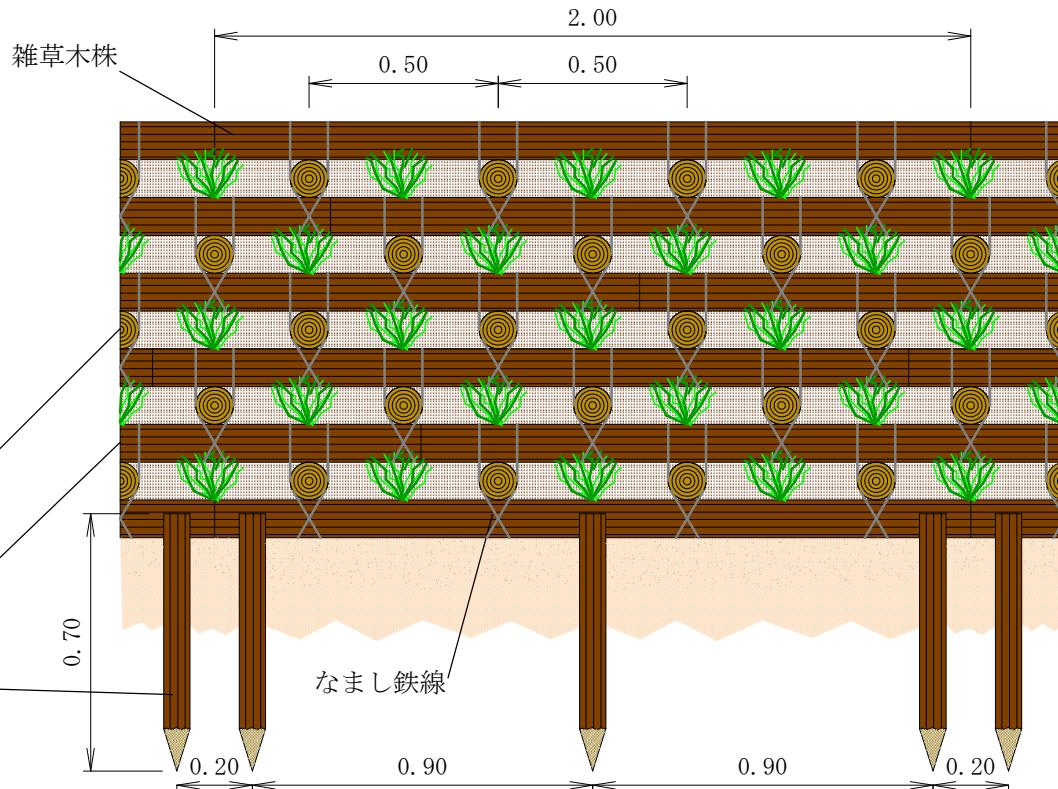
番号	工種	種別
土5-1	土留工	丸太積

凡例 (5)-(1)

[側面図]



[正面図]



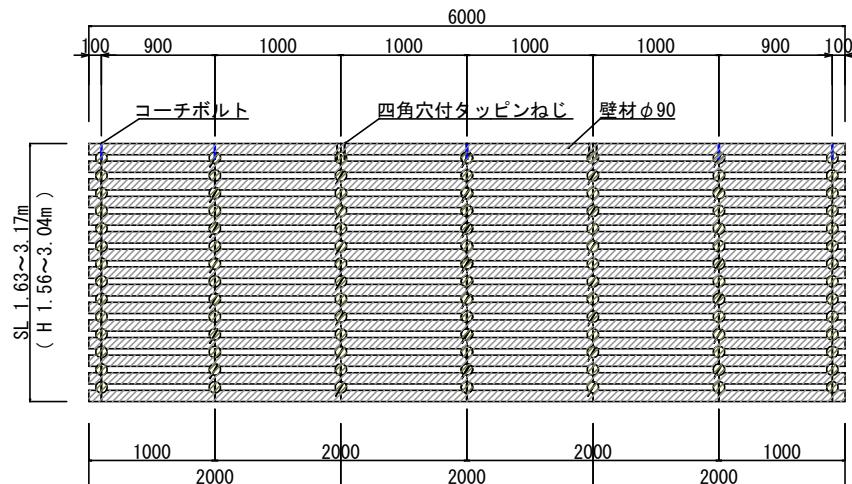
丸太積土留工 (A) 数量表			10.0m <sup>2</sup> 当り
名 称	規 格	数 量	備 考
杭木	径 8cm 以上 ・ 長さ 0.7m	13.6 本	
横木	径10cm 以上 ・ 長さ 2.0m	27.3 本	1.33m <sup>3</sup>
控木	径10cm 以上 ・ 長さ 0.8m	90.9 本	
鉄 線	なまし #10 (φ 3.2mm)	16.1 kg	
雜 草 木 株	茎長 30cm ・ 打違 1.0m繩〆	5.0 束	

記号	工種	種別
土5-2	土留工	木製校倉式

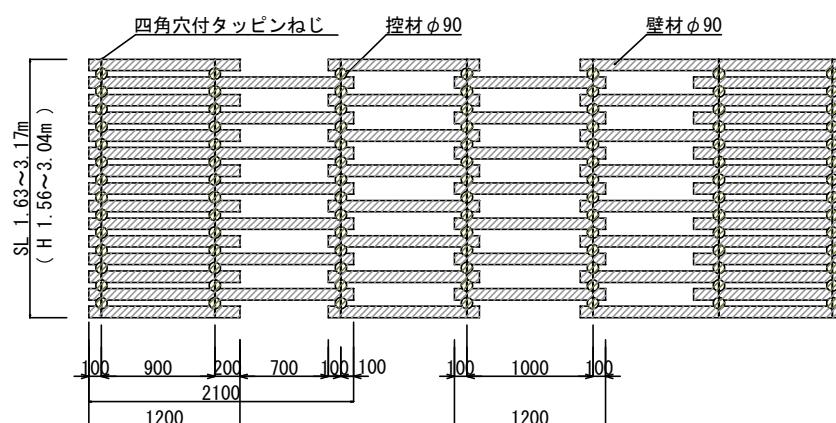
凡例	(5)-(2)
----	---------

## 〔断面図〕

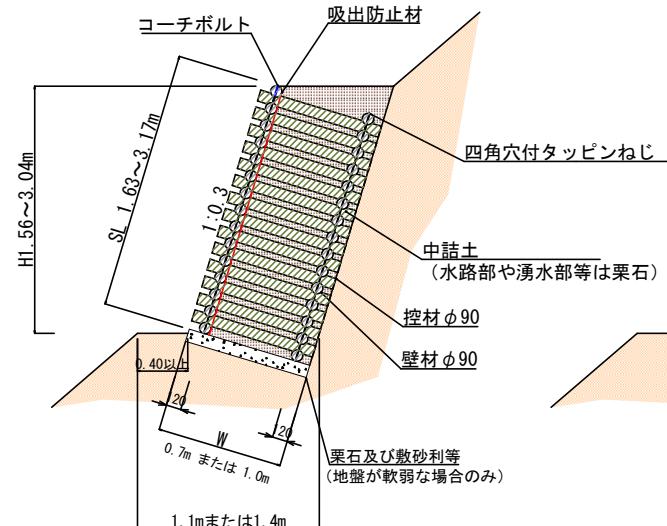
### 〔正面(展開)図〕



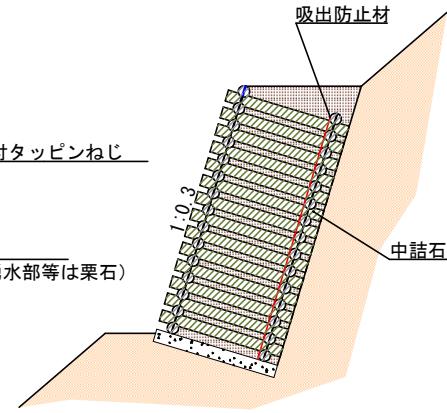
### 〔背面(展開)図〕



### 土砂詰め



### 石詰め



木材の保存処理仕様	
注入前処理	深浸潤特殊・圧縮処理加工
保存処理	ACQ加圧注入処理
品質規格	吸収量5.2kg/m <sup>3</sup> 以上、浸潤長平均12mm以上 (JAS K4相当)

### 木製校倉式土留工 数量表

10.0m<sup>2</sup> 当り

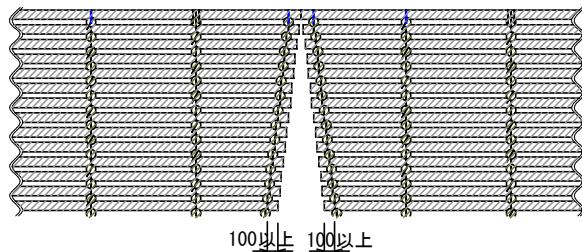
名 称	規 格	数 量		備 考
		W0.7m	W1.0m	
高耐久処理木材	φ90 L700~3000	1.17m <sup>3</sup>	1.33m <sup>3</sup>	上表「木材の保存処理仕様」による
コーチボルト	M9 L125mm	4.1本		溶融亜鉛メッキ
四角穴付タッピンねじ	#5.5 L115mm	168本		
中詰土(中詰石)	現地発生土(径20cm内外)	3.9m <sup>3</sup>	8.0m <sup>3</sup>	
吸出防止材	厚1.0cm	必要量		

記号	工種	種別
土5-2	土留工	木製校倉式

凡例 (5)-(2)

参考：谷折れ部分

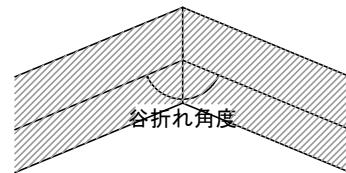
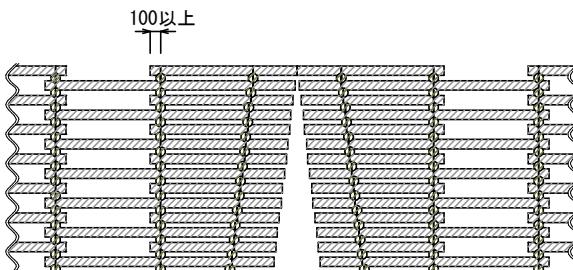
〔正面（展開）図〕



※ 山折れの場合は別途

※ 谷折れ角度135°未満は別途

〔背面（展開）図〕



谷折れ角度	材長減少値
135°	17mm/段
140°	15mm/段
150°	11mm/段
160°	7mm/段

〔計算例〕

折れ角度135°の場合

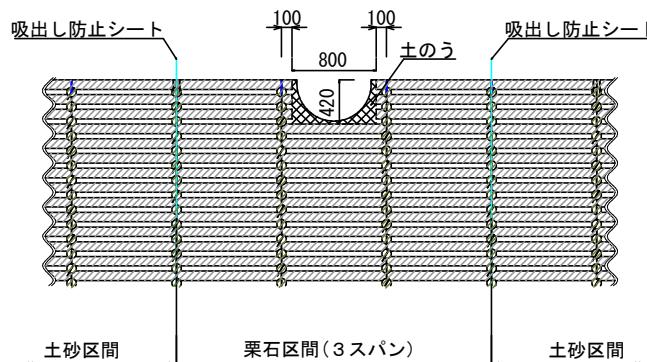
1段目材長 2000-17×0 = 2000mm

2段目材長 2000-17×1 = 1980mm

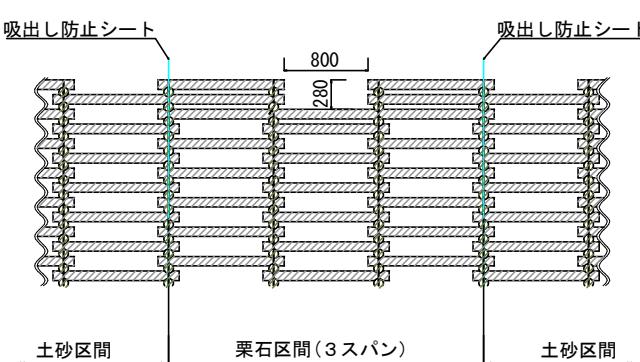
3段目材長 2000-17×2 = 1960mm

参考：水路口部分

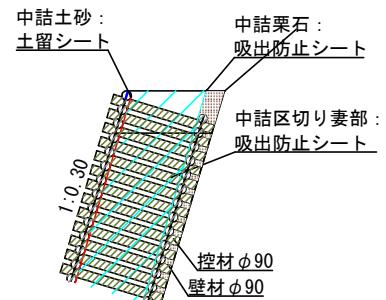
〔正面（展開）図〕



〔背面（展開）図〕



〔断面図〕



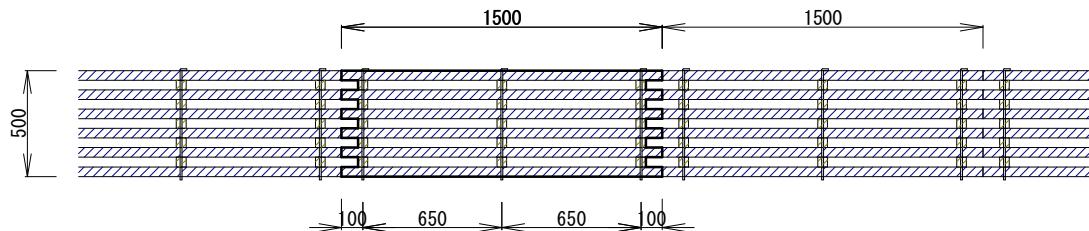
吸出し防止シート数量

$$= (\text{背面面積} + \text{妻部面積} \times 2) \times 1.1$$

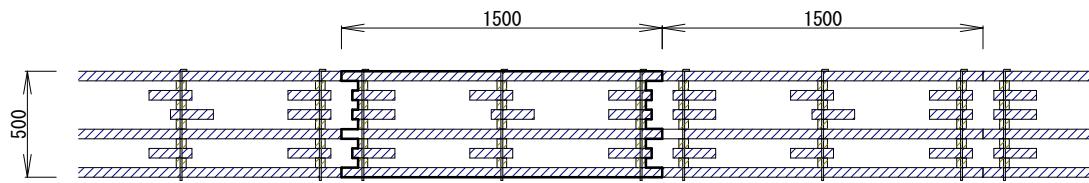
記号	工種	種別
土5-3	土留工	木製枠工

凡例 (5-3)

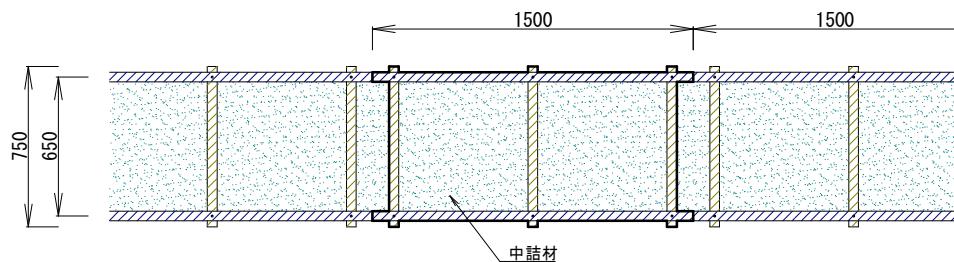
〔正面図〕



〔背面図〕

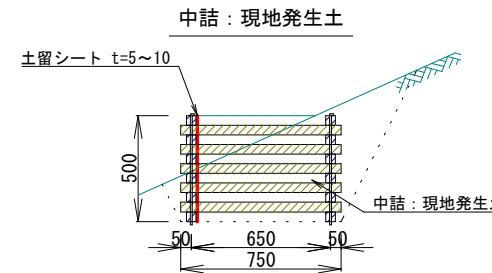


〔平面図〕

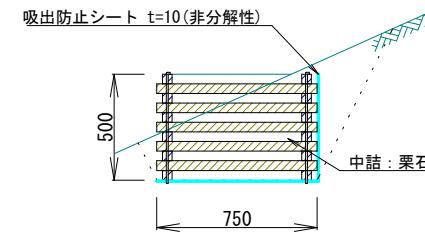


単位 mm

〔断面図〕



〔断面図〕



木材の保存処理仕様	
注入前処理	インサイング+深浸潤特殊・圧縮処理加工
加圧注入処理	JIS A 9002による
保存処理薬剤	マイトレックACQ (JIS K 1570, ACQ-1)
品質規格	吸水量5.2kg/m <sup>3</sup> 以上、浸潤長平均12mm以上 (JAS K4相当)
1基あたり木材使用量	L=1.5m規格: 0.0531m <sup>3</sup> , L=0.75m規格: 0.0309m <sup>3</sup>

木製枠工 数量表

10.0m 当り

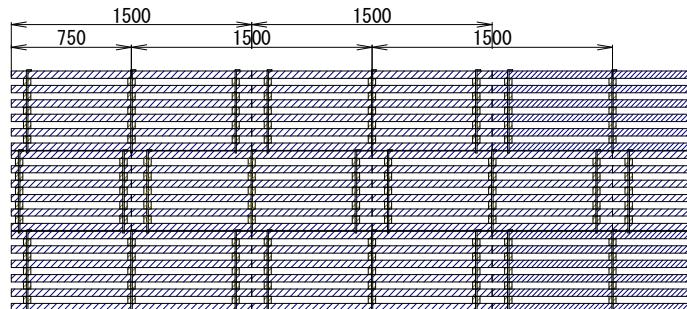
名 称	規 格	数 量	備 考
(ユニット式・高耐久) 木製枠	L=1.5m, H=0.5m, W=75cm	6.67 基	「木材の保存処理仕様」の通り
土 留 シ ト	t = 5~10mm	5.4m <sup>2</sup>	-
吸出し防止シート	t = 10mm (非分解性)	-	13.4m <sup>2</sup> (0.75m+0.5m) × 10m × 1.07
	現地発生土砂	2.9m <sup>3</sup>	-
中 詰 材	栗石 50~150mm	-	2.7m <sup>3</sup>

記号	工種	種別
土5-3	土留工	木製枠工

凡例  
⑤-(3)

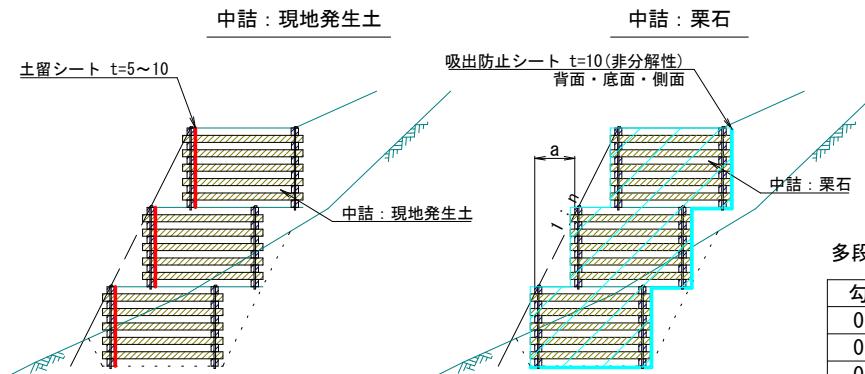
使用例：多段積

〔正面図〕



※ 上段下段はちどりで配列  
※ 端部についてL=0.75mタイプ使用可

〔断面図〕



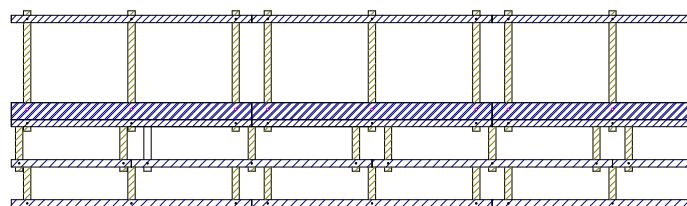
勾配	a
0.3	150
0.4	200
0.5	250
0.6	300

※ 積勾配1:0.5・3段積みの場合  

$$\{(0.75m+0.75m \times 3) \times 10m/3 + 0.375m^2 \times 3\} \times 1.07$$
 より  
吸出し防止シート 11.9m<sup>2</sup>/10m 使用

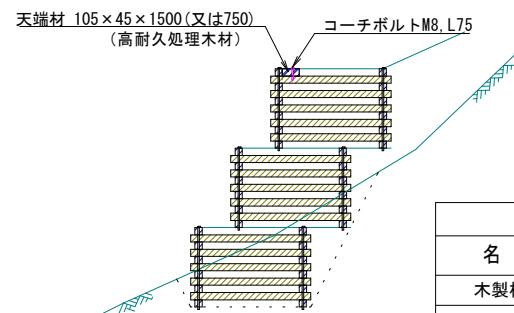
使用例：積雪エリア（グライド対策あり）

〔平面図〕



※ 最上段部に天端材を設置  
※ 天端材は現場にてコーチボルトにより取付ける

〔断面図〕



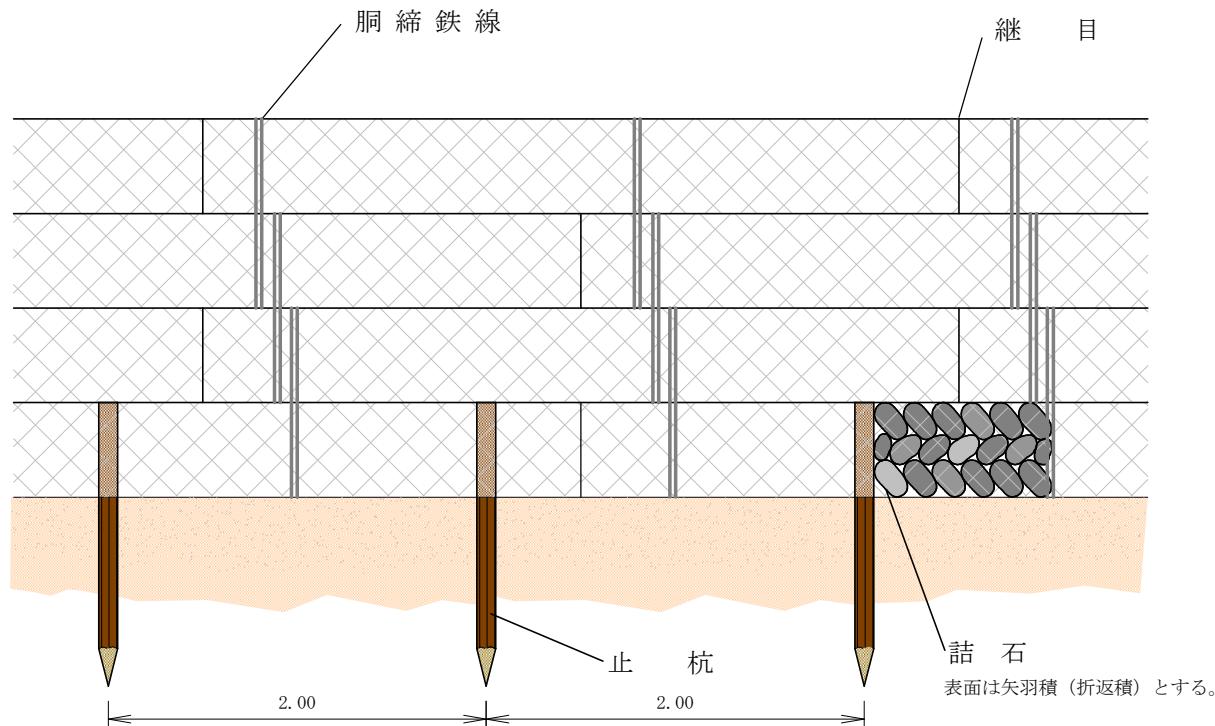
天端材設置 数量表			
名 称	規 格	数 量	備 考
木製枠用 天端材	105×45×1500	6.67 枚	「木材の保存処理仕様」の通り
コーチボルト	M8, L75	20.0 本	溶融亜鉛めっき

単位 mm

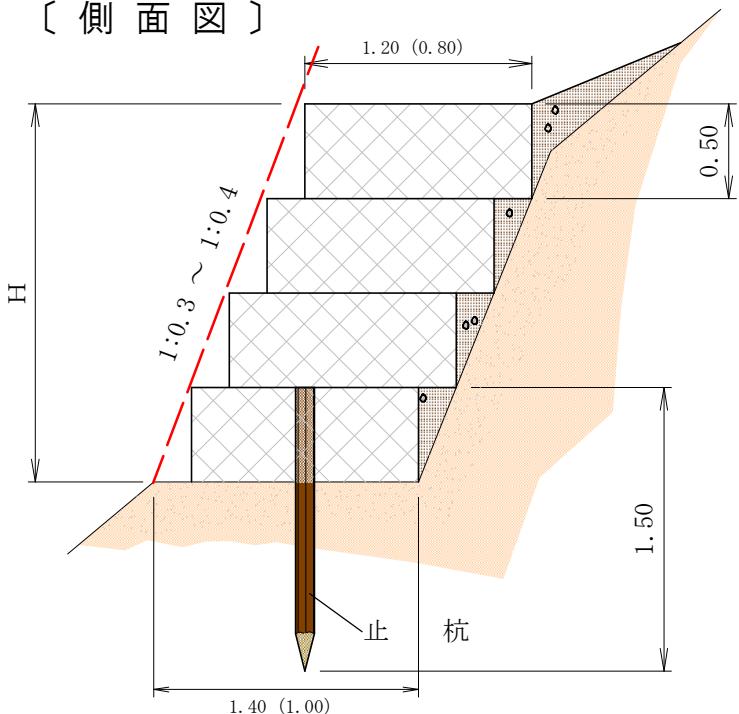
番号	工種	種別
土6-2	土留工	ふとんかご (A)

凡例 (6)-(2)

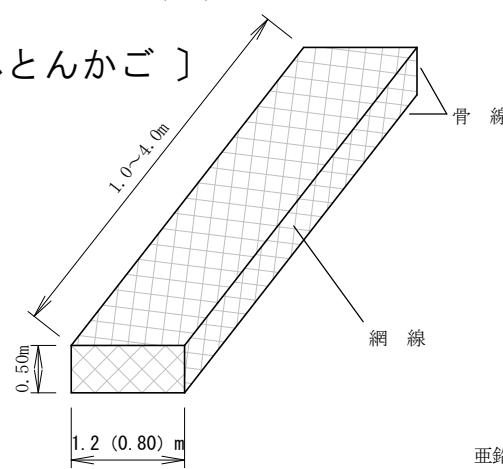
[正面図]



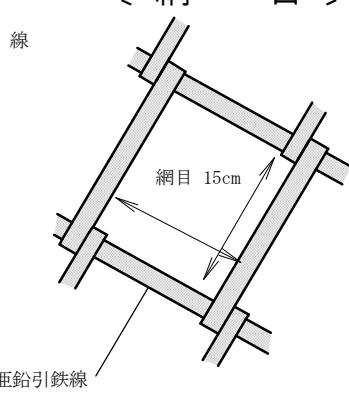
[側面図]



[ふとんかご]



[網目]



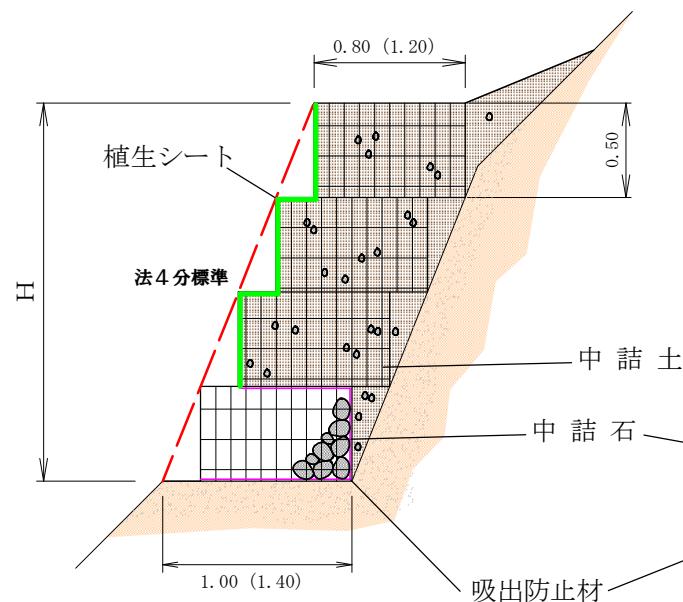
※ 直高 (H) は、2m以下

ふとんかご土留工 (A) 数量表 10.0m 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
ふとんかご	網目15cm なまし #8 ( $\phi 4.0\text{mm}$ )	10.0m	
詰 石	径 20cm内外	3.8m <sup>3</sup>	B=0.8m H=0.5m
		5.7m <sup>3</sup>	B=1.2m H=0.5m
止 杭	末口径 10cm ・ 長さ1.5m以上	0.08m <sup>3</sup>	(5本)
脣 締 鉄 線	なまし #8 ( $\phi 4.0\text{mm}$ )	必要量	

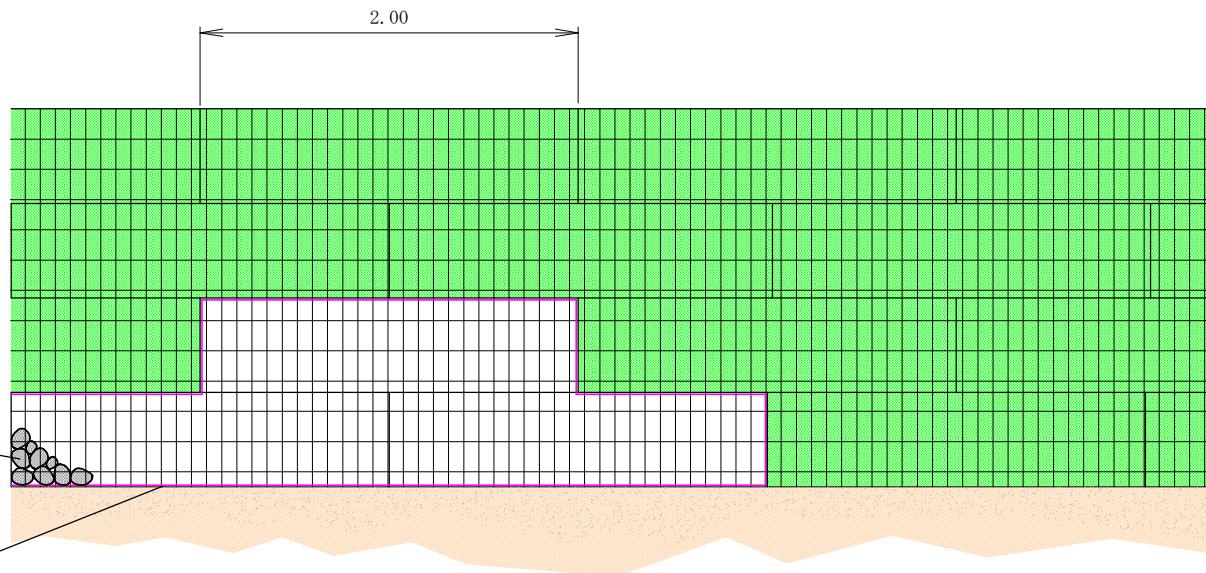
番号	工種	種別
土8-4	土留工	かご枠

凡例 (8)-(4)

[側面図]



[正面図]



※ 直高 (H) が 2 m を超える場合は、安定計算をすること。

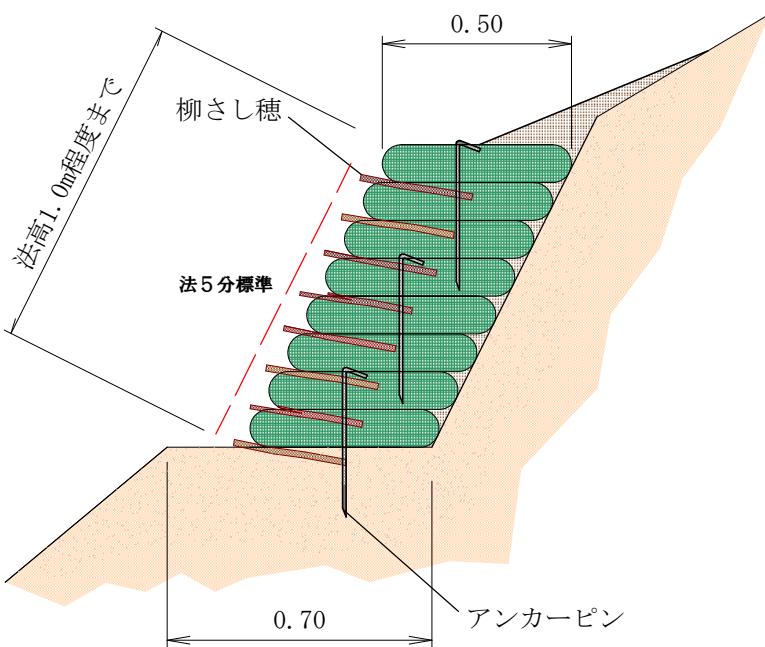
かご枠土留工 (土砂詰) 数量表 10.0m <sup>2</sup> 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
かご枠	H=0.5m B=0.8 (1.2) m	10.0m <sup>2</sup>	植生シートを含む
中詰土	現 地 産	8.0m <sup>3</sup> 12.0m <sup>3</sup>	B=0.8m B=1.2m

かご枠土留工 (石詰) 数量表 10.0m <sup>2</sup> 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
かご枠	H=0.5m B=0.8 (1.2) m	10.0m <sup>2</sup>	
中詰石	径20 cm内外	7.6m <sup>3</sup> 11.4m <sup>3</sup>	B=0.8m B=1.2m
吸出防止材	厚1.0cm	必要量	
適用			・背面に湧水がある場合や流水に接する箇所。 ・中詰に土砂を確保することができない場合。

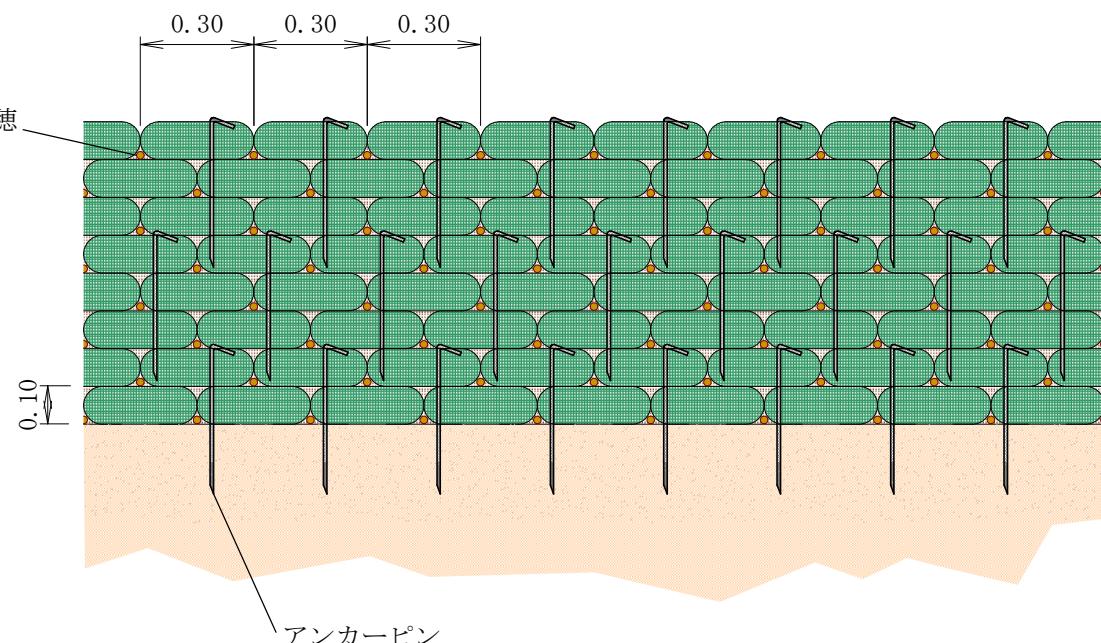
番号	工種	種別
土13	土留工	植生土のう積

凡例 (13)

[側面図]



[正面図]

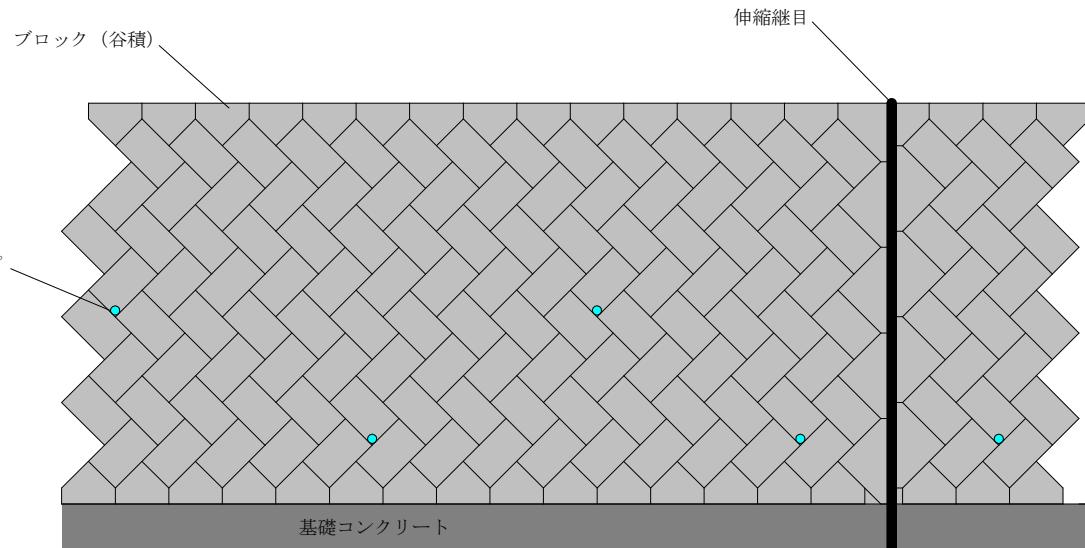


植生土のう積土留工 数量表 1.0m <sup>2</sup> 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
植 生 土 の う	仕上寸法 0.5 * 0.3 * 0.1m	30.0 枚	
柳 さ し 穂	径 2cm程度 ・ 長さ 30cm程度	30.0 本	
中 詰 土	現 地 産	0.54m <sup>3</sup> ( 0.45m <sup>3</sup> )	
アンカーピン	Φ 9.0mm 長さ 400mm フック付	10.0 本	

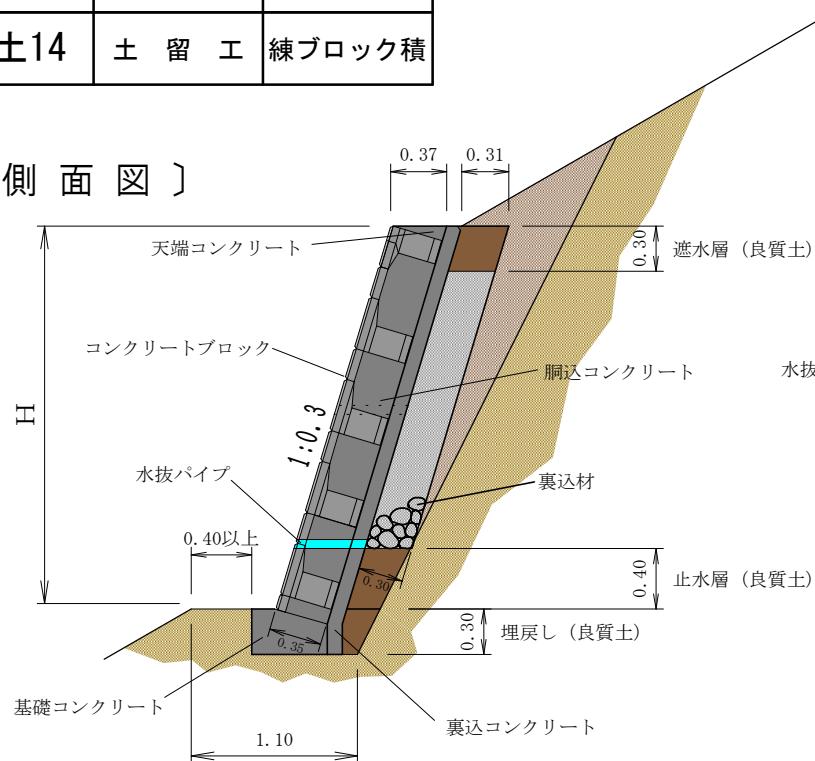
番号	工種	種別
土14	土留工	練ブロック積

凡例	(14)
----	------

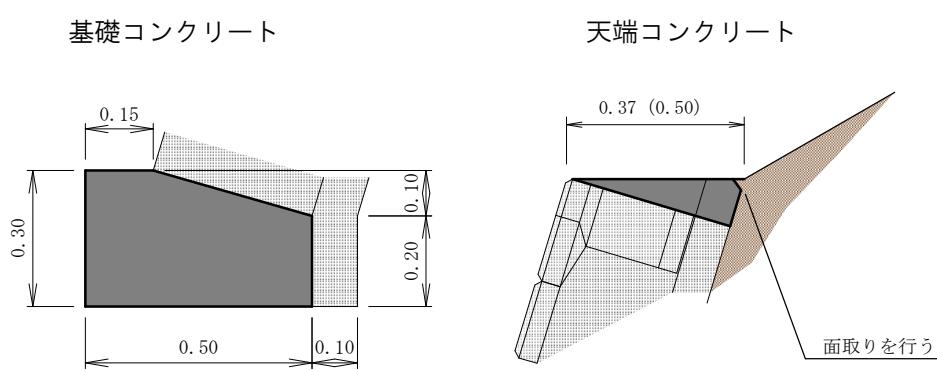
## [正面図]



## [側面図]



## [拡大図]



練ブロック積土留工 数量表 1.0m <sup>2</sup> 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
コンクリートブロック	控え 35cm	1.00m <sup>2</sup>	
胴込コンクリート	18-8-25 N BB	0.25m <sup>3</sup>	(0.22m <sup>3</sup> )
裏込コンクリート	18-8-25 N BB	0.11m <sup>3</sup>	(0.10m <sup>3</sup> )
天端コンクリート	18-8-25 N BB	0.03m <sup>3</sup>	(0.03m <sup>3</sup> )
裏込材 (クラッシャラン)	径 5 ~ 15cm	0.34m <sup>3</sup>	(0.30m <sup>3</sup> )
水抜パイプ	塩ビ管 VU φ50mm 長0.50m	0.33本	3m <sup>2</sup> に1箇所標準
伸縮継目	厚さ10mm 各種	必要量	

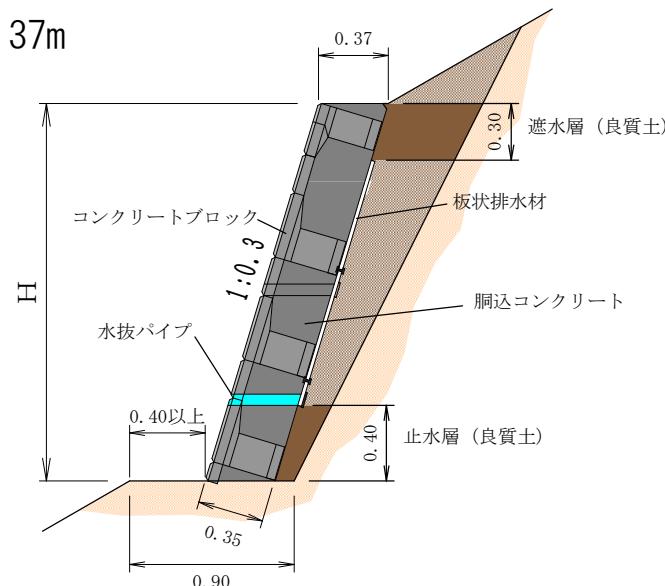
基礎コンクリート 数量表 1.0m <sup>2</sup> 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
基礎コンクリート	18-8-25 N BB	0.14m <sup>3</sup>	(0.13m <sup>3</sup> )

番号	工種	種別
土14-1	土留工	練ブロック積 (板状排水材)

凡例 (14)-(1)

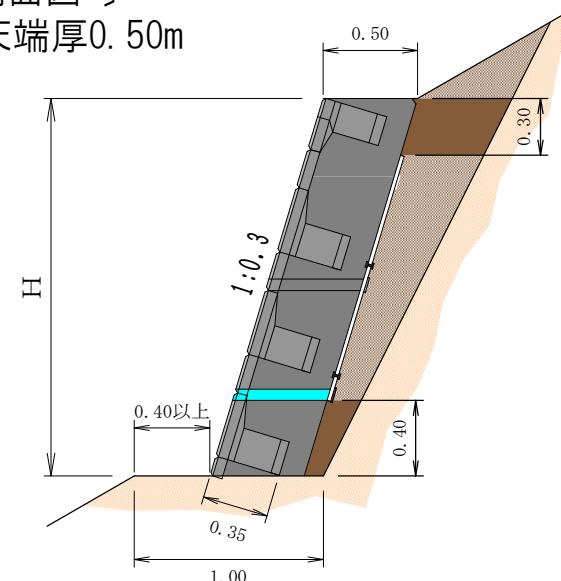
[ 側面図 ]

天端厚0.37m



[ 側面図 ]

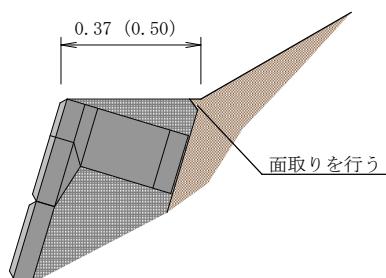
天端厚0.50m



[ 拡大図 ]

天端部分

※板状排水材を切断使用する場合は、基本的に最下段で調整する。また切断面は被覆する。



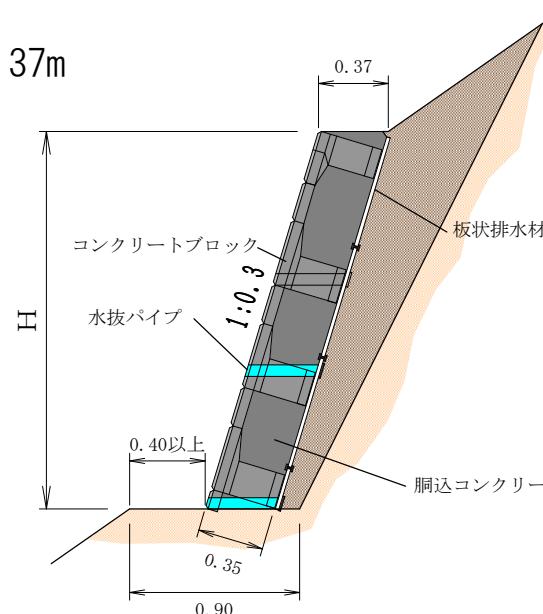
練ブロック積 (土留工・間詰工) 幅0.37 (0.50)			数量表	1.0m2 当り
名 称	規 格	数 量	規 格	
コンクリートブロック	控え 35cm	1.00 m2		
胴込コンクリート	18-8-25N	0.25 [0.39] m3	(0.22) [(0.35)] m3	
水抜パイプ	塙ビ管VU $\phi 50\text{mm}$ 長0.40 [0.50] m	1.00 本	3m2に1箇所標準	
板状排水材	厚7mm 幅30・60cm	必要量		
伸縮継目	厚10mm 各種	必要量		

番号	工種	種別
土14-2	土留工	練ブロック積 (板状排水材)

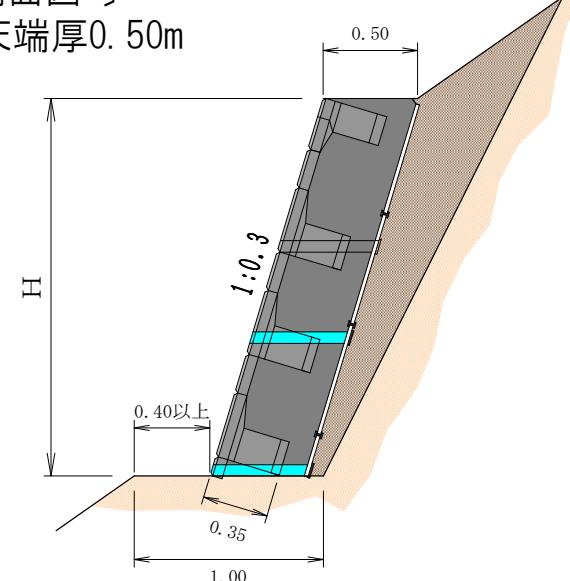
凡例 (14)-(2)

良質土を確保することが出来ない場合

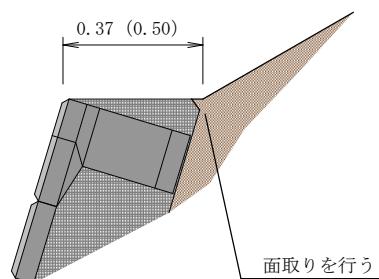
[ 側面図 ]  
天端厚0.37m



[ 側面図 ]  
天端厚0.50m



[ 拡大図 ]  
天端部分



※1 板状排水材を切断使用する場合は、基本的に最下段で調整する。また切断面は被覆する。

※2 水抜パイプは必ず最下部に設置する。ただし流水の逆流が懸念される場合は、低水位以上に設置する。

練ブロック積 (土留工・間詰工) 幅0.37 [0.50]		数量表	
名 称	規 格	数 量	規 格
コンクリートブロック	控え 35cm	1.00 m <sup>2</sup>	
胴込コンクリート	18-8-25N	0.25 [0.39] m <sup>3</sup>	(0.22) [(0.35)] m <sup>3</sup>
水抜パイプ	塩ビ管VU $\phi$ 50mm 長0.40 [0.50] m	0.50 本	土留工: 2m <sup>2</sup> に1箇所標準
		1.00 本	間詰工: 1m <sup>2</sup> に1箇所標準
板状排水材	厚7mm 幅30・60cm	1.00 m <sup>2</sup>	
伸縮継目	厚10mm 各種	必要量	

## 限界直高適用表 1

施工地域：長野県内全域・富山県東部・愛知県内全域

NW-Cコンクリート（もたれ）

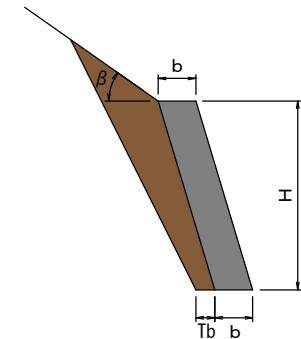
適用番号：土4-1

### 限界直高適用表 1-① 止水・遮水層は良質土 $\phi 30^\circ$ を使用する場合

基礎地盤	砂質・普通土： $f = 0.6$						礫層・岩碎： $f = 0.7$					
	砂質・普通土： $\phi 30^\circ$			礫質土他： $\phi 32^\circ$			砂質・普通土： $\phi 30^\circ$			礫質土他： $\phi 32^\circ$		
番号	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1	土4-1	土1①, 14-1	土14-1	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1
傾斜角	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m
$\beta 0^\circ$	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00	3.00	2.50	3.00
$\beta 10^\circ$	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
$\beta 25^\circ$	2.00	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00
$\beta 30^\circ$	1.50	1.50	2.50	2.00	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00
$\beta 35^\circ$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

NW-Bコンクリートブロック（もたれ）

適用番号：土1・土14-1, 2



### 限界直高適用表 1-② 良質土を確保することが出来ない場合

基礎地盤	砂質・普通土： $f = 0.6$						礫層・岩碎： $f = 0.7$					
	砂質・普通土： $\phi 30^\circ$			礫質土： $\phi 35^\circ$			砂質・普通土： $\phi 30^\circ$			礫質土： $\phi 35^\circ$		
番号	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2
傾斜角	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m
$\beta 0^\circ$	2.00	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00	2.50	2.50	3.00	3.00	—	—
$\beta 10^\circ$	2.00	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00	2.50	2.00	3.00	3.00	—	—
$\beta 25^\circ$	2.00	1.50	2.50	2.50	2.50	3.00	2.00	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
$\beta 30^\circ$	1.50	1.50	2.50	2.50	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
$\beta 35^\circ$	—	—	—	2.50	2.00	3.00	—	—	2.50	2.50	2.50	3.00

#### 〔 設計条件 〕

h : 壁高 3.0m以下

b : 天幅厚 0.37~0.5m

n : 表のり 1 : 0.3

m : 裏のり 1 : -0.3

Ts : 挖削勾配 1 : 0.5

Tb : 余堀幅 0.1m

$\omega$  : 壁体単位体積重量 22.6KN/m<sup>3</sup>

s : 背面土単位体積重量 18.0KN/m<sup>3</sup>

$\beta$  : 地表面傾斜角 35° 以下

$\phi$  : 背面土内部摩擦角 30~40°

Qa : 許容地耐力 200KN/m<sup>2</sup>

## 限界直高適用表2

施工地域：岐阜県内全域・富山県西部

### 限界直高適用表2-① 止水・遮水層は良質土 $\phi 30^\circ$ を使用する場合

基礎地盤	砂質・普通土: $f = 0.6$						礫層・岩碎: $f = 0.7$					
	砂質・普通土: $\phi 30^\circ$			礫質土他: $\phi 32^\circ$			砂質・普通土: $\phi 30^\circ$			礫質土他: $\phi 32^\circ$		
番号	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1	土4-1	土1①, 14-1	土14-1	土4-1②	土1①, 14-1	土14-1
傾斜角	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m
$\beta 0^\circ$	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
$\beta 10^\circ$	2.00	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
$\beta 25^\circ$	1.50	1.50	2.50	2.00	2.00	2.50	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00
$\beta 30^\circ$	1.50	1.50	2.50	2.00	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00
$\beta 35^\circ$	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

### 限界直高適用表2-② 良質土を確保することが出来ない場合

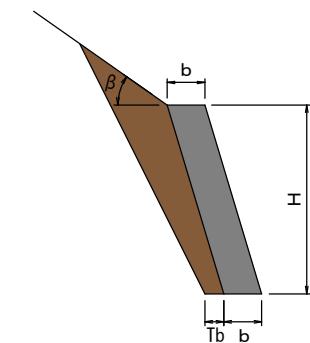
基礎地盤	砂質・普通土: $f = 0.6$						礫層・岩碎: $f = 0.7$					
	砂質・普通土: $\phi 30^\circ$			礫質土: $\phi 35^\circ$			砂質・普通土: $\phi 30^\circ$			礫質土: $\phi 35^\circ$		
番号	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2
傾斜角	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m
$\beta 0^\circ$	2.00	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00	2.50	2.00	3.00	3.00	—	—
$\beta 10^\circ$	2.00	1.50	2.50	3.00	2.50	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	3.00	—
$\beta 25^\circ$	1.50	1.50	2.50	2.50	2.50	3.00	2.00	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
$\beta 30^\circ$	1.50	1.50	2.50	2.50	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
$\beta 35^\circ$	—	—	—	2.50	2.00	3.00	—	—	—	2.50	2.50	3.00

NW-Cコンクリート（もたれ）

適用番号：土4-1

NW-Bコンクリートブロック（もたれ）

適用番号：土1・土14-1, 2



#### 〔 設計条件 〕

h : 壁高 3.0m以下

b : 天幅厚 0.37~0.5m

n : 表のり 1:0.3

m : 裏のり 1:-0.3

Ts : 挖削勾配 1:0.5

Tb : 余堀幅 0.1m

$\omega$  : 壁体単位体積重量 22.1KN/m<sup>3</sup>

s : 背面土単位体積重量 18.0KN/m<sup>3</sup>

$\beta$  : 地表面傾斜角 35° 以下

$\phi$  : 背面土内部摩擦角 30~40°

Qa : 許容地耐力 200KN/m<sup>2</sup>

### 限界直高適用表3 (木製校倉式土留工)

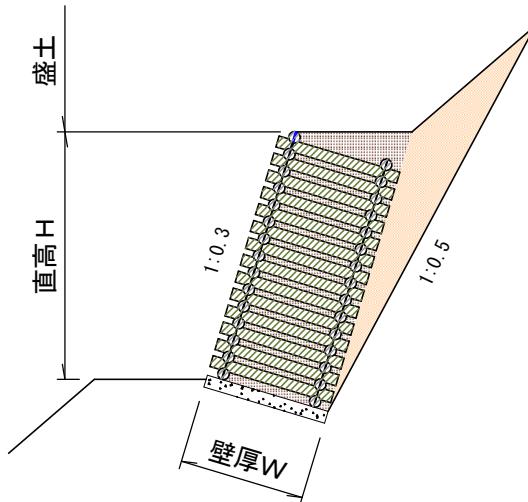
数値 (H) は限界直高

背面土 控長 傾斜角	砂質・普通土 : $\phi 30^\circ$		礫質土 : $\phi 35^\circ$	
	W0.7m	W1.0m	W0.7m	W1.0m
$\beta = 0^\circ$	1.96	3.04	1.96	3.04
$\beta = 10^\circ$	1.96	3.04	1.96	3.04
$\beta = 25^\circ$	1.56	2.50	1.96	3.04
$\beta = 30^\circ$	—	1.56	1.96	3.04
$\beta = 35^\circ$	—	—	—	1.96

※H=3.04mをこえる場合は別途検討

※W=1.0mをこえる場合は別途検討

### 基本条件 適用番号 : 土5-2



H : 壁高 3.04m以下

W : 壁厚 0.7mまたは1.0m

n : 表のり 1:0.3

m : 裏のり 1:-0.3

Ts : 堀削勾配 1:0.5

Tb : 余堀幅 0.0m

$\omega$  : 木材単位体積重量 8.0KN/m<sup>3</sup>

s : 背面土単位体積重量 18.0KN/m<sup>3</sup>

中詰土 : 現地発生土 18.0KN/m<sup>3</sup>

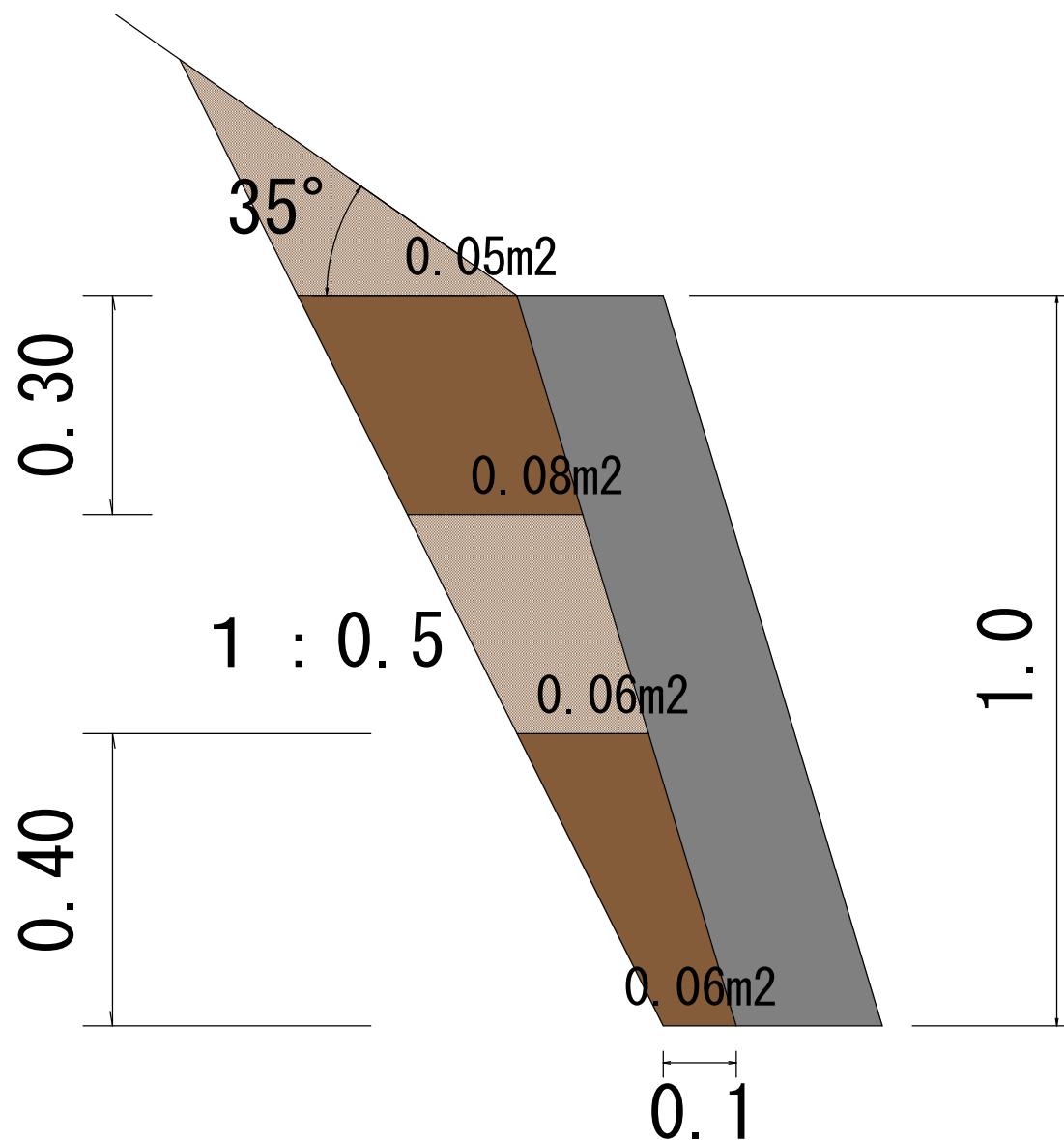
$\beta$  : 地表面傾斜角 35° 以下

$\phi$  : 背面土内部摩擦角 30~35°

f : 基礎地盤摩擦係数 0.6~0.7

Qa : 許容地耐力 200KN/m<sup>2</sup>

## 止水・遮水層を施工した場合の背面土の内部摩擦角

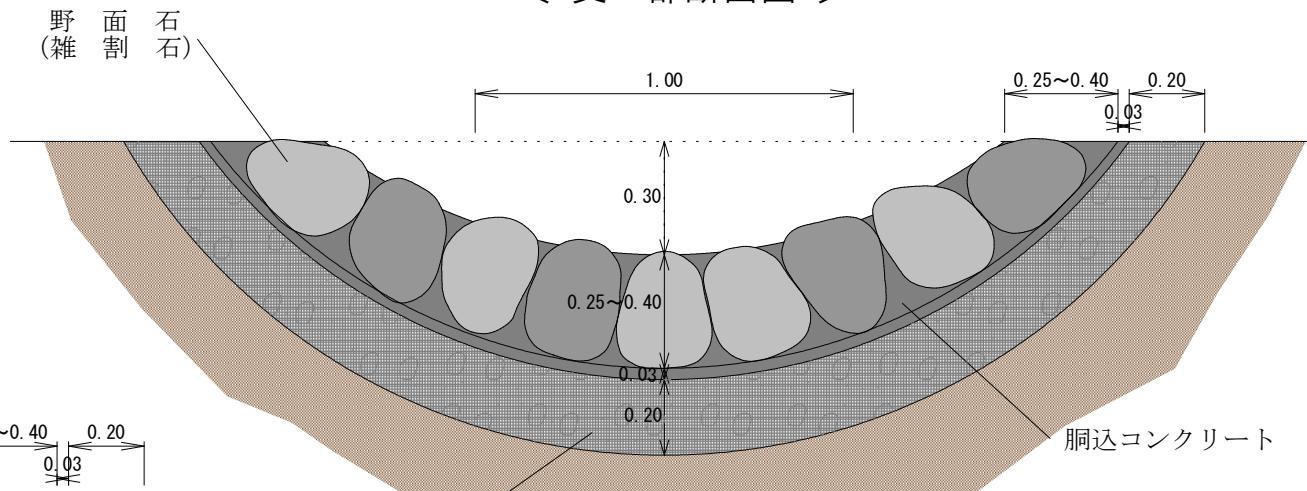


$$\left( (0.05+0.06) \times 35 + (0.08+0.06) \times 30 \right) \bigg/ (0.05+0.06+0.08+0.06) = 32.2^\circ$$
$$\therefore 32^\circ$$

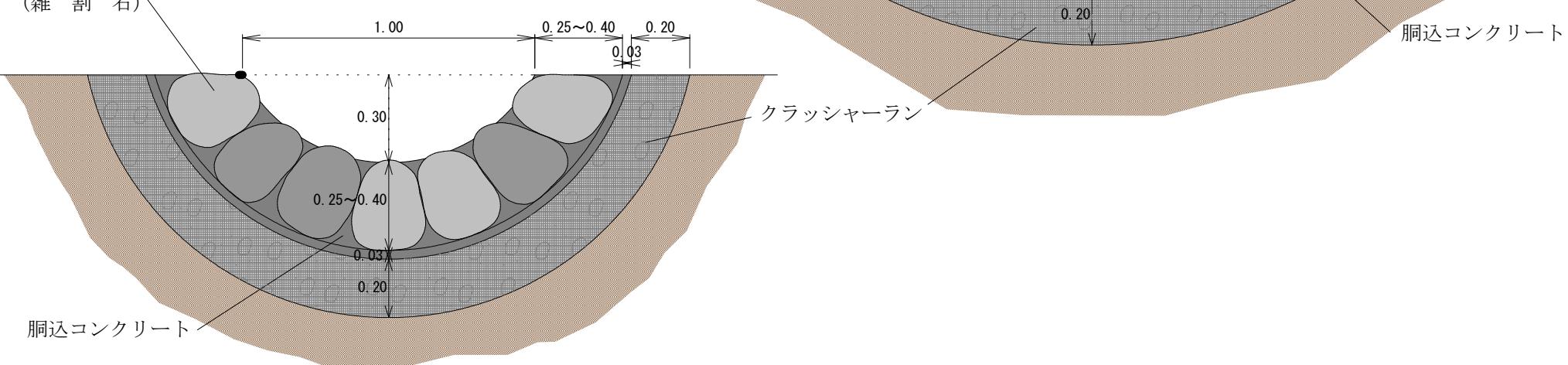
番号	工種	種別
水1	水路工	練石張

凡例	①
----	---

[受口部断面図]



[水路部断面図]

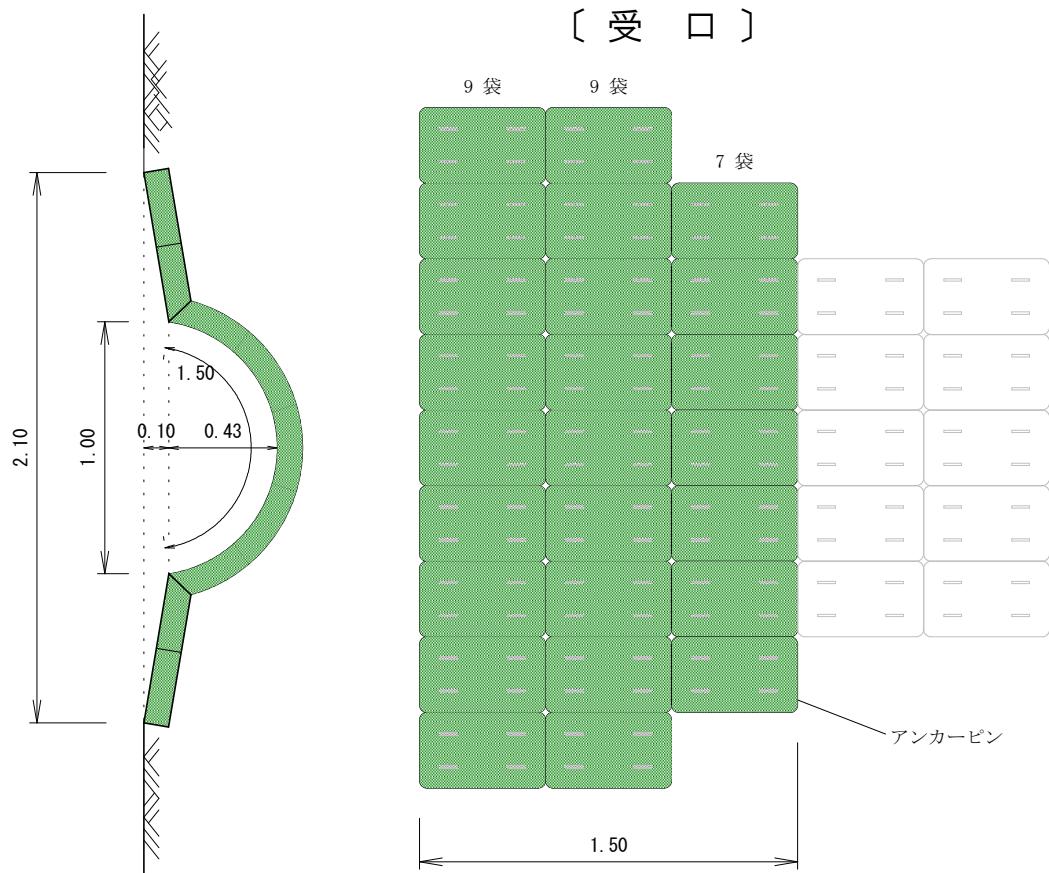


名称	規格	練石張水路工 数量表				練石張水路工(受口)数量表				備考
		控長 0.25m	控長 0.30m	控長 0.35m	控長 0.40m	控長 0.25m	控長 0.30m	控長 0.35m	控長 0.40m	
野面石	25cm~40cm	36 個	24 個	18 個	—	14 個	101個	68 個	40 個	—
雜割石	35cm	—	—	—	18 個	—	—	—	51 個	—
胴込コンクリート	18-8-25 N	0.19 m <sup>3</sup>	0.22 m <sup>3</sup>	0.27 m <sup>3</sup>	0.33 m <sup>3</sup>	0.33 m <sup>3</sup>	0.32 m <sup>3</sup>	0.37 m <sup>3</sup>	0.51 m <sup>3</sup>	0.41 m <sup>3</sup>
クラッシャーラン	径40mm以下	0.52 m <sup>3</sup>	0.55 m <sup>3</sup>	0.59 m <sup>3</sup>	0.60 m <sup>3</sup>	1.78 m <sup>3</sup>	1.88 m <sup>3</sup>	1.93 m <sup>3</sup>	2.05 m <sup>3</sup>	ロス率含む

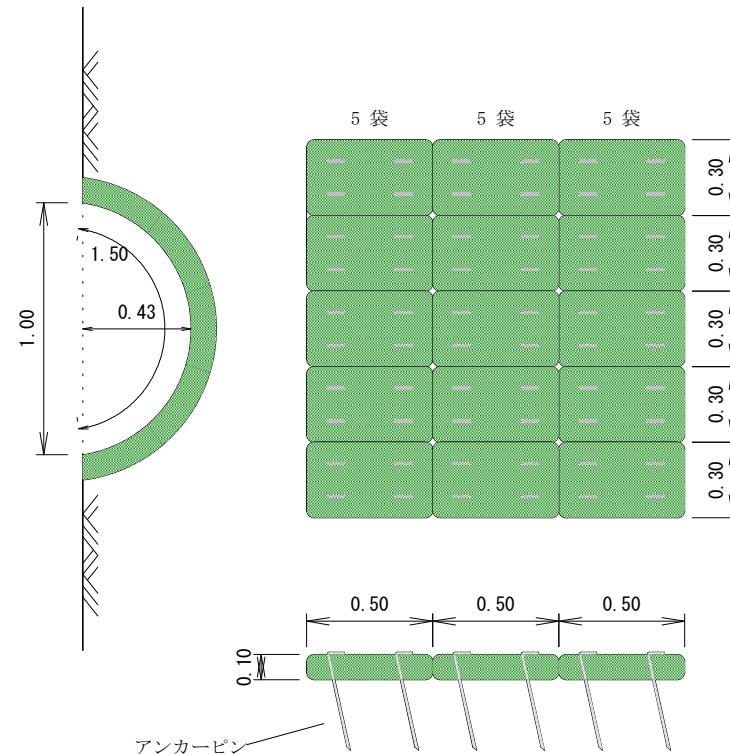
番号	工種	種別
水11-1	水路工	植生土のう(A)

凡例 (11)-(2)

[受口]



[水路工]

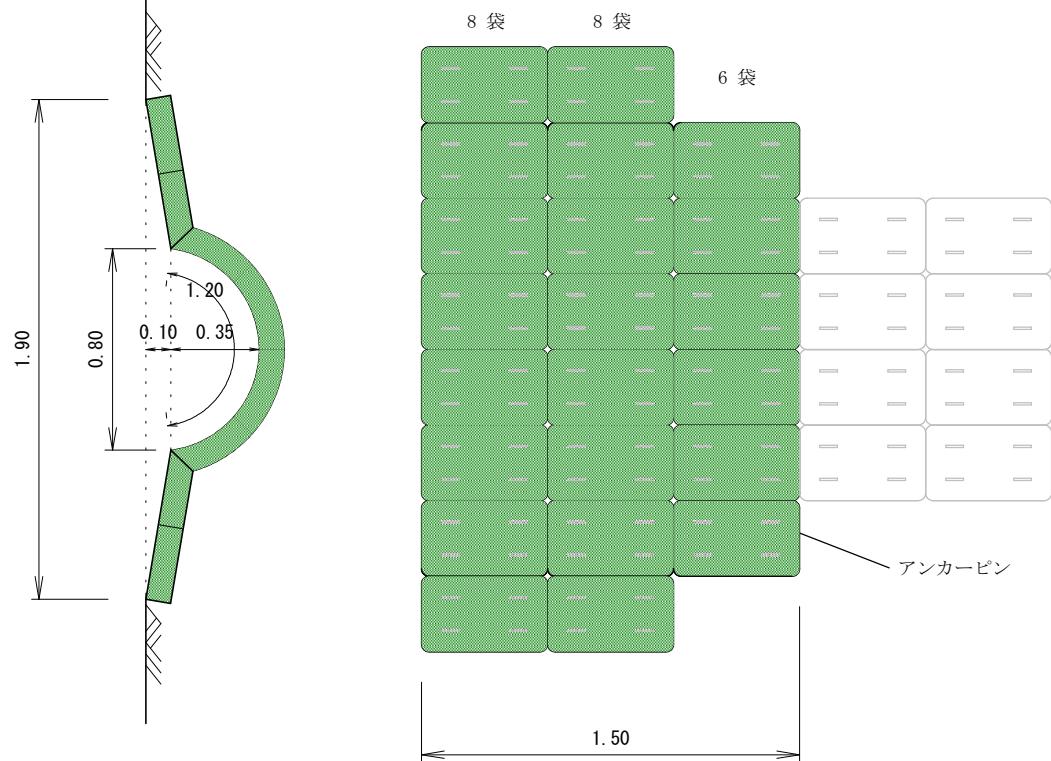


植生土のう水路工(A) 数量表			10.0m 当り	(A) 受口 1箇所 当り	
名 称	規 格	数 量	備 考	数 量	備 考
植生土のう	0.3 * 0.5 * 0.1m	100.0袋		25.0袋	
アンカーピン	φ9mm・長さ400mm フック付	400.0本	4本/1袋	100.0本	4本/1袋
中詰土		1.80m <sup>3</sup>	(1.50m <sup>3</sup> )	0.46m <sup>3</sup>	(0.38m <sup>3</sup> )

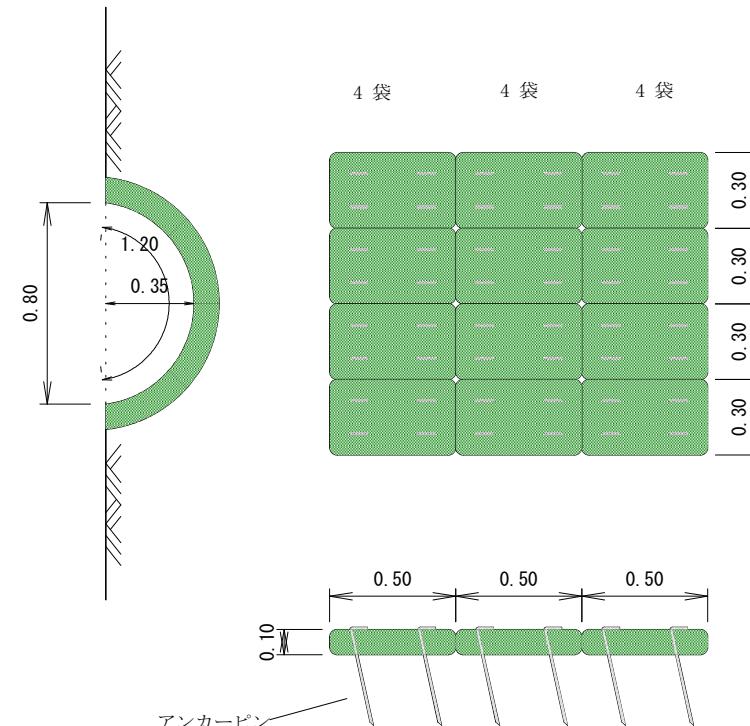
番号	工種	種別
水11-2	水路工	植生土のう(B)

凡例 (11)-(2)

[受口]



[水路工]

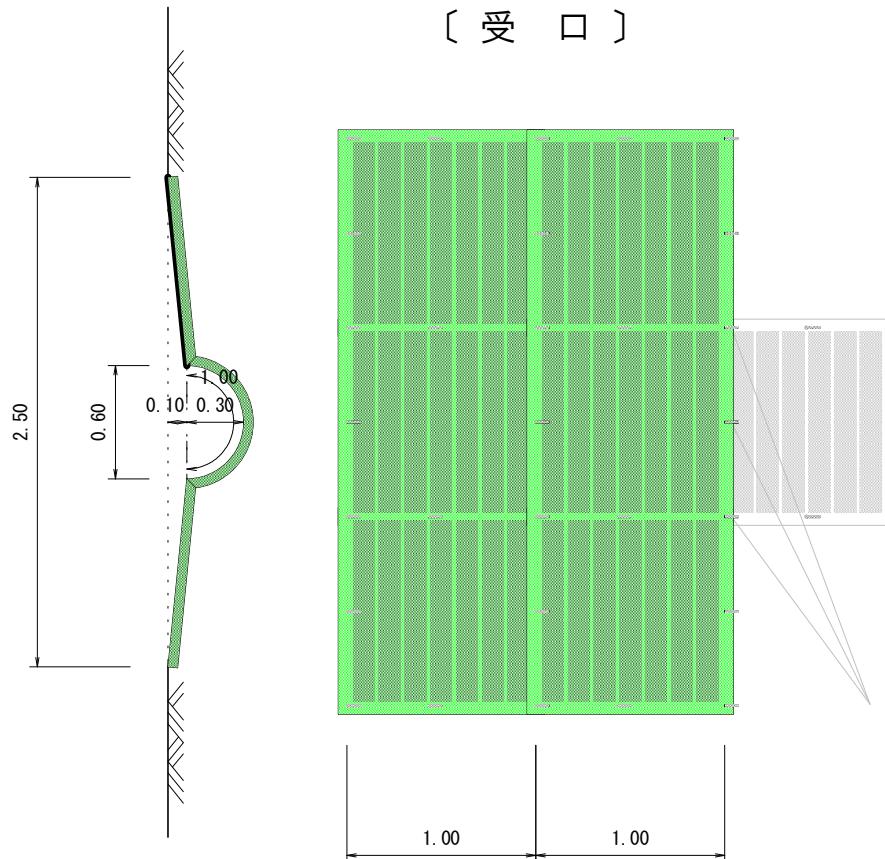


植生土のう水路工(B) 数量表			10.0m 当り	(B) 受口 1箇所 当り	
名 称	規 格	数 量	備 考	数 量	備 考
植生土のう	0.3 * 0.5 * 0.1m	80.0袋		22.0袋	
アンカーピン	φ9mm・長さ400mm フック付	320.0本	4本/1袋	88.0本	4本/1袋
中詰土		1.44m <sup>3</sup>	(1.20m <sup>3</sup> )	0.40m <sup>3</sup>	(0.33m <sup>3</sup> )

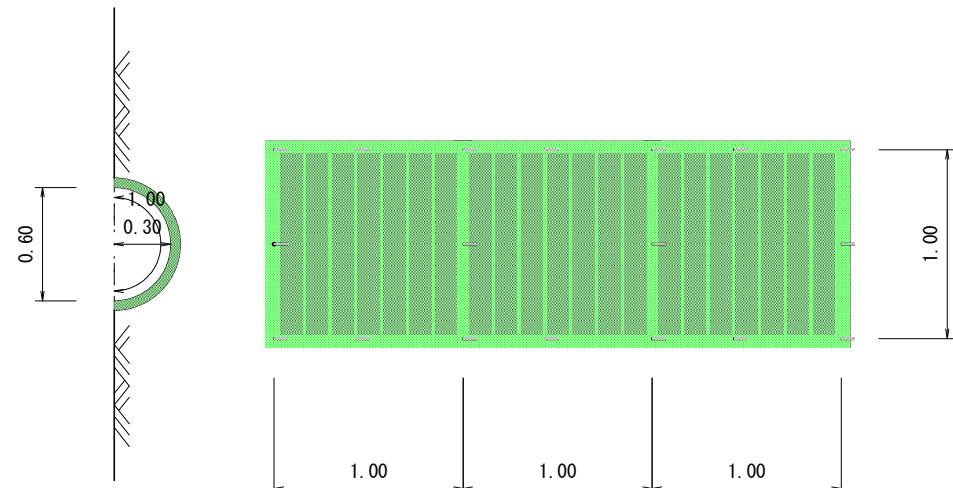
番号	工種	種別
水12-2	水路工	軽量植生シート

凡例 (12)-(2)

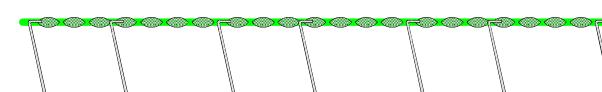
[受口]



[水路工]



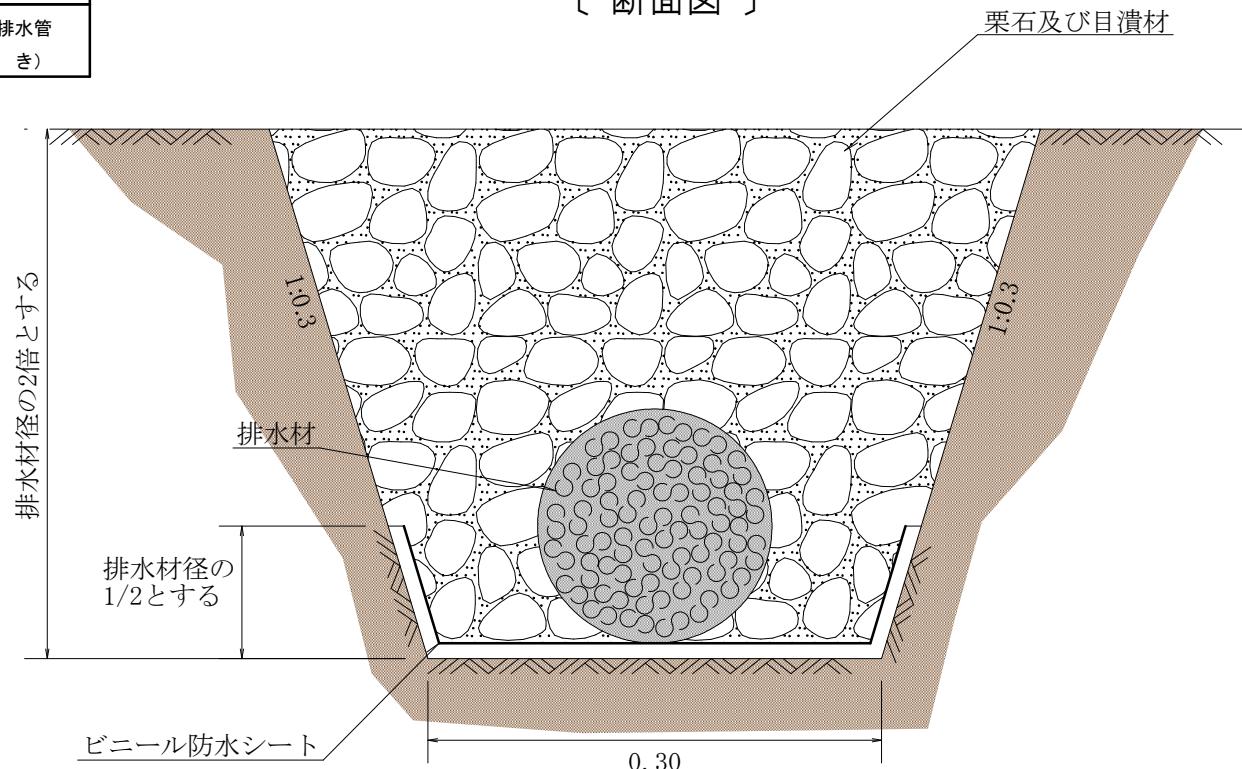
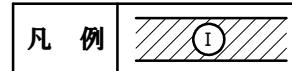
(アンカーピンは水路部に含む)



軽量植生シート 水路工 数量表			10.0m 当り	受口 1箇所 当り	
名 称	規 格	数 量	備 考	数 量	備 考
植 生 シ ト	1.0m * 1.0m	10.0枚		6.0枚	
アンカーピン	φ 9mm ・ 長さ 400mm フック付	53.0本		26.0本	

番号	工種	種別
暗I	暗渠工	結束排水管 (れき)

[断面図]



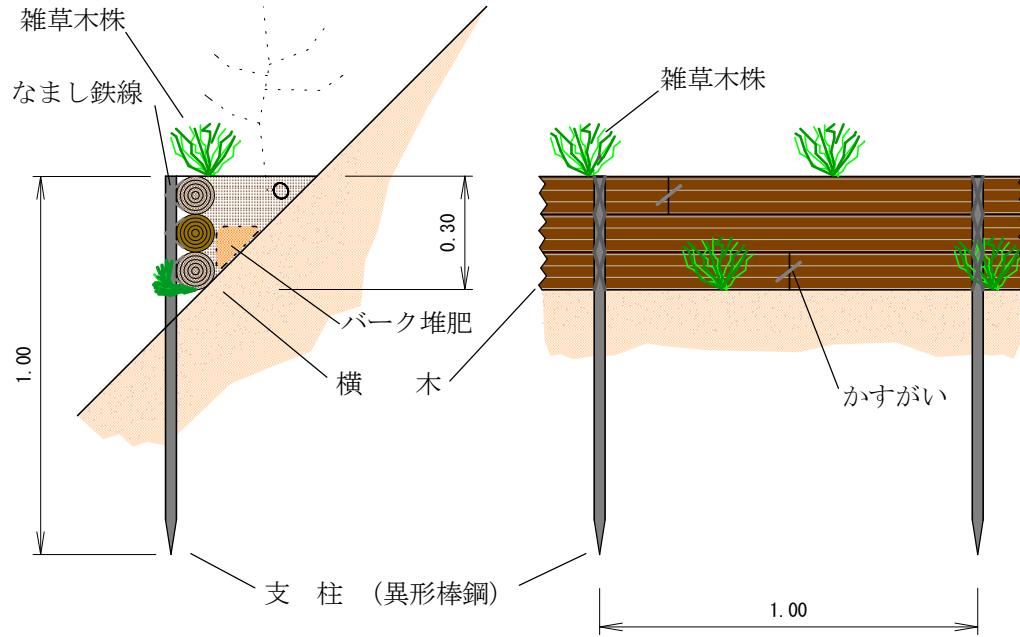
名 称	規 格	数 量		
		径10cm	径15cm	径20cm
排 水 材	S型 硬質塩化ビニール樹脂 4.0m×25mm×17mm×0.7mm	(13本) 130.0m	(33本) 330.0m	(57本) 570.0m
ジョイントテープ	軟質塩化ビニール製 幅150mm	0.84m	1.25m	1.61m
栗 石	径 5~15cm	0.73(0.64)m <sup>3</sup>	1.13(0.99)m <sup>3</sup>	1.56(1.37)m <sup>3</sup>
目 潰 材	径 0~5cm	0.15(0.13)m <sup>3</sup>	0.23(0.20)m <sup>3</sup>	0.31(0.27)m <sup>3</sup>
ビニール防水シート	厚 0.4mm	4.25m <sup>2</sup>	4.79m <sup>2</sup>	5.34m <sup>2</sup>

注:栗石・目潰材の( )書は、現地採取の場合に使用

番号	工種	種別
柵1	柵工	丸太

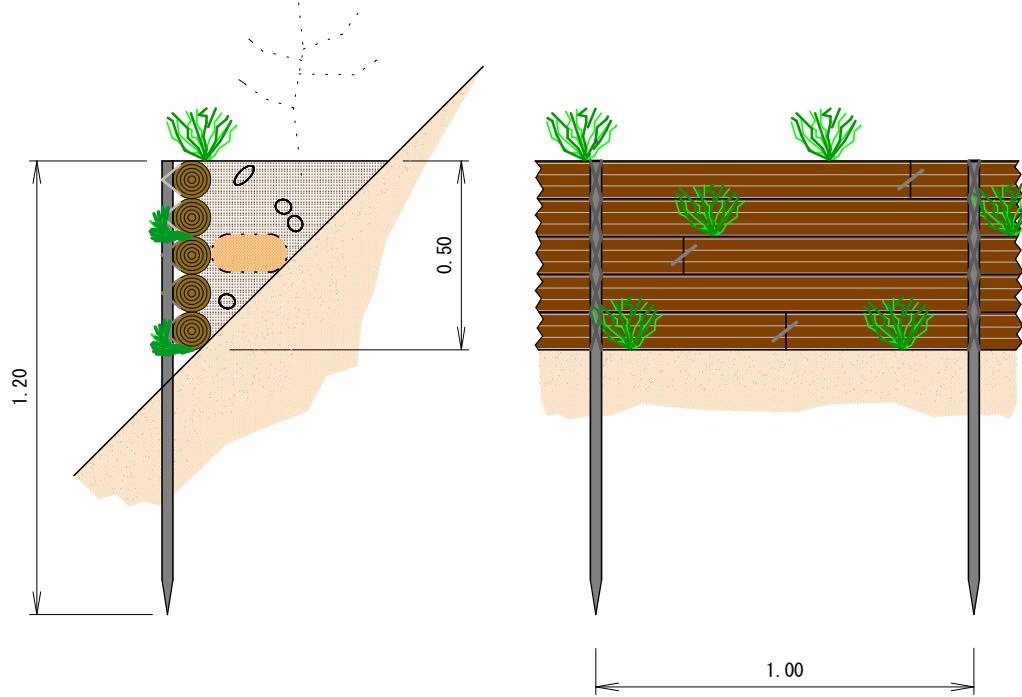
丸太柵工 [3段]

[側面図]



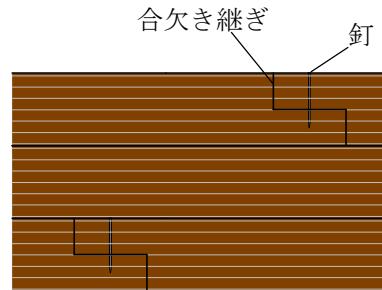
丸太柵工 [5段]

[側面図]



[正面図]

継目の拡大図 (釘の場合)



丸太柵工 [3段/5段] 数量表

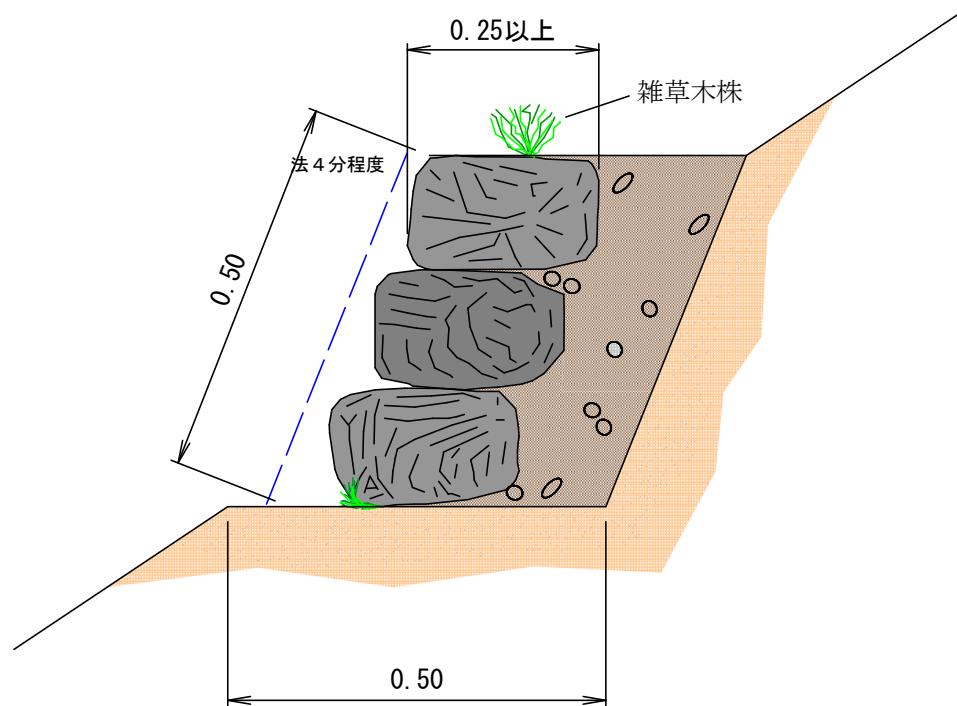
10.0m 当り

名 称	規 格	H = 0. 3 m		H = 0. 5 m	
		数 量	備 考	数 量	備 考
横 木	径 10cm内外・長さ 3.0 ~ 4.0m	7.5本	0.30m <sup>3</sup>	12.5本	0.50m <sup>3</sup>
支 柱	異形棒鋼 D29	10.0本	L = 1.0m	10.0本	L = 1.2m
鉄 線	なまし $\phi$ 3.2mm	3.0kg		5.0kg	
かすがい (釘)	$\phi$ 9.0 × 150mm (N75)	6.0本		10.0本	
雜 草 木 株	長さ 30cm・打違 1.0m縦×	1.0束		1.0束	
(パーク堆肥)		(10.0kg)	植栽計画のある場合	(10.0kg)	植栽計画のある場合

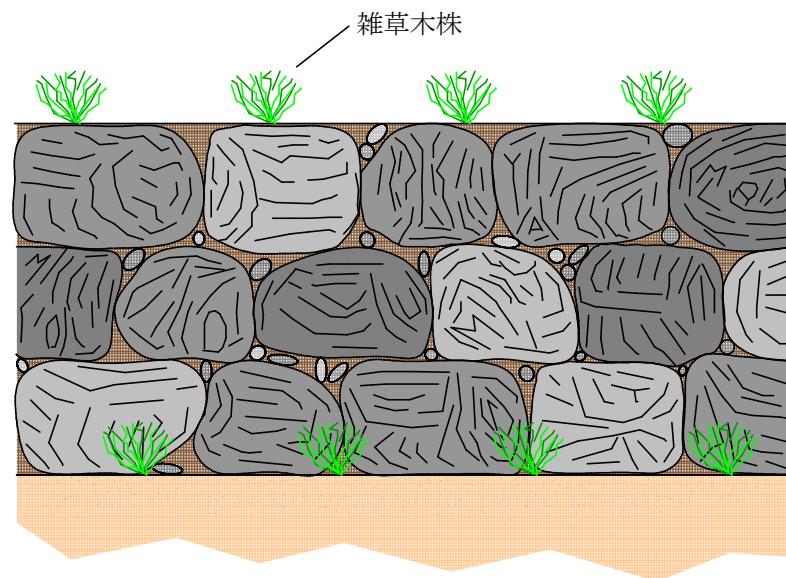
番号	工種	種別
筋1	筋工	石

凡例 

[側面図]

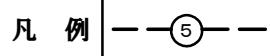


[正面図]

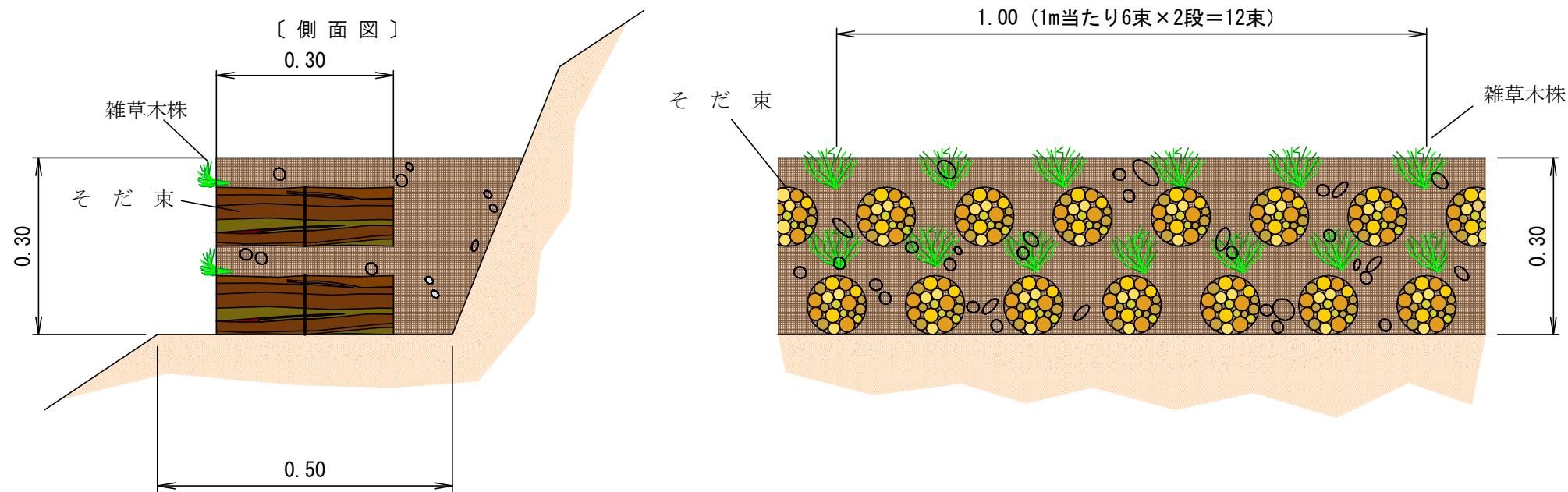


石筋工数量表				10.0m 当り
名 称	規 格	数 量	備 考	
雜 石	控 25cm 以上	5.0m <sup>2</sup>		
雜 草 木 株	茎長 30cm · 打違 1.0m 繩×	4.0束	基礎 2束 天端 2束使い	

番号	工種	種別
筋5	筋工	そだ

凡例  ⑤

[正面図]

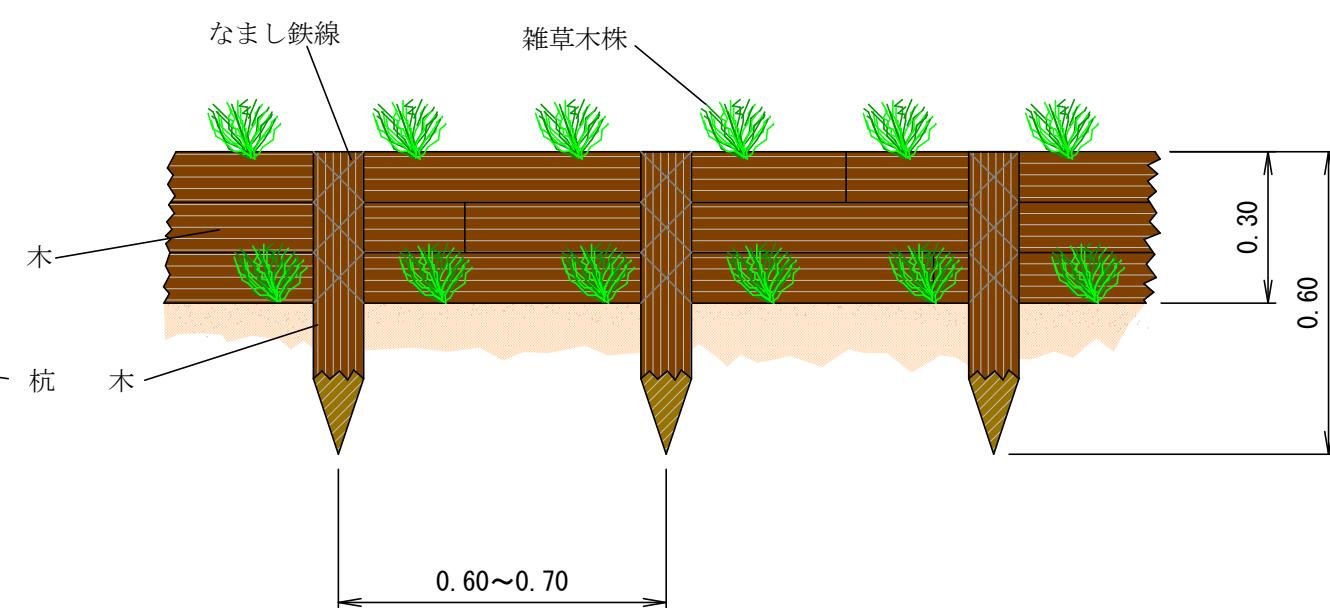
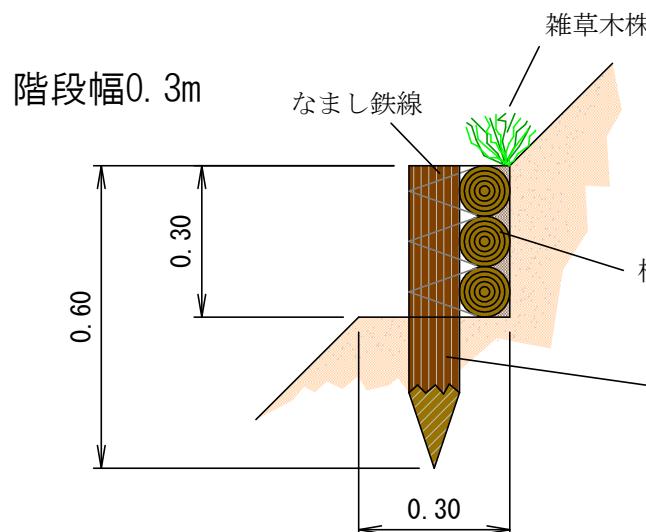


そだ筋工 数量表				10.0m 当り
名 称	規 格	数 量	備 考	
そだ	長さ 30cm 径10cm に結束	120.0束		
雜草木株	茎長 30cm · 打違 1.0m 繩バ	3.0束		

番号	工種	種別
筋7-1	筋工	丸太

凡例 

[側面図]



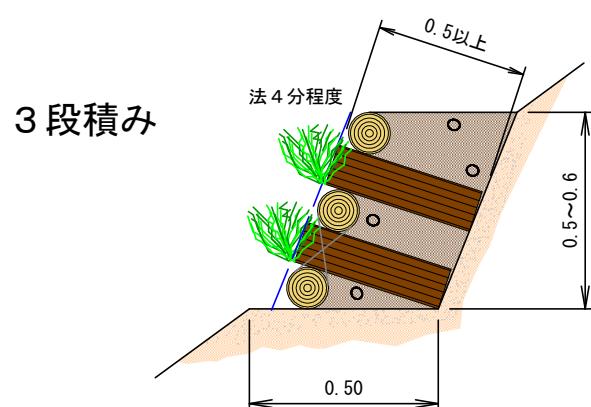
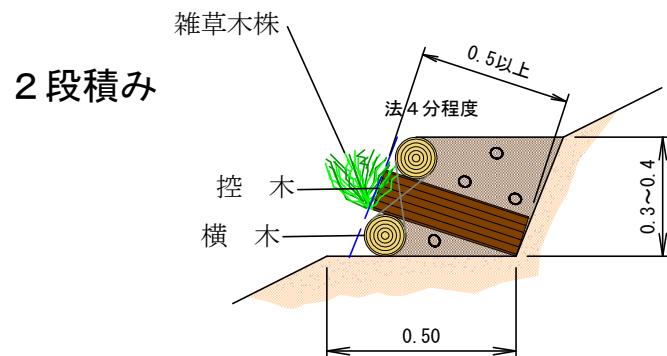
[正面図]

丸太筋工 [階段幅0.3m] 数量表			10.0m 当り
名 称	規 格	数 量	備 考
杭 木	径 10cm 内外・長さ 0.6m	15.0 本	} 0.39m <sup>3</sup>
横 木	径 10cm 内外・長さ 2.0m	15.0 本	
鉄 線	なまし $\phi 2.6mm$ (#12)	1.0 kg	
雑 草 木 株	茎長 30cm・打違 1.0m 繩〆	1.0 束	

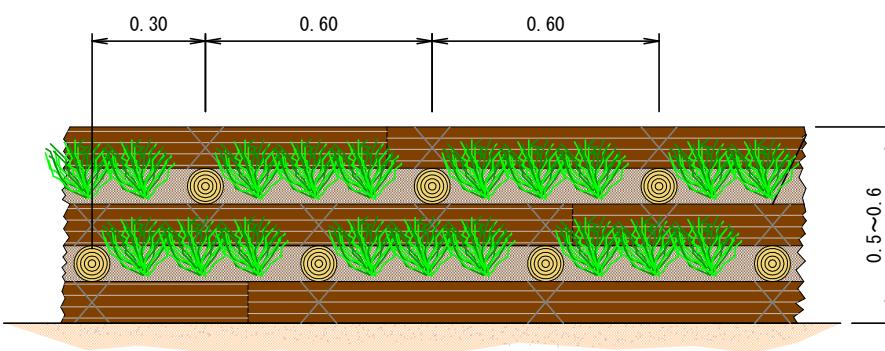
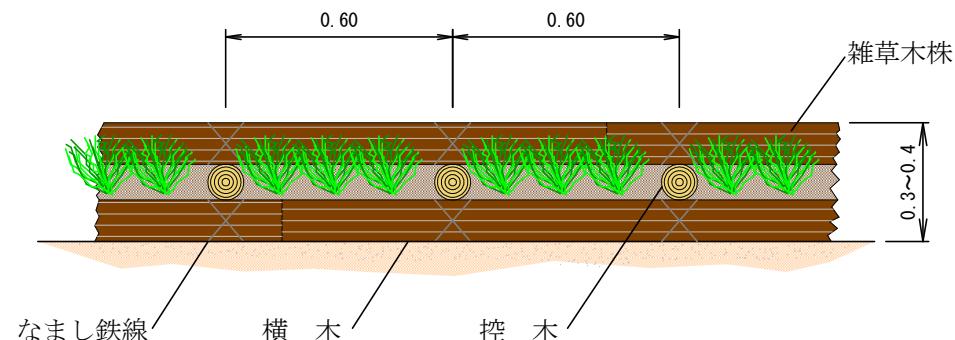
番号	工種	種別
筋7-2	筋工	丸太

凡例 

[側面図]



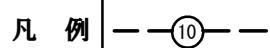
[正面図]



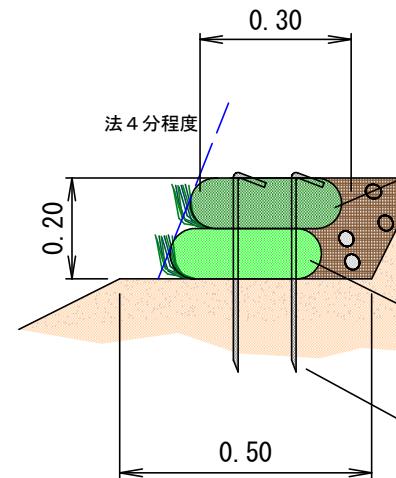
名 称	規 格	数 量		備 考
		2段積み	3段積み	
横 木	末口径8cm以上 長さ2.0m以上	0.13m <sup>3</sup>	0.19m <sup>3</sup>	
控 木	末口径8cm以上 長さ0.5m以上	0.06m <sup>3</sup>	0.11m <sup>3</sup>	
鉄 線	なまし #10 ( $\phi 3.2\text{mm}$ )	1.5kg	2.8kg	
雑 草 木 株	長さ 30cm • 打違 1.0m縦×	1.0束	2.0束	

10.0m 当り

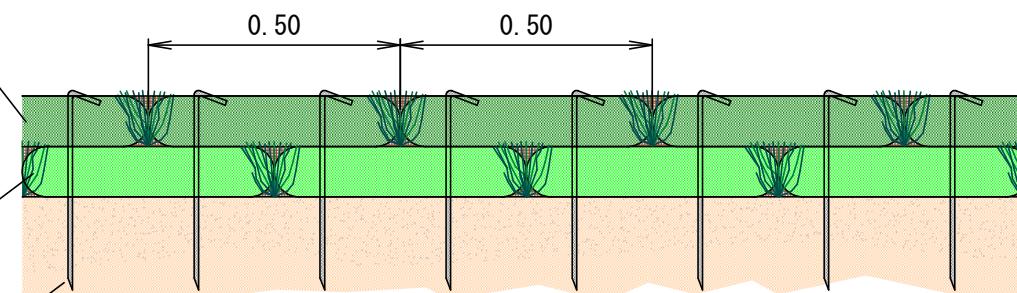
番号	工種	種別
筋10	筋工	植生土のう

凡例 

[側面図]



[正面図]



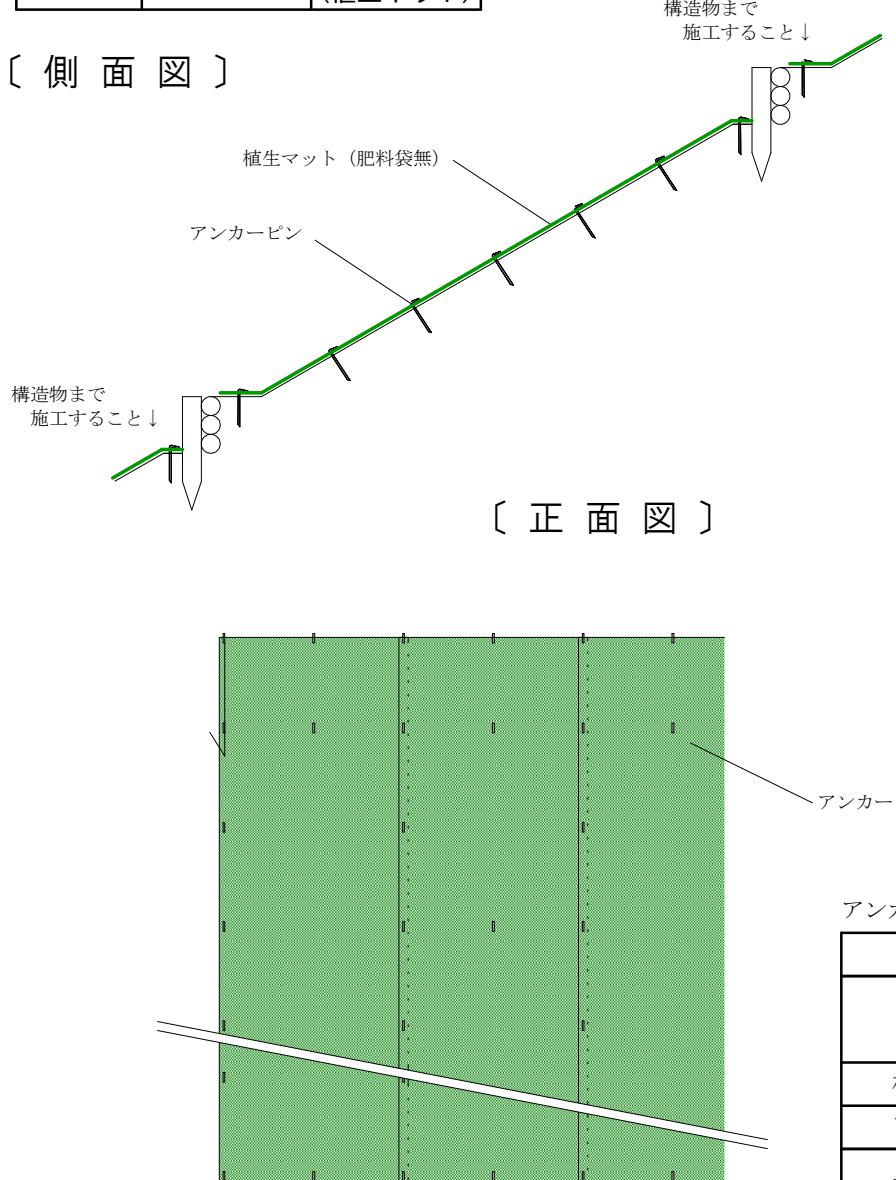
植生土のう筋工 数量表			
名 称	規 格	数 量	備 考
植生土のう	仕上 $0.5 * 0.3 * 0.1m$	20.0 枚	
土のう	仕上 $0.5 * 0.3 * 0.1m$	20.0 枚	
中詰土		$0.72m^3$	$0.36m^3 * 2$
アンカーピン	$\phi 9.0mm$ 長さ 400mm フック付	80.0 本	4本/1袋

10.0m 当り

番号	工種	種別
伏1-1	伏工	植生マット (植生ネット)

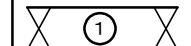
肥料袋無

〔側面図〕

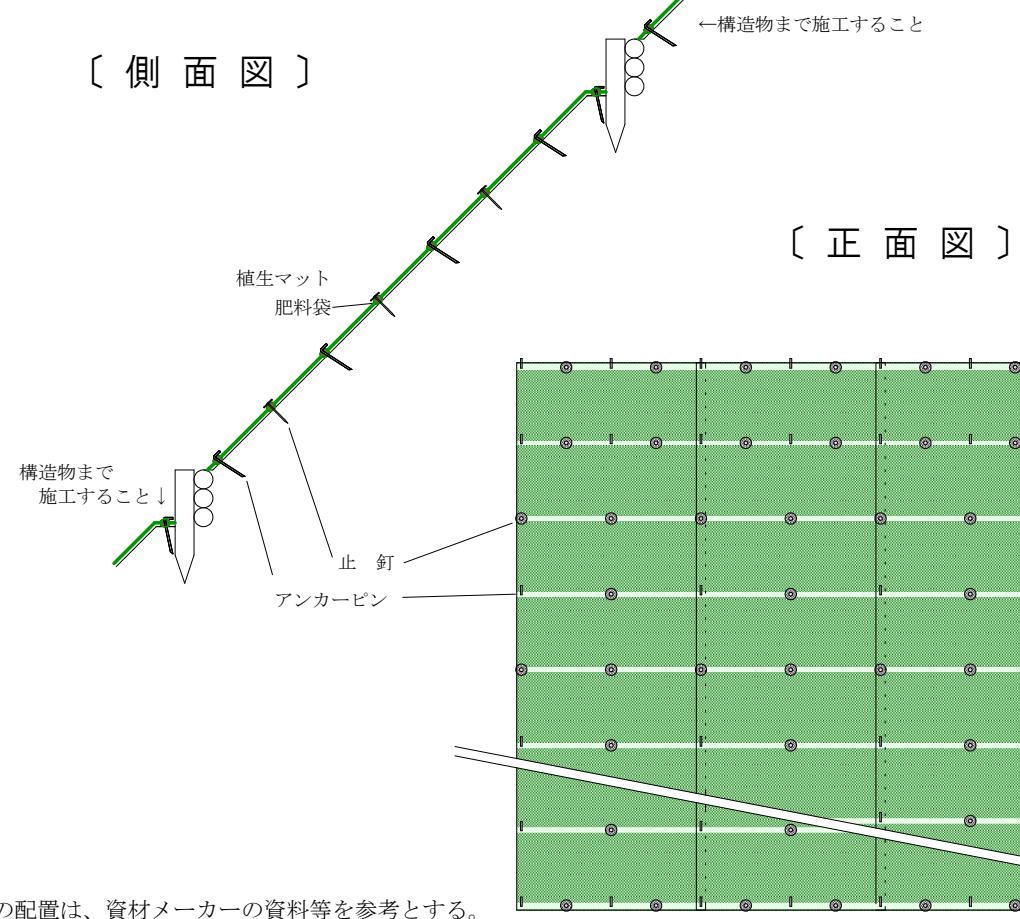


肥料袋有

凡例



〔側面図〕

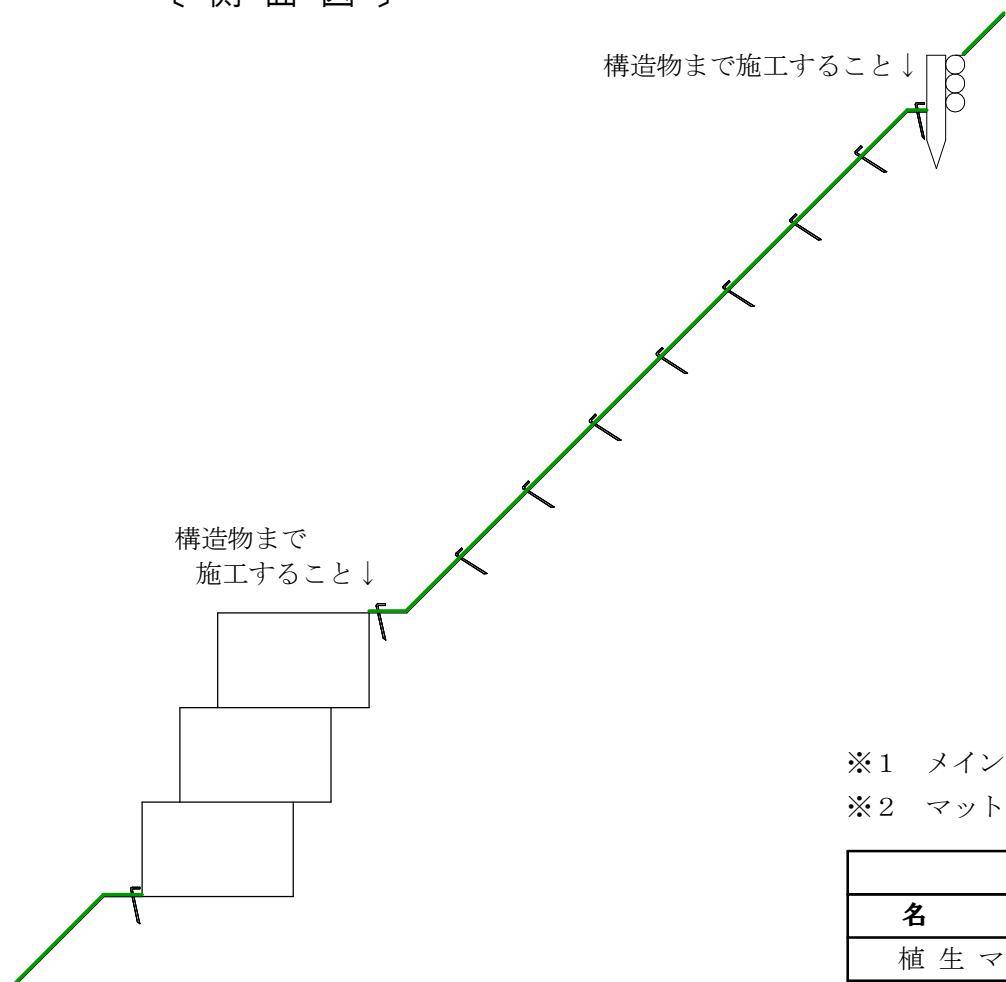


植生マット伏工 (植生ネット工) 数量表				100.0m <sup>2</sup> 当り
名 称	規 格	数 量		備 考
		肥料袋無	肥料袋有	
植 生 マ ッ ト	各 種	120.0 m <sup>2</sup>	120.0 m <sup>2</sup>	(100.0m <sup>2</sup> )
アンカーピン	φ 9×200mm	300.0 本	300.0 本	
止 釘	φ 5×150mm		300.0 本	

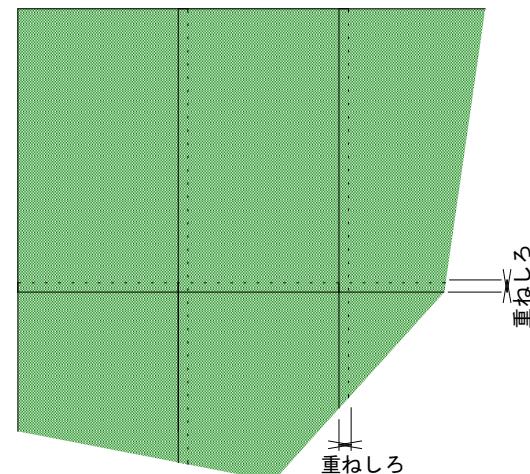
番号	工種	種別
伏1-2	伏工	植生マット

凡例	
----	--

[側面図]



[平面図]



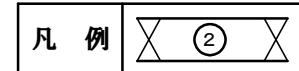
※1 メインアンカーとサブアンカーの配置及び間隔は、各メーカーの標準図等による。

※2 マットの重ねしろは、各メーカーの標準図等による。

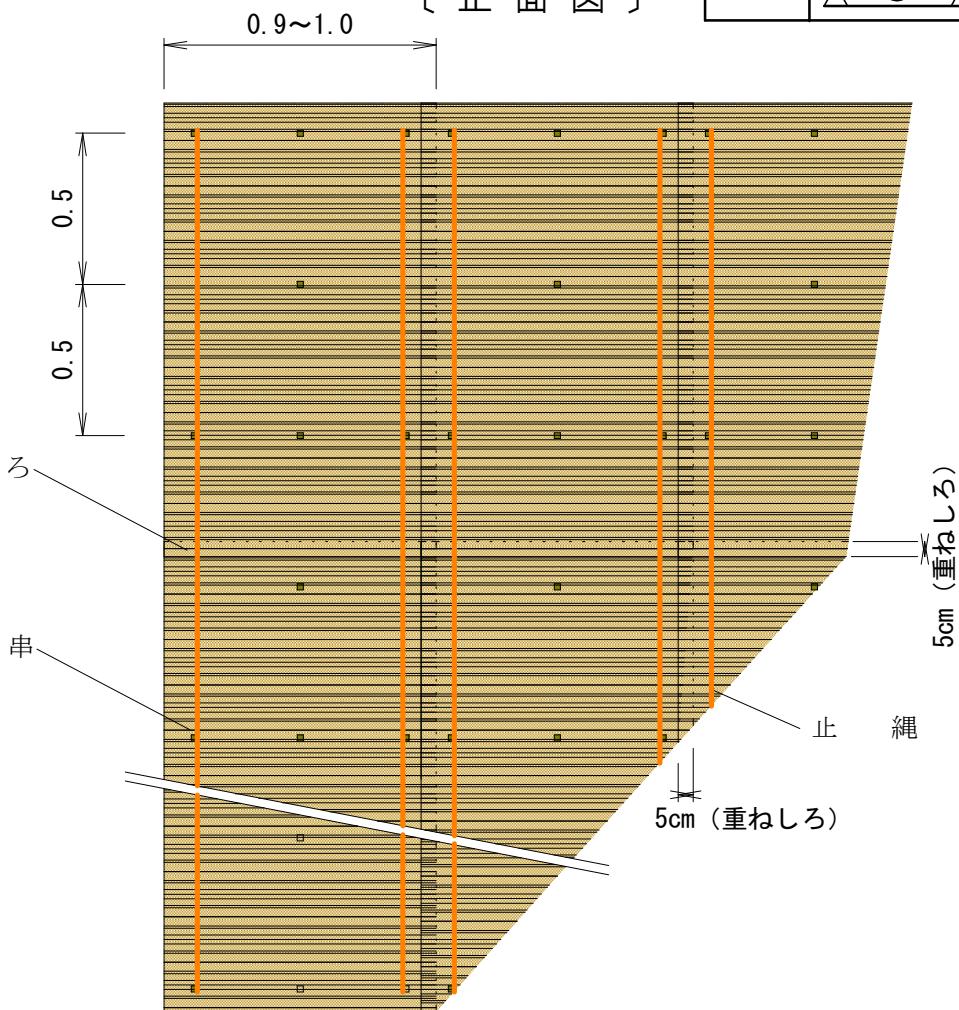
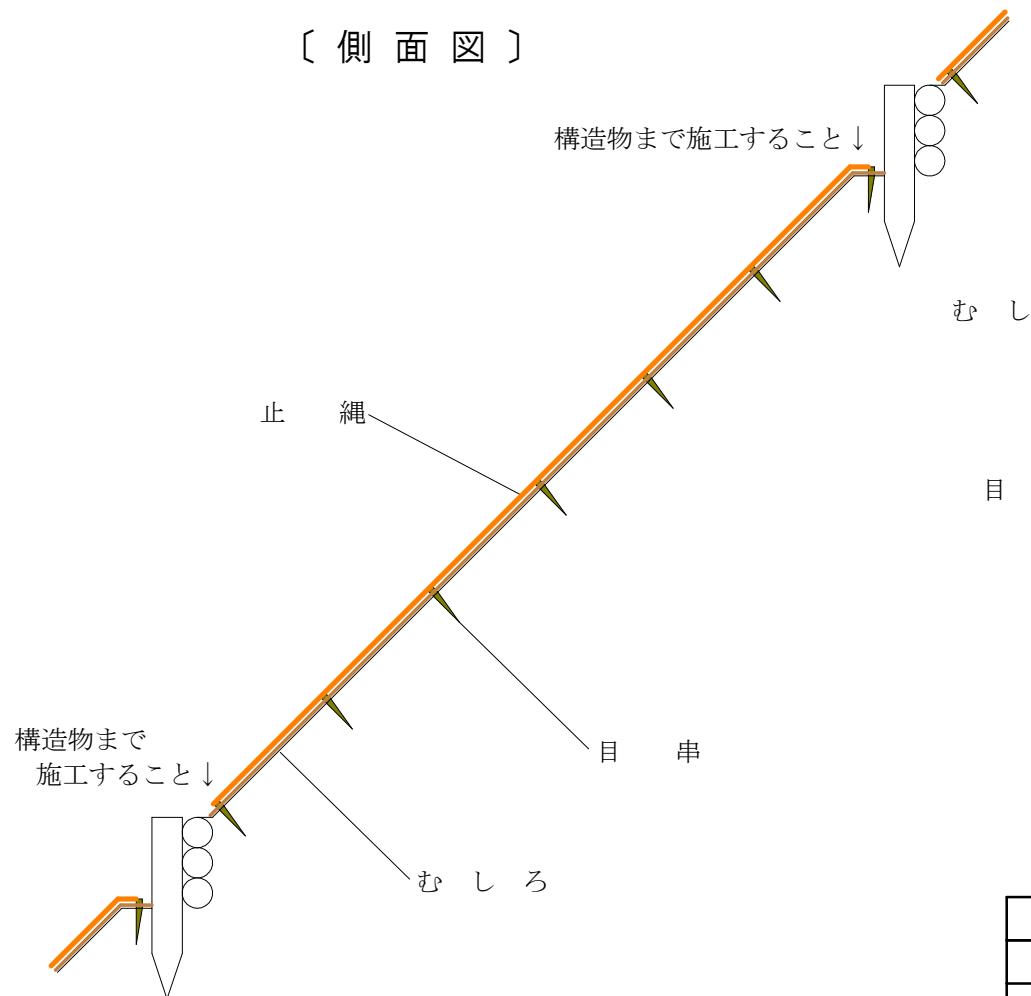
植生マット伏工 数量表 100.0m <sup>2</sup> 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
植 生 マ ッ ト	特記仕様書等による	(100.0m <sup>2</sup> )	
メイ ン アン カー	特記仕様書等による		
サブ アン カー	特記仕様書等による		

番号	工種	種別
伏2	伏工	むしろ

[正面図]



[側面図]



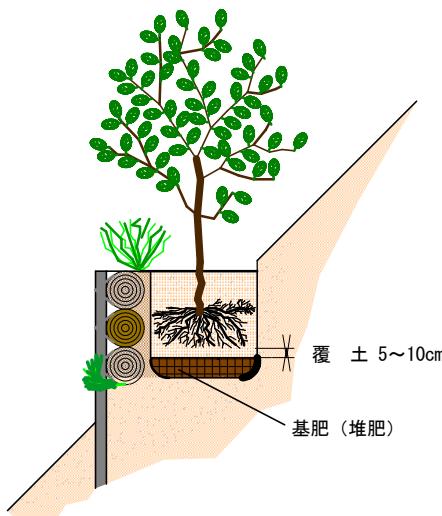
むしろ伏工 数量表			
名 称	規 格	数 量	備 考
むしろ	幅0.9~1.0m	10.5 m <sup>2</sup>	(10.0m <sup>2</sup> )
目串	芝串 長15cm以上	44.0 本	竹製 (上部節付)
止繩	わら繩 10mm	21.0 m	

10.0m<sup>2</sup> 当り

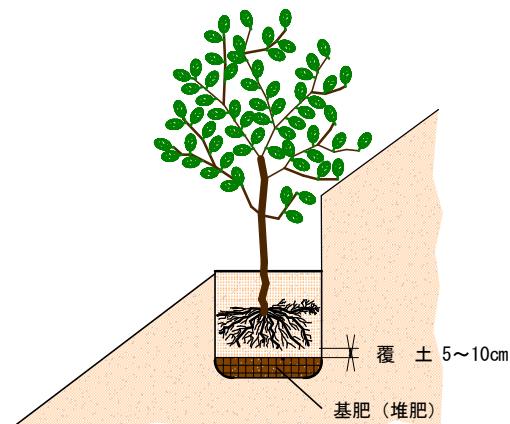
番号	工種	種別
植1	植栽工	植栽(A)

凡例	
----	---

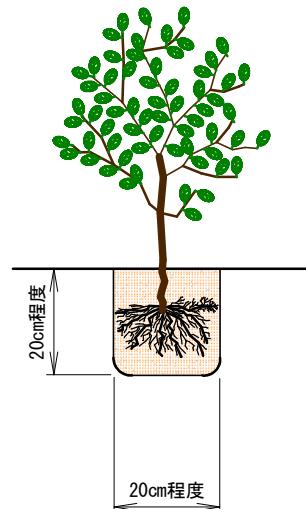
(階段上の植栽)



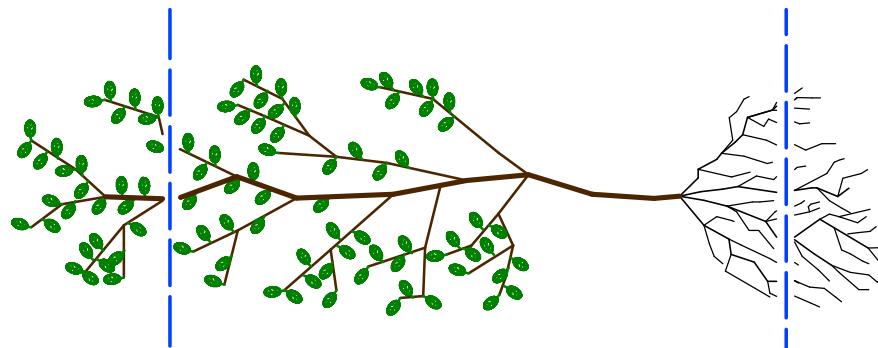
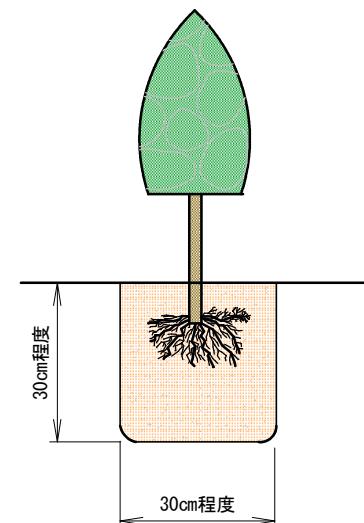
(階段間斜面上の植栽)



[肥料木(L)]



[普通木(N)]



苗木揃え(肥料木) ..... 徒長した枝・根の切断

植栽(A) 数量表			
名 称	規 格	数 量	備 考
苗 木	別紙のとおり	10.0本	10.0本 当り
堆 肥		0.50kg	
基 肥		0.50kg	
苗 木 择	肥料木のみ	10.0本	

番号	工種	種別
仮2	仮設工	堤名板

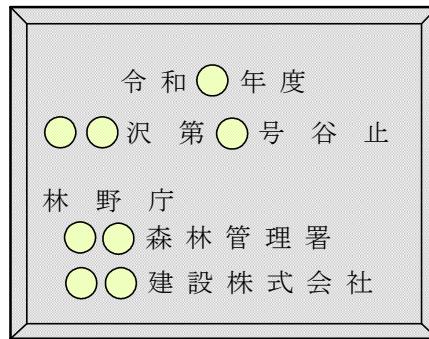
## 1. 規格

規格	寸法
2,000m <sup>3</sup> (30t) 未満	40 * 55 * 1.2cm (B型)
2,000m <sup>3</sup> (30t) 以上	60 * 80 * 1.5cm (C型)

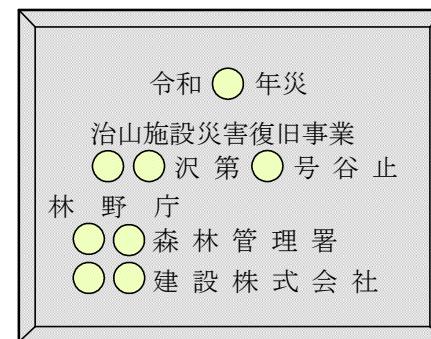
注) ( ) 内は鋼製ダムの場合とする。

## 2. 記載事項

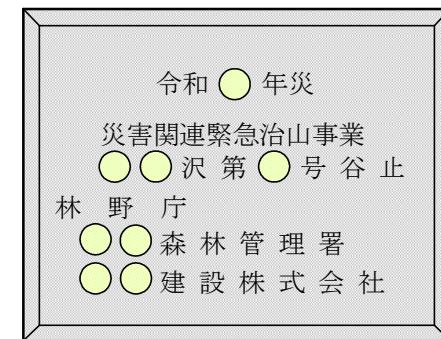
- (1) 完成年度
- (2) 工種
- (3) 施工主体
- (4) 施工者



治山施設災害復旧工事の例



災害関連緊急治山工事の例



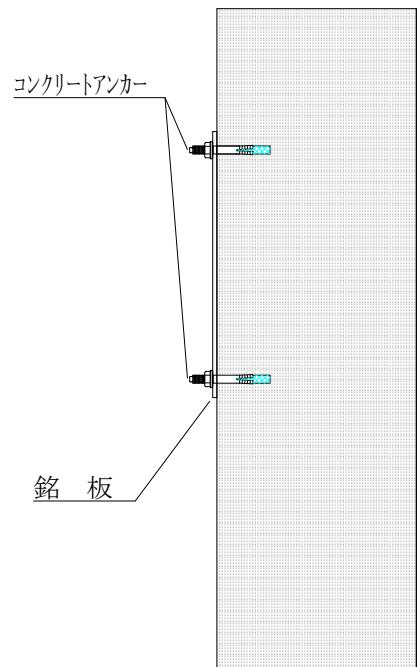
## 3. その他

堤名板は、下流側の見やすい箇所に設置するものとし、その他詳細については、監督職員の指示によるものとする。

記号	工種	種別
仮3	仮設工	銘板

コンクリート製品に取り付ける場合

断面図

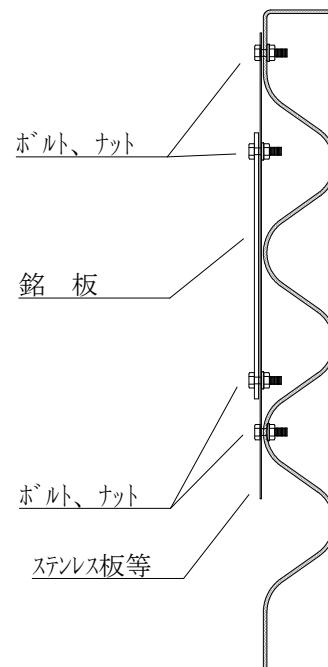


正面図



ライナープレートに取り付ける場合

断面図



正面図



銘板数量表			
名 称	規 格	数 量	備 考
銘 板	アルミ製 W300×H200×t1mm	1.0	
取 付 器 具	コンクリートアンカー等	必 要 量	M6を標準とする

番号	工種	種別
仮4	仮設工	標柱

### 1. 規格

10cm \* 10cm \* 200cm 白ペンキ塗り、黒ペンキ書等

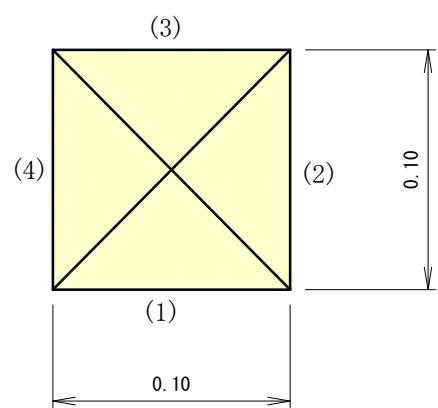
### 2. 記載事項

- (1) 完成年度及び工事名
- (2) 管理署名
- (3) 施工者名
- (4) 施工面積、主たる工種及び数量

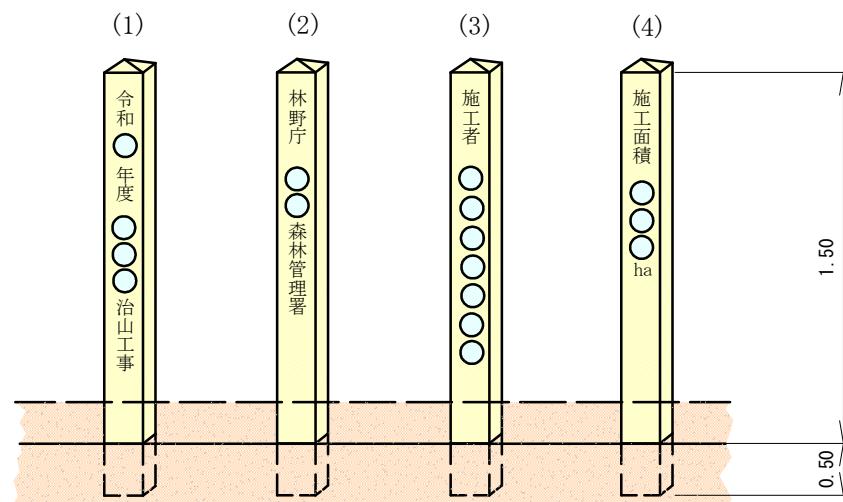
### 3. その他

施工位置は、施工地直近路傍の明視できる箇所とし、具体的な位置は監督職員の指示によるものとする。

〔平面図〕

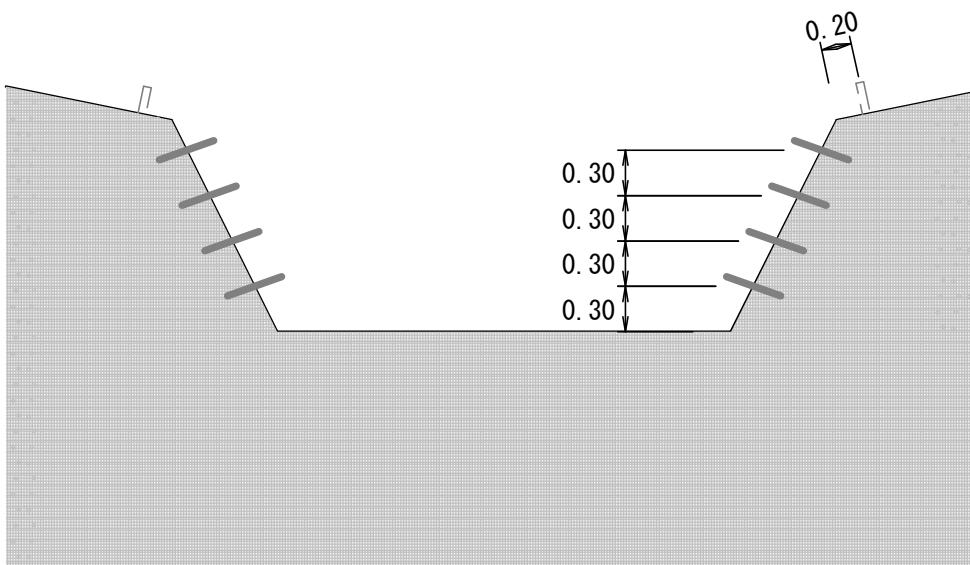


〔姿図〕

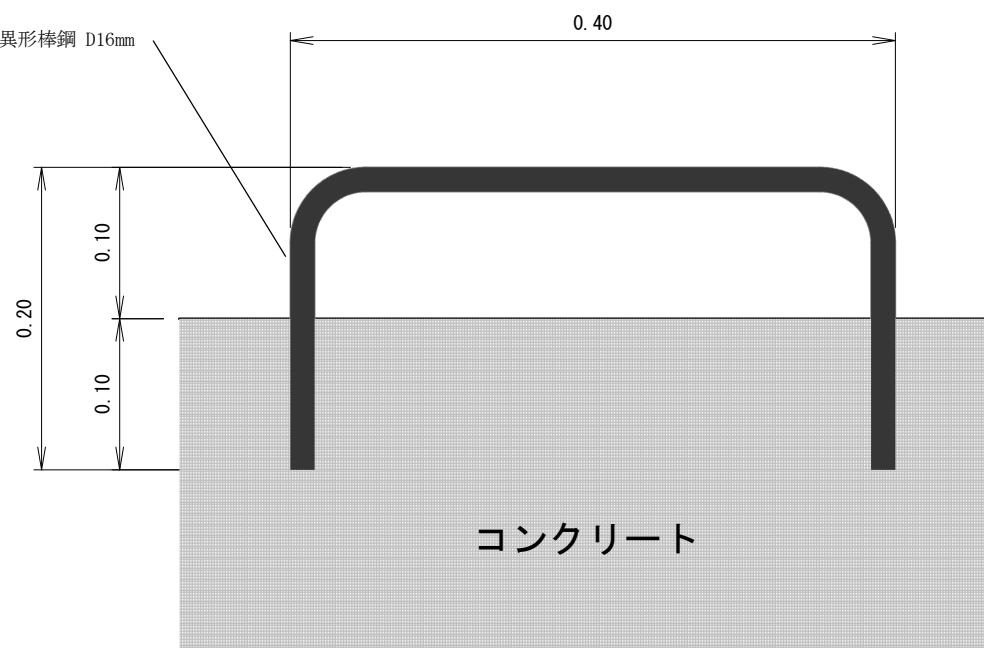


番号	工種	種別
仮5	仮設工	鉄筋階段

[正面図]



[断面図]



コンクリート

※鉄筋階段の割り付けについては、直高で0.30m程度を標準とする。

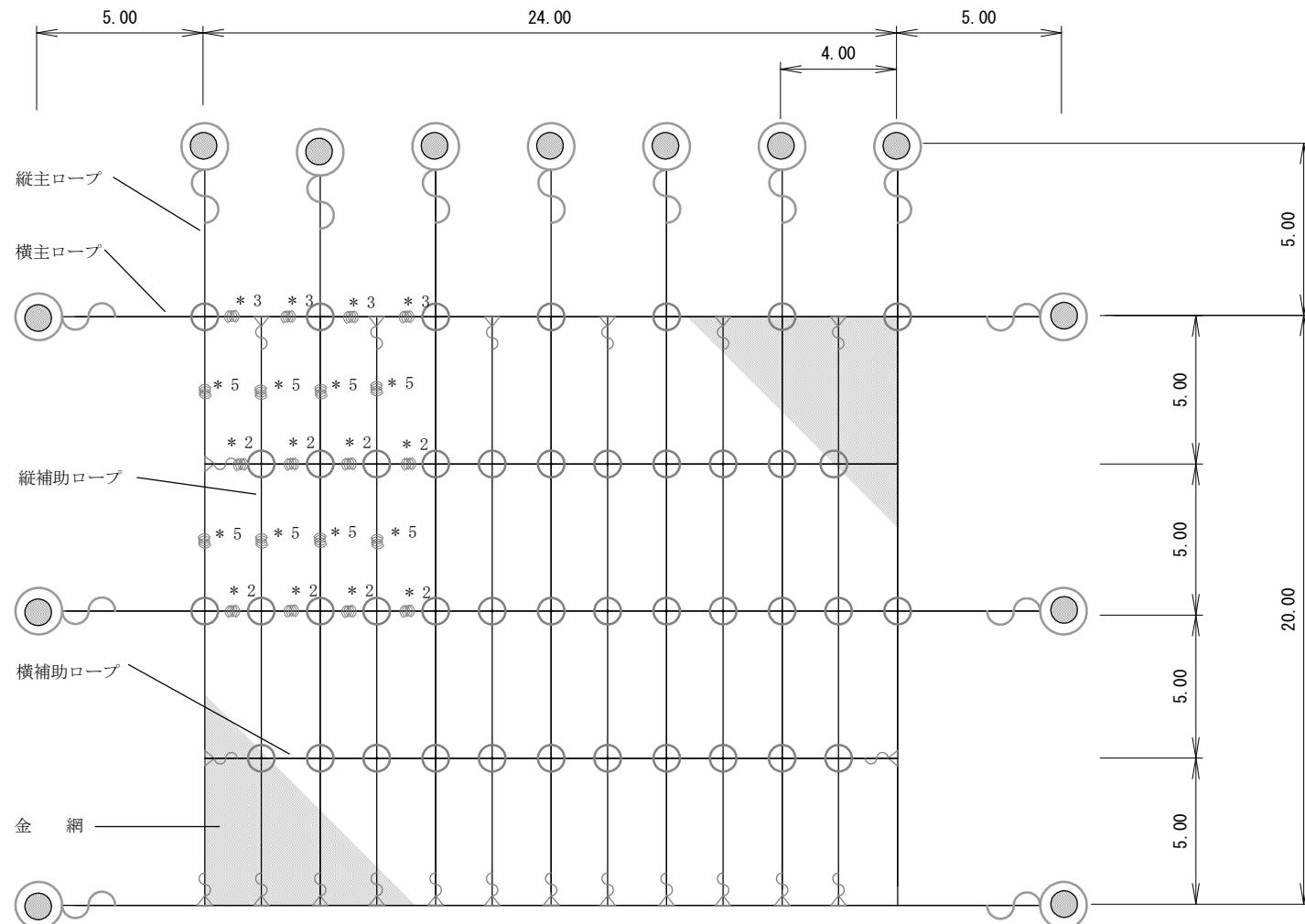
※必要に応じ、インクラインにも鉄筋階段を配置する。

鉄筋階段工数量表			
名 称	規 格	数 量	備 考
鋼 材	D=16.0mm L=0.8m	1.0本	異形 又は 丸鋼
セ メ ン ト	ポルトランドセメント	0.1kg	

1.0本 当り

番号	工種	種別
仮6	仮設工	落石防護網

- ..... アンカー
- ..... クロスクリップ
- Y ..... 三方クリップ
- ..... 巻付クリップ
- ..... 結合コイル



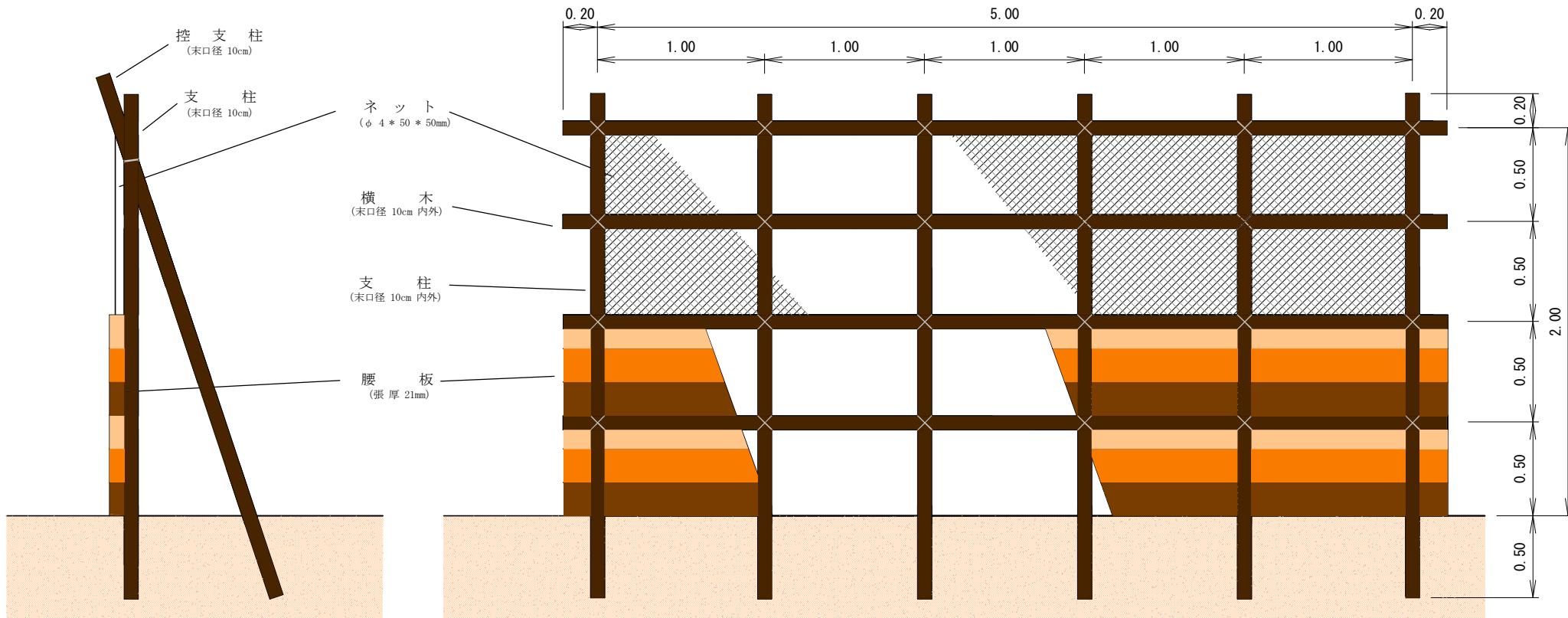
1. ワイヤーロープは JIS3525 に適合したものとする。
2. 金網は JIS3525 (ひし形金網) に適合したものとする。
3. 金具部品類、クロスクリップ、ワイヤクリップ、三方クリップは JIS3101、一般構造用圧延鋼材に規定された2種 SS41 以上のものを標準として、その他は鋳鉄 (良品) とする。

落石防護網工 (500型) 数量表				480.0m <sup>2</sup> 当り (24.0m * 20.0m)			
名 称	規 格	数 量	備 考	名 称	規 格	数 量	備 考
金 網	φ 2.6 * 50 * 50mm	532.8m <sup>2</sup>	(480.0m <sup>2</sup> ) 亜鉛メッキ 重ねしろ 11%	三方クリップ		23.0個	
主 ロ 一 プ	φ 12mm	274.0m		巻付クリップ	φ 12mm 用	36.0個	
補 助 ロ 一 プ	φ 12mm	165.6m		結 合 コ イ ル	φ 3.2 * 50 * 300mm	428.0個	
クロスクリップ		42.0個		アンカー用ループ (羽付) ボルト	φ 22 * 1,000mm	本	必要数量

番号	工種	種別
仮7-1	仮設工	落石防止柵

[正面図]

[側面図]

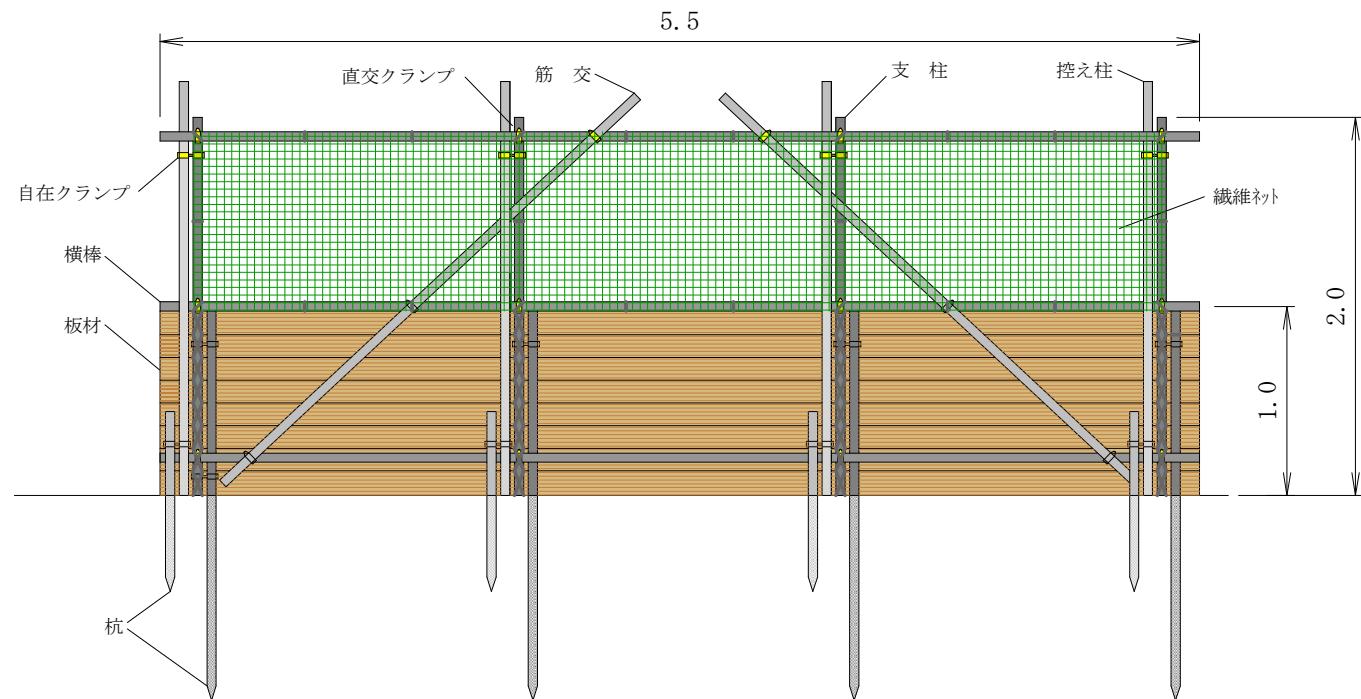


落石防止柵工数量表					1.0基 当り		
名 称	規 格	数 量	備 考	名 称	規 格	数 量	備 考
木 材	バタ角[杉]4m×10cm×10cm	0.612m <sup>3</sup>		鉄 線	φ 3.2mm	15.0kg	
板 材	厚 21mm	0.105m <sup>3</sup>		釘	N50 ~ N65	2.0kg	
ネ ッ ト	φ 4mm 5cm目	5.0m <sup>2</sup>		か す が い	φ 9 * 150mm	0.6kg	( 5本 )

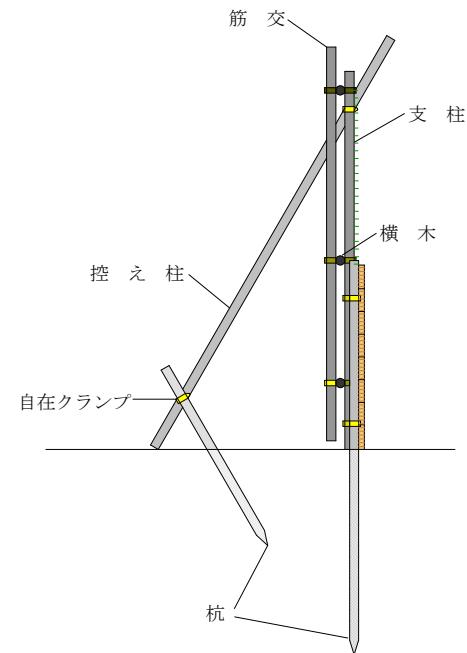
番号	工種	種別
仮7-2	仮設工	落石防止柵

### 落石防止柵標準図

[正面図]



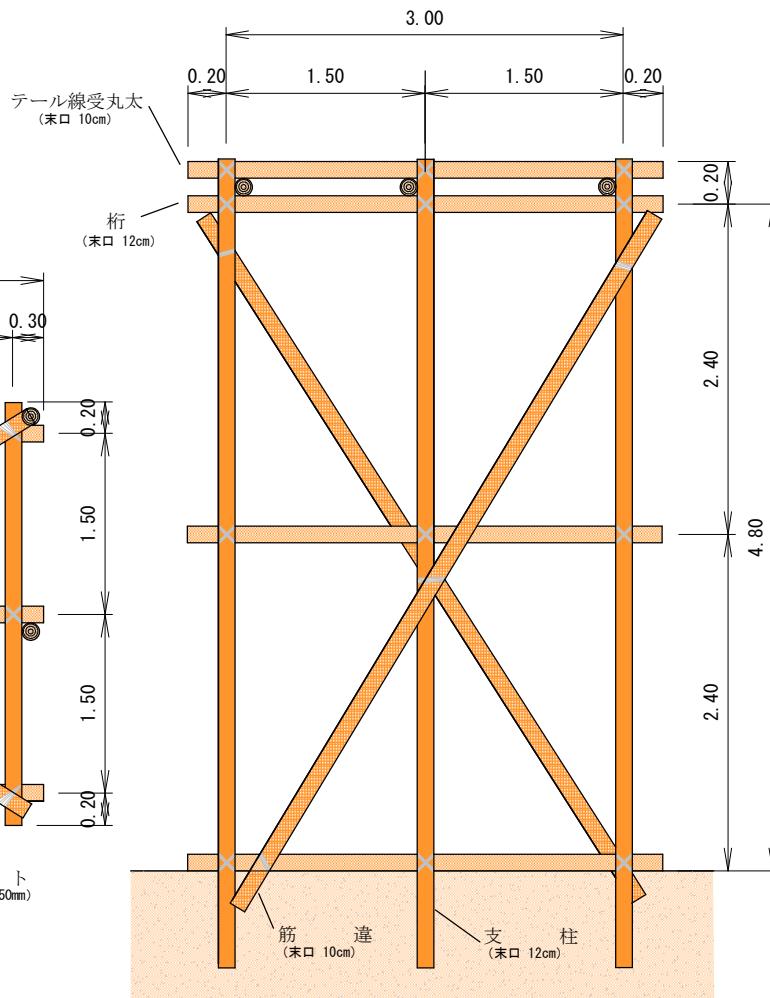
[側面図]



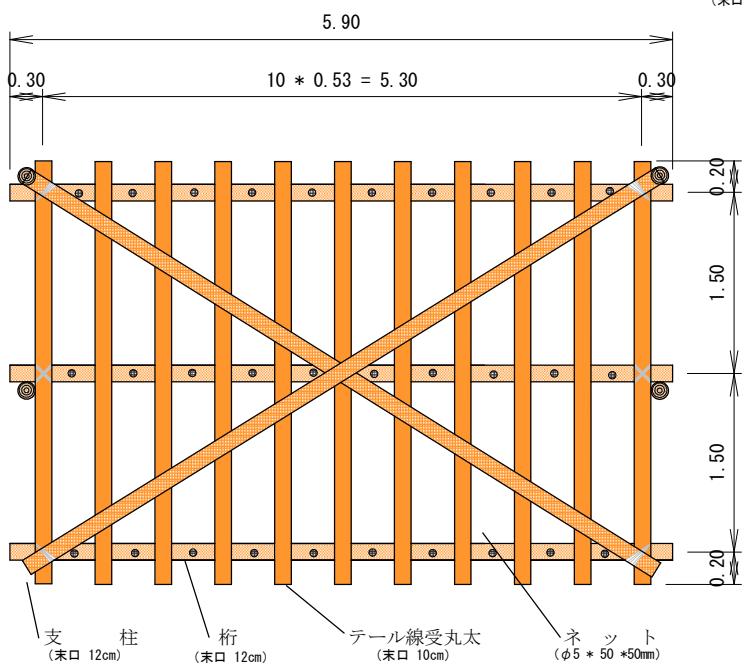
落石防護柵工					数量表			1.0基 当り	
名 称	規 格	数 量	備 考	名 称	規 格	数 量	備 考		
丸パイプ	径48.6mm	57.5m		繊維ネット	K型 (37.5×37.5mm目)	4.9m <sup>2</sup>			
直交クランプ	径48.6mm	12.0個		なまし鉄線	#10 φ3.2mm	3.9kg			
自在クランプ	径48.6mm	22.0個	筋交・控え柱						
板材	雜矢板 厚3cm	0.165m <sup>3</sup>							

番号	工種	種別
仮8-1	仮設工	防護柵

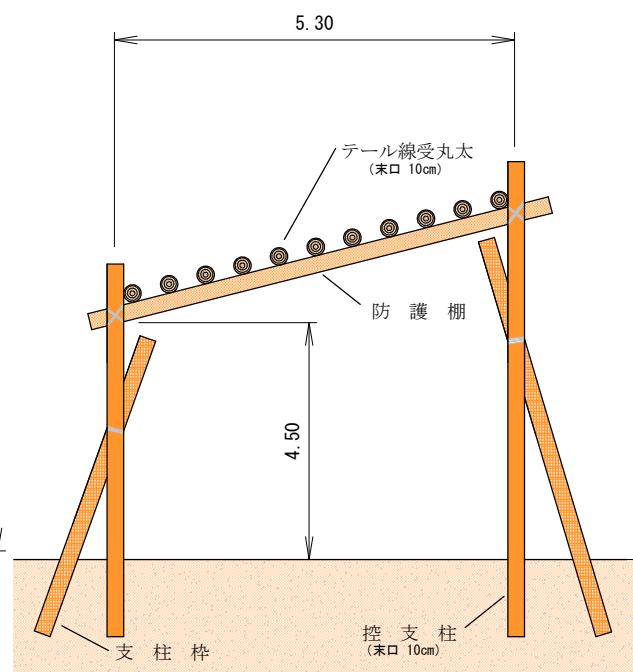
[支柱枠組立図]



[平面図]



[組立略図]



防護柵工数量表

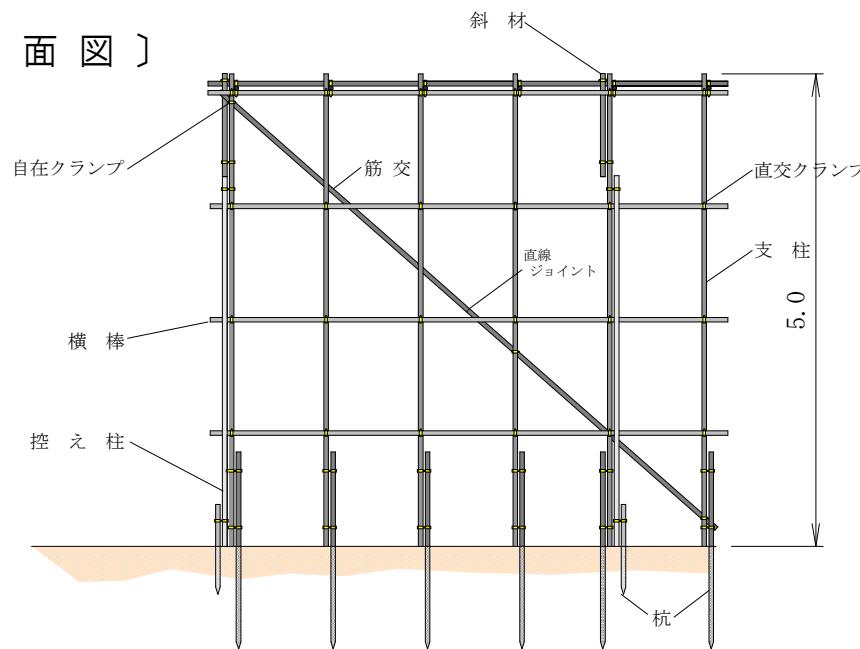
1.0基 当り

名 称	規 格	数 量	備 考	名 称	規 格	数 量	備 考
木 材	バタ角[杉]4m×10cm×10cm	2.070m3		鉄 線	#10	30.0kg	
か す が い	φ 13 * 180mm	5.0kg	( 20本 )	釘	N50 ~ N65	2.0kg	
ネ ツ ト	φ 5mm 5cm目	16.0m2					

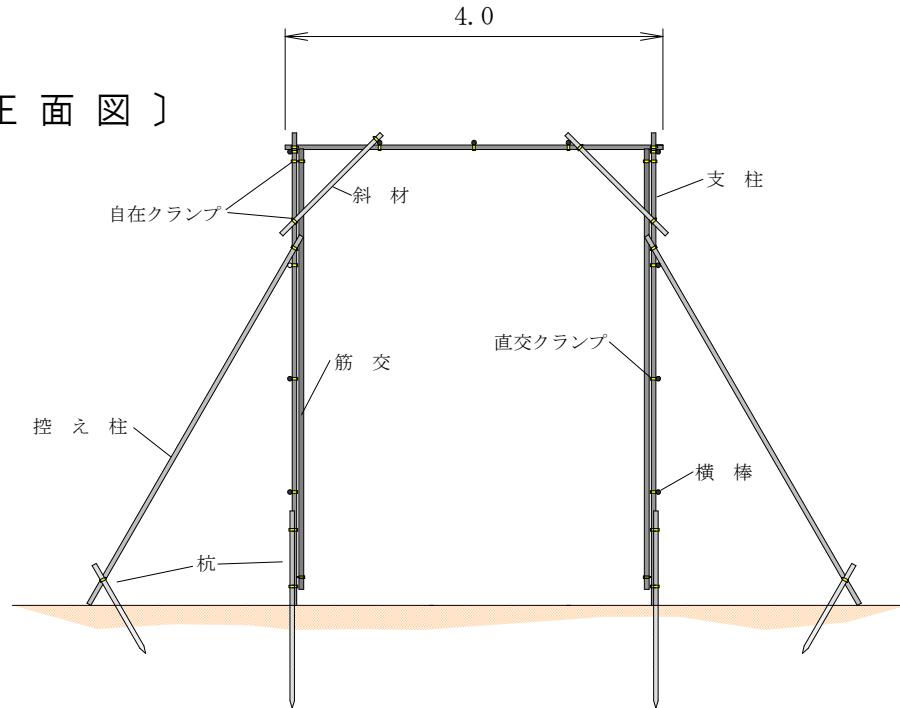
番号	工種	種別
仮8-2	仮設工	防護柵

## 防護柵工（ケーブルクレーン用）標準図

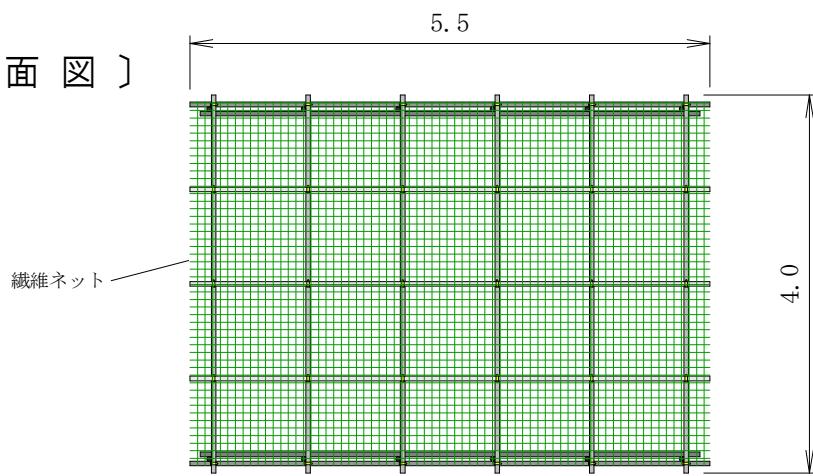
[側面図]



[正面図]

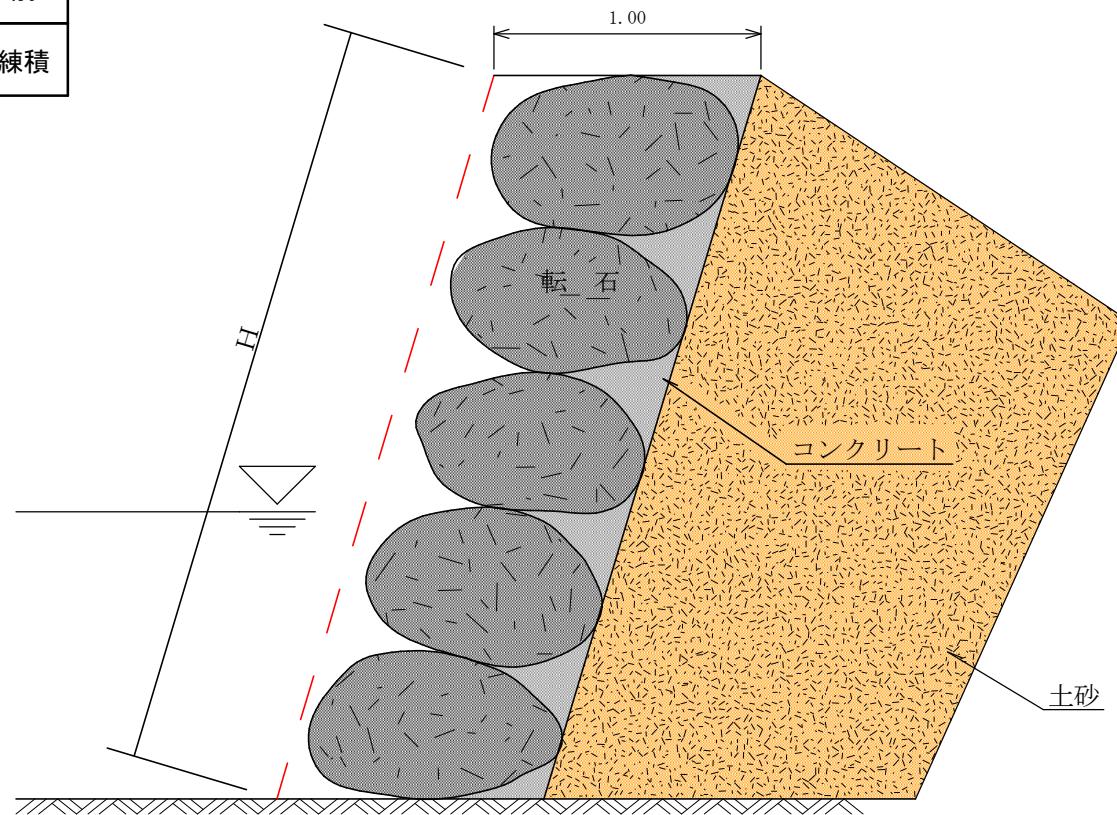


[平面図]



防護柵工（ケーブルクレーン用）		数量表 1.0基 当り	
名 称	規 格	数 量	備 考
丸パイプ	径48.6mm	210.5m	
直線ジョイント	径48.6mm	2.0個	筋交
直交クランプ	径48.6mm	78.0個	
自在クランプ	径48.6mm	46.0個	
繊維ネット	K型 (37.5×37.5mm目)	24.0m <sup>2</sup>	
なまし鉄線	Φ 4.0mm	3.2kg	

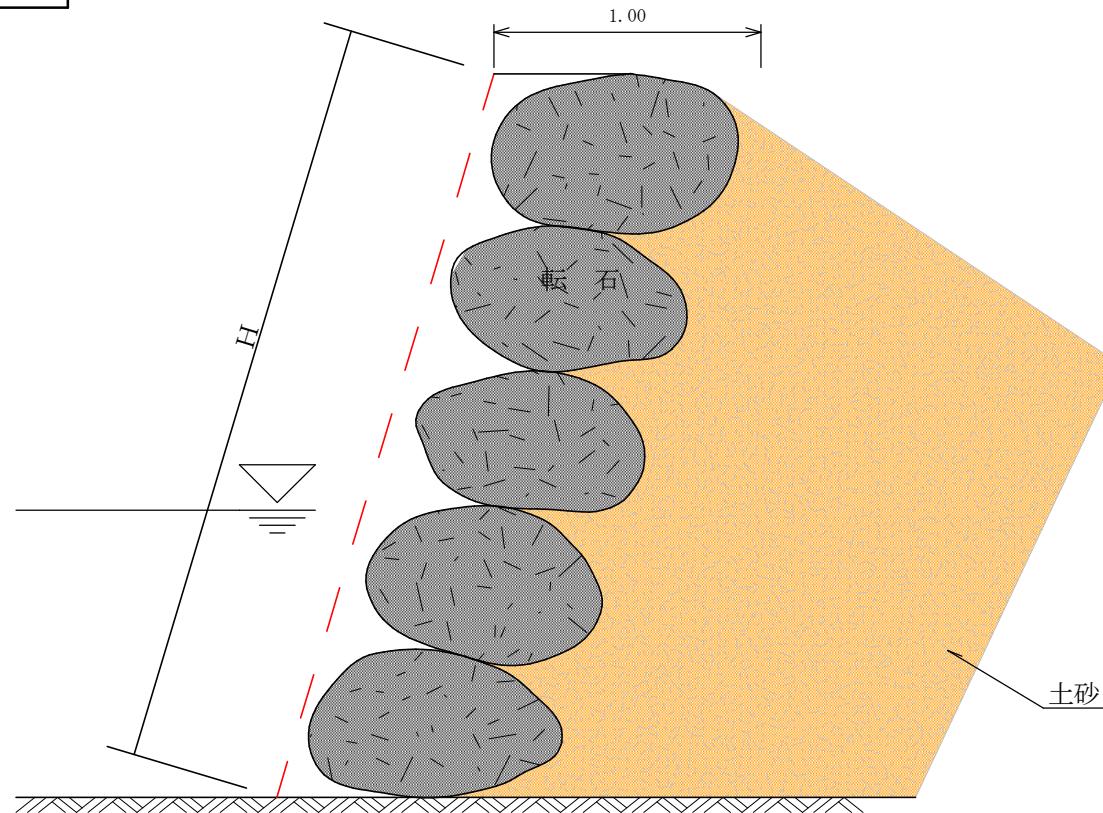
番号	工種	種別
締1	仮締切工	大転石練積



大転石練積仮締切工 数量表 1.0m2 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
転 石	控長 0.7~1.3m 標準1.0m	1.00m2	
コンクリート	18-8-25(N)	0.20m3	
土 砂	埋戻し用	必要量	下表による

埋 戻 量 表						
高 さ (H)	1. 00	1. 50	2. 00	2. 50	3. 00	3. 50
埋 戻 量	0. 86	1. 29	1. 72	2. 16	2. 59	3. 02

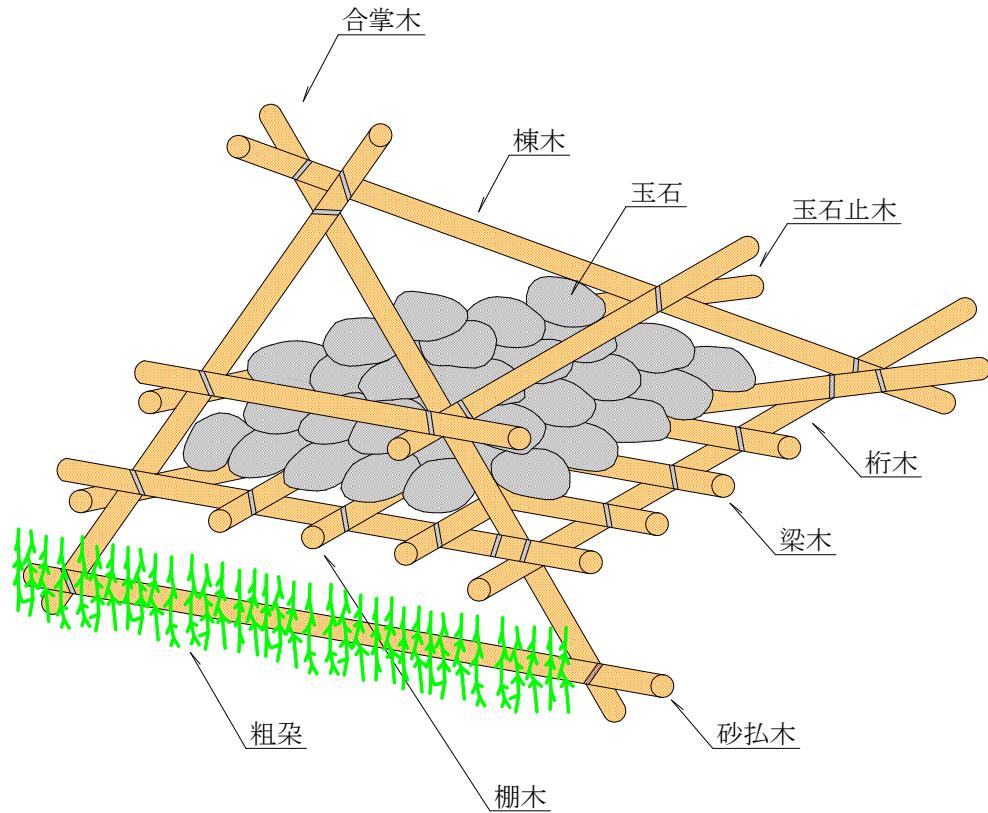
番号	工種	種別
締2	仮締切工	大転石空積



大転石空積仮締切工 数量表 1.0m <sup>2</sup> 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
転 石	控長 0.7~1.3m 標準1.0m	1.00m <sup>2</sup>	(2.10枚)
土 砂	埋戻し用	必要量	下表による

埋 戻 量 表						
高 さ (H)	1. 00	1. 50	2. 00	2. 50	3. 00	3. 50
埋 戻 量	0. 86	1. 29	1. 72	2. 16	2. 59	3. 02

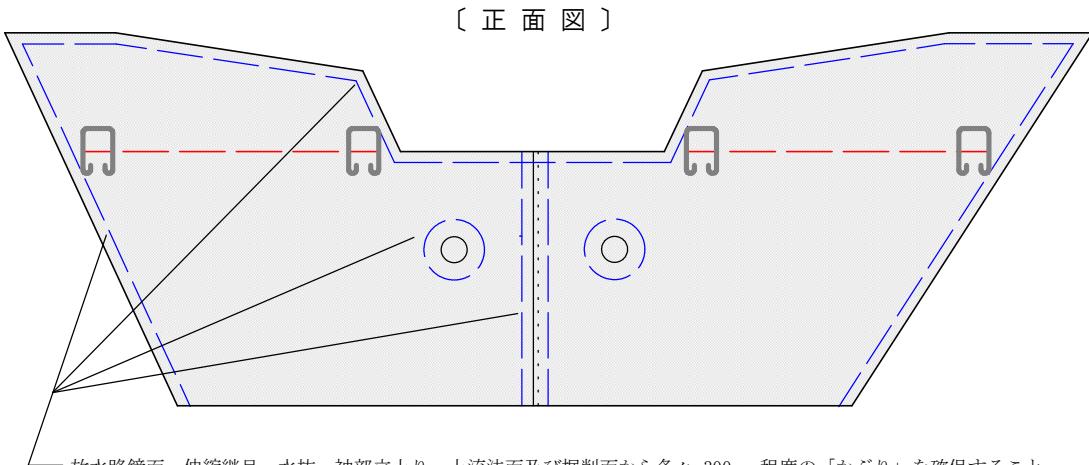
番号	工種	種別
締4	仮締切工	牛 桧



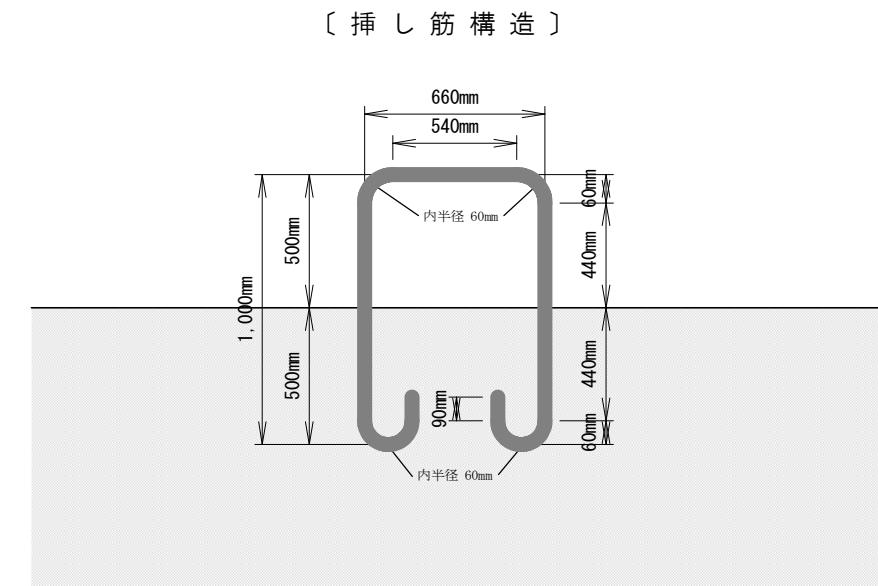
材 料 表 (1基当たり)							
区分		<A>		<B>		<C>	
名称	単位	寸法・形状	数量	寸法・形状	数量	寸法・形状	数量
合掌木	m3	末口径0.15m長3.6m 2本	0.16	末口径0.09m長2.7m 2本	0.04	末口径0.09m長1.8m 2本	0.03
棟木	m3	末口径0.12m長4.5m 1本	0.06	末口径0.09m長3.6m 1本	0.03	末口径0.09m長2.7m 1本	0.02
桁木	m3	末口径0.12m長4.5m 2本	0.13	末口径0.09m長3.6m 2本	0.06	末口径0.09m長2.7m 2本	0.04
梁木	m3	末口径0.12m長2.7m 4本	0.16	末口径0.09m長2.7m 3本	0.07	末口径0.09m長1.8m 3本	0.05
砂払木	m3	末口径0.12m長2.7m 1本	0.04	末口径0.06m長2.7m 1本	0.01	末口径0.06m長1.8m 1本	0.01
棚木	m3	末口径0.06m長2.1m 12本	0.09	末口径0.06m長1.8m 7本	0.05	末口径0.06m長1.5m 5本	0.03
玉石止木	m3	末口径0.06m長2.2m 4本	0.03	末口径0.06m長1.6m 4本	0.02	末口径0.06m長1.1m 4本	0.02
木材計	m3		0.67		0.28		0.20
鉄線	kg	なまし 10-12#	5.24	なまし 10-12#	3.28	なまし 10-12#	2.95
玉石	m3	径0.15m以上	0.80	径0.15m以上	0.60	径0.15m以上	0.45
粗朶	束	根元径2cm長1.5m 1m繩×	1.50	根元径2cm長1.5m 1m繩×	1.20	根元径2cm長1.5m 1m繩×	1.00

番号	工種	種別
他1		挿し筋

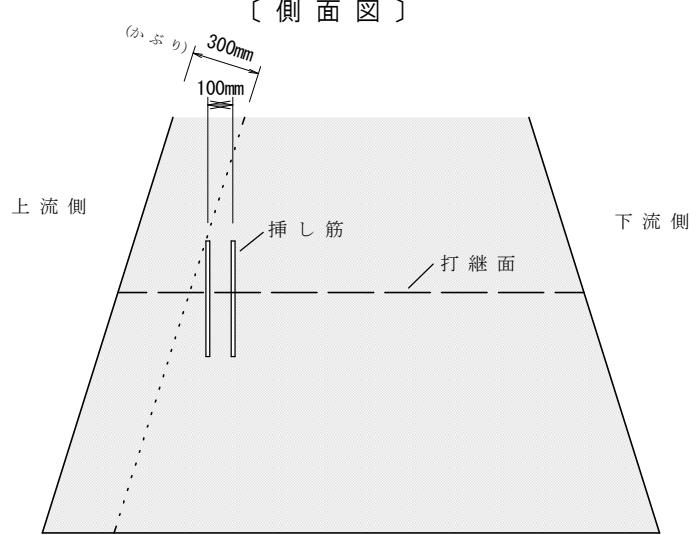
○水平打継目の挿し筋構造は、次による。



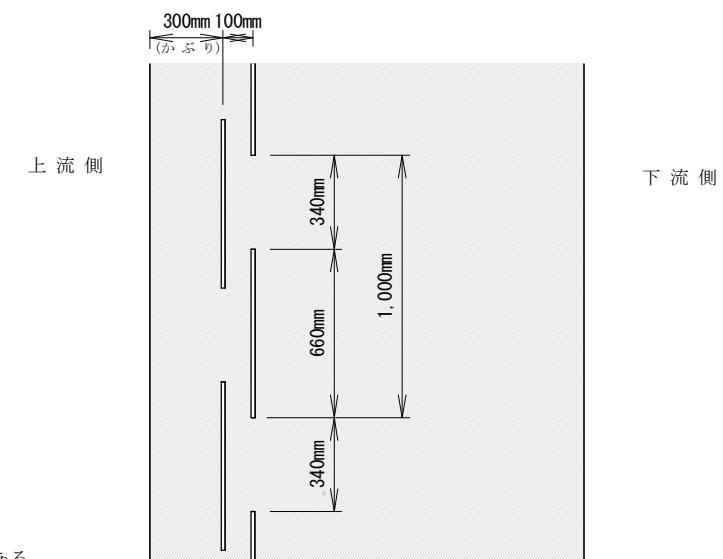
放水路鏡面・伸縮継目・水抜・袖部立上り・上流法面及び掘削面から各々 300mm 程度の「かぶり」を確保すること。



[側面図]



[平面図]



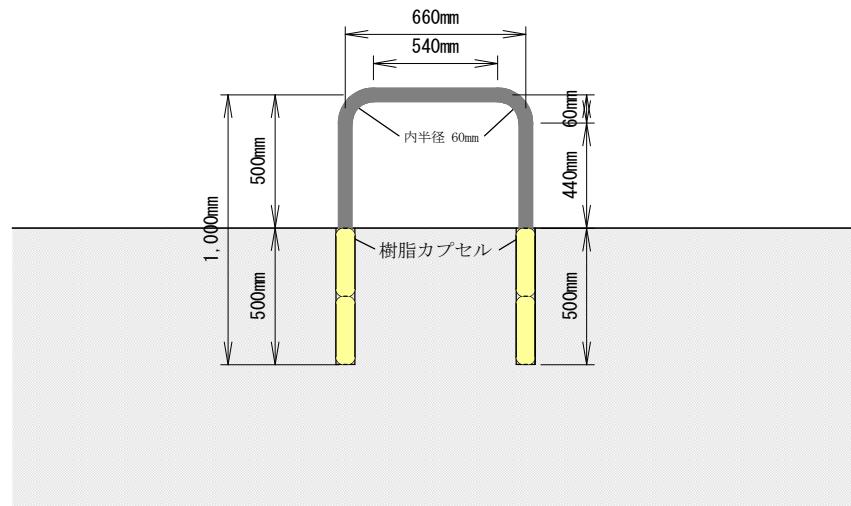
※ 尺寸表示は内側寸法である。

挿し筋 (水平打継目) 数量表		打継面横 1.0m 当り	
名 称	規 格	数 量	備 考
異形棒鋼	SD345 D22	19.2kg	9.58kg * 2組

番号	工種	種別
他2-1		挿し筋

○ 既設治山ダムの補修・嵩上げ等に伴う打設済みコンクリートへの水平打継の挿し筋構造は、次による。  
なお、挿し筋の配置方法については、定規図【他1】に準じる。

[挿し筋構造]



※ 寸法表示は内側寸法である。

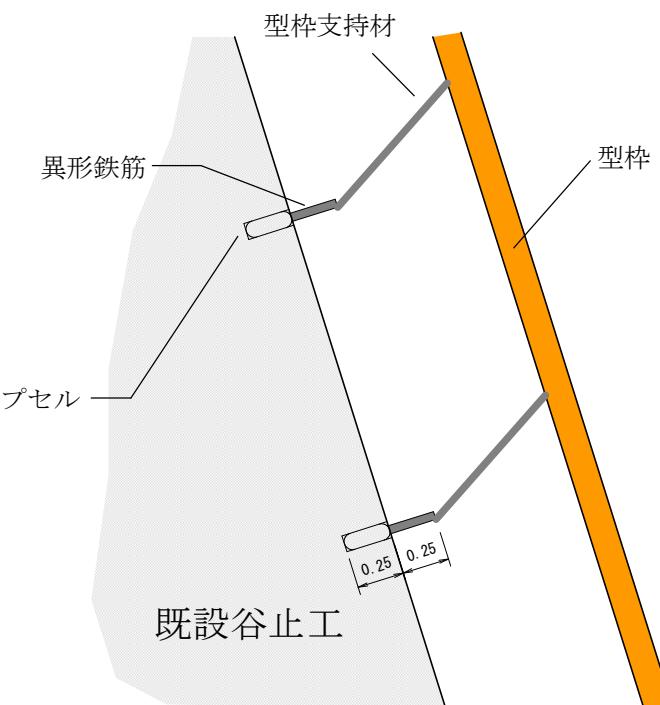
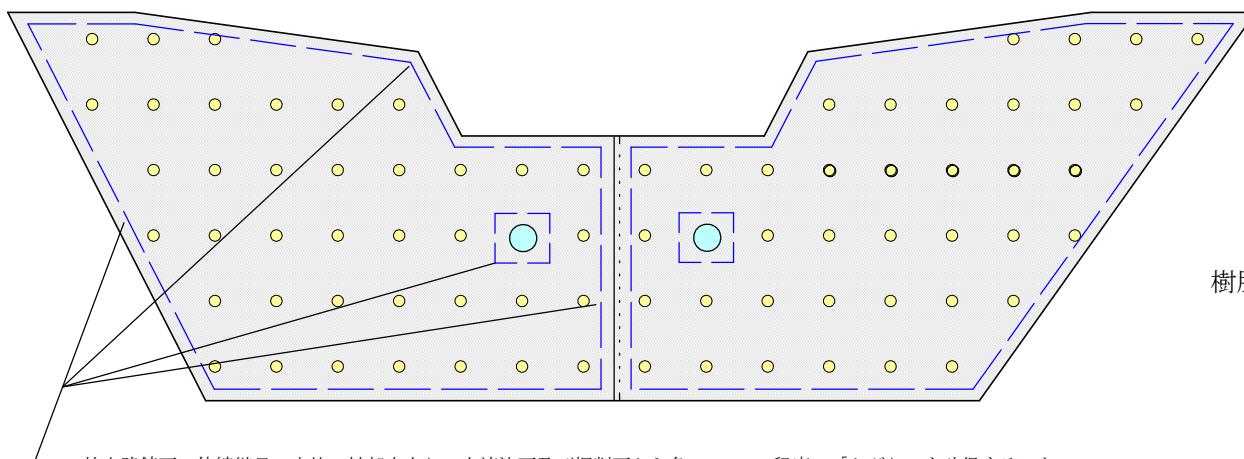
挿し筋 (補修・嵩上げ等) 数量表 打継面横 1.0m 当り			
名 称	規 格	数 量	備 考
鉄筋コンクリート用棒	SD345 D22	16.1kg	8.04kg * 2組
樹脂カプセル	コンクリートアンカー用	8.0本	(D22 穿孔深250mm)

番号	工種	種別
他2-2		挿し筋

○ 既設治山ダムの補修・増厚等に伴う旧コンクリートへ挿し筋構造は、次による。  
なお、挿し筋は3m<sup>2</sup>当たり1箇所設置設置する。

### [ 拡大図 ]

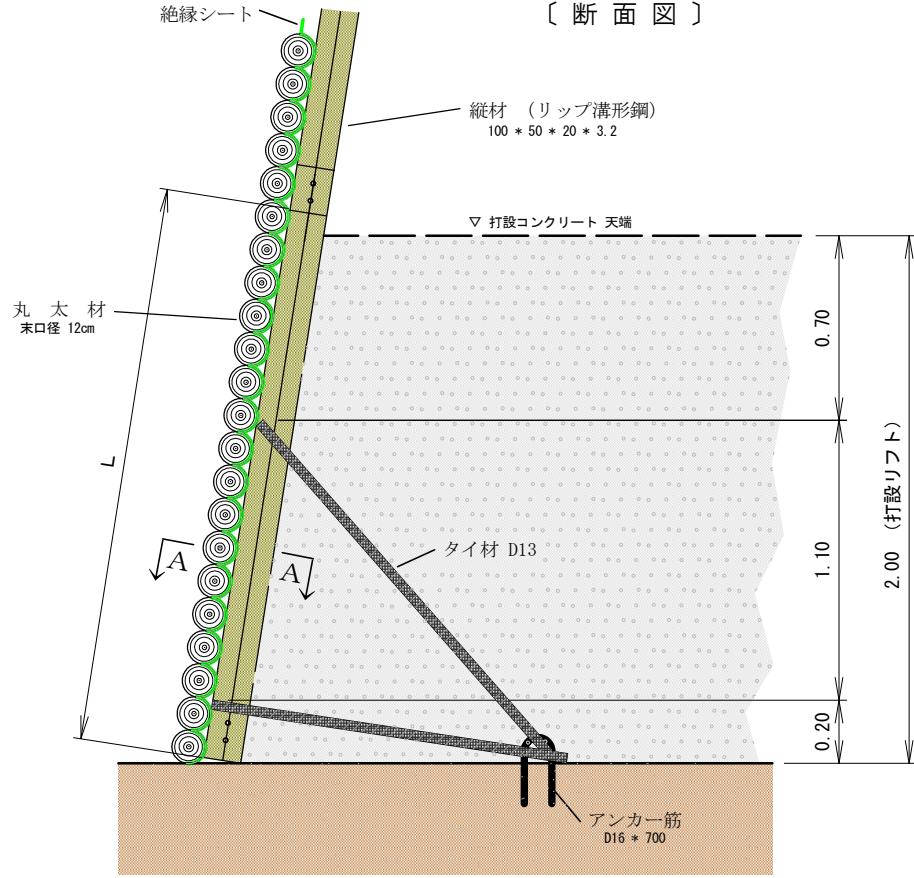
### [ 正面図 ]



挿し筋(補修・増厚等) 数量表			
名 称	規 格	数 量	備 考
異形鉄筋	SD295 D22 L=500mm	2.4kg	
樹脂カプセル	コンクリートアンカー用	1.0本	(D22 穿孔深250mm)

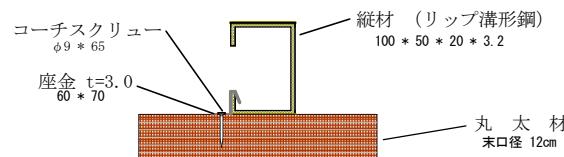
番号	工種	種別
他3	残存型枠	丸太

[断面図]

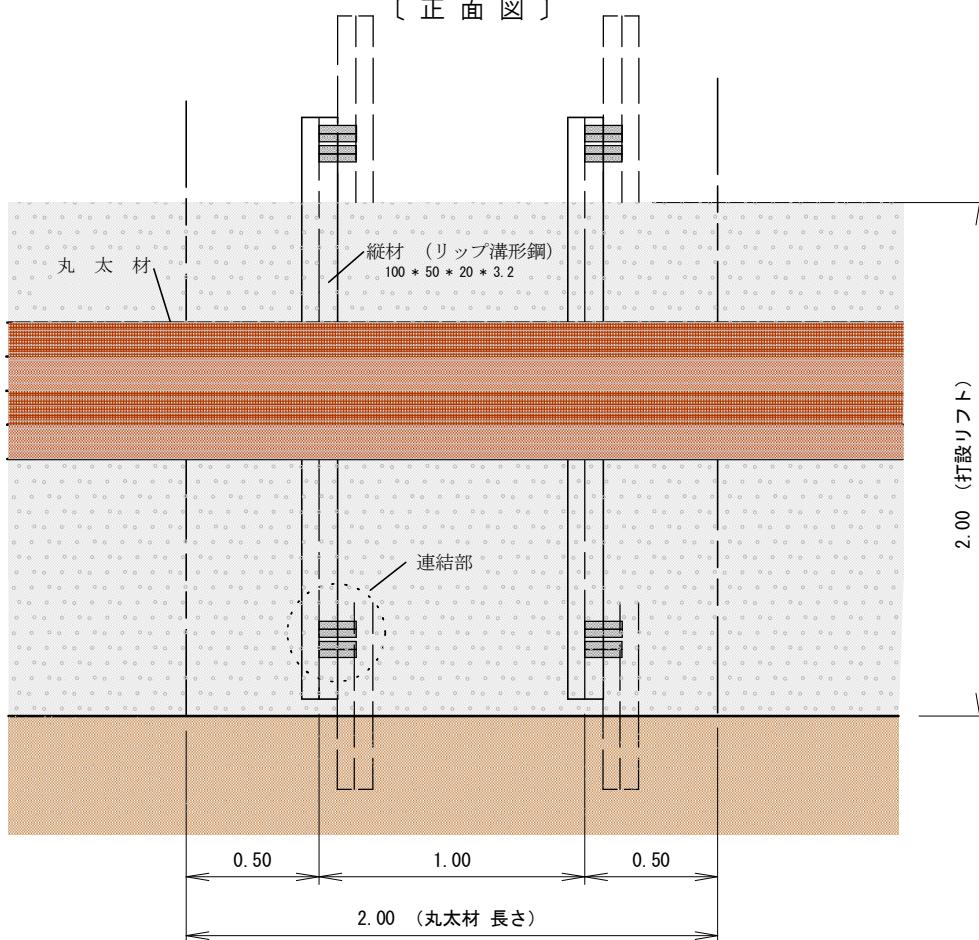


A

[平面図]



[正面図]



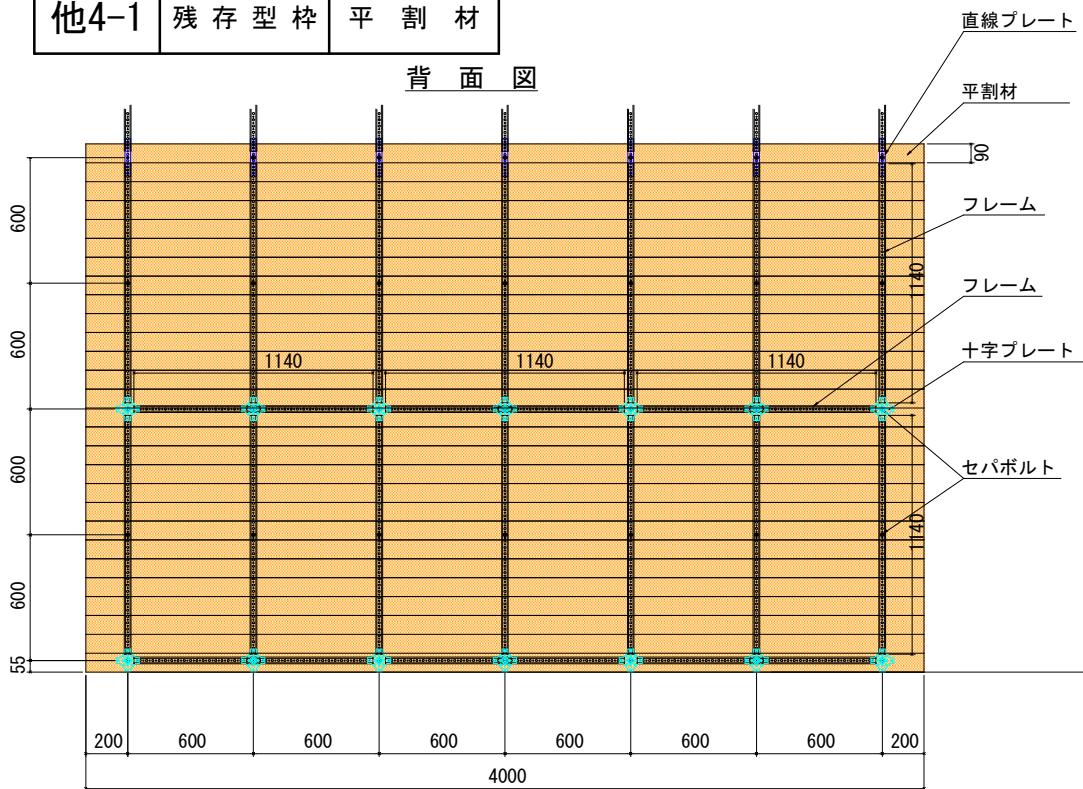
残存型枠 (丸太) 数量表

100.0m<sup>2</sup> 当り

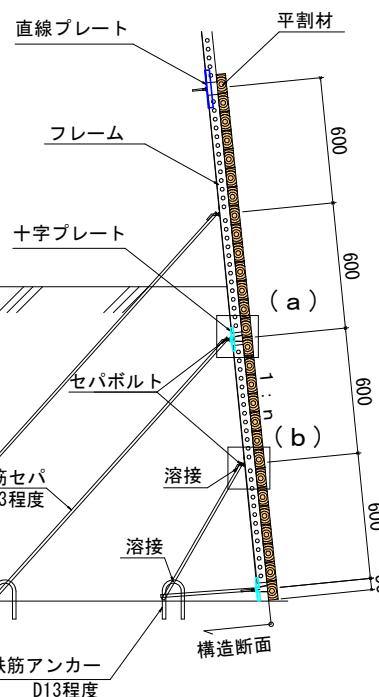
名 称	規 格	数 量	備 考
丸 太 材	長さ2.0m	末口径 8~14cm	11.8m <sup>3</sup>
		末口径 14~16cm	12.8m <sup>3</sup>
	長さ2.0m	末口径 8~14cm	12.0m <sup>3</sup>
		末口径 14~16cm	13.1m <sup>3</sup>
絶 缘 シ ー ト	ターポリン紙		
鋼 材		0.85t	

記号	工種	種別
他4-1	残存型枠	平割材

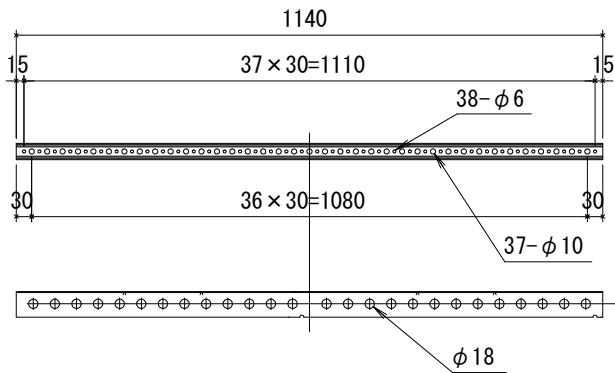
## 背 面 図



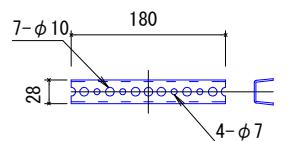
### 側面図



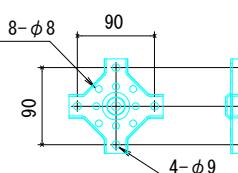
## フレーム構造



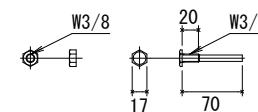
## 直線プレート



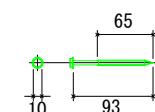
## 十字プレート



## セパボルト・ナット



## 六角ボルトビス

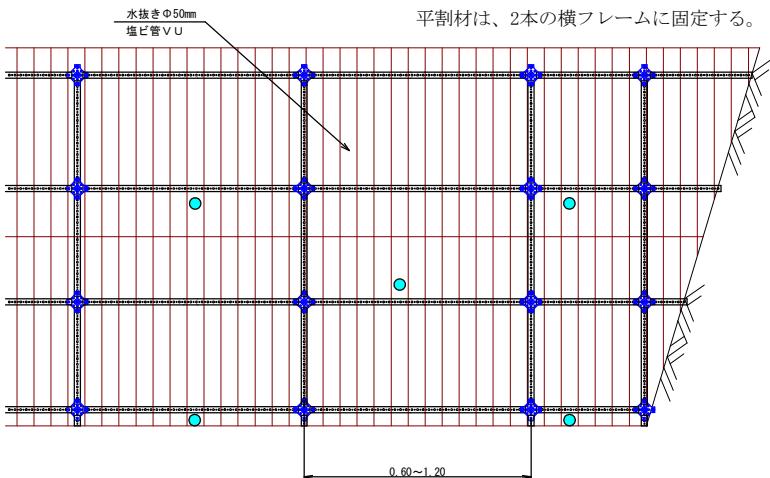


残存型枠(平割材)		数量表	100m <sup>2</sup> 当り
名称	規格	数量	備考
平割材	45mm×90mm L=4000mm	4.8 m <sup>3</sup>	
フレーム	軽量鋼製枠複合式50型(SPHC-P、エポキシ樹脂二重電着塗装)	1.0 式	付属品を含む

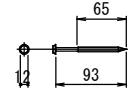
＜備考＞ 横使いフレームは施工時のガイドフレームの為、適宜省略する事が出来る

番号	工種	種別
他4-2	残存型枠	平割材 (土留・擁壁)

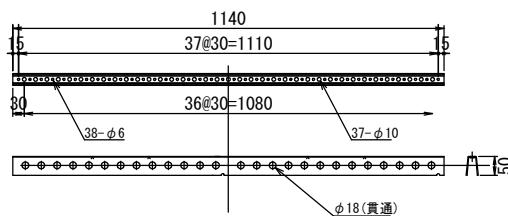
[背面図]



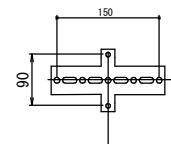
六角ボルトビス S=1/5  
(M6.5×93)



フレーム S=1/10



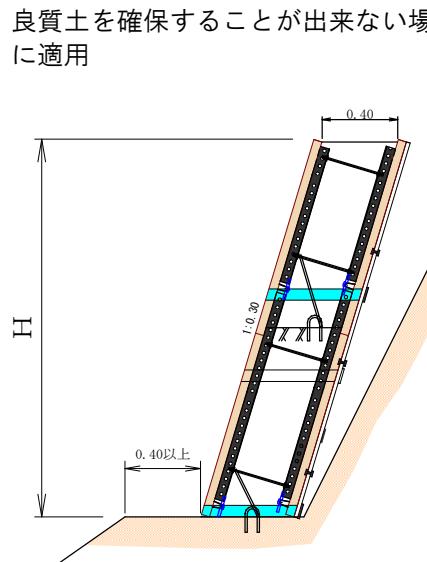
十字プレートセット S=1/5



タッピングビス  
+十字プレート付属品

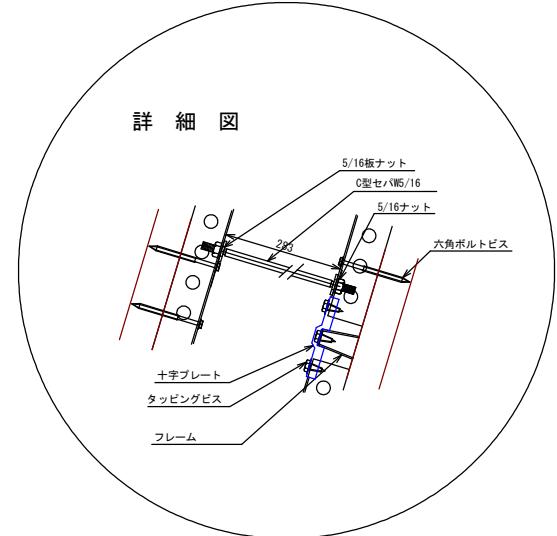


良質土を確保することが出来ない場合  
に適用



※ 水抜パイプは必ず最下部に設置する。  
ただし流水の逆流が懸念される場合は、  
低水位以上に設置する。

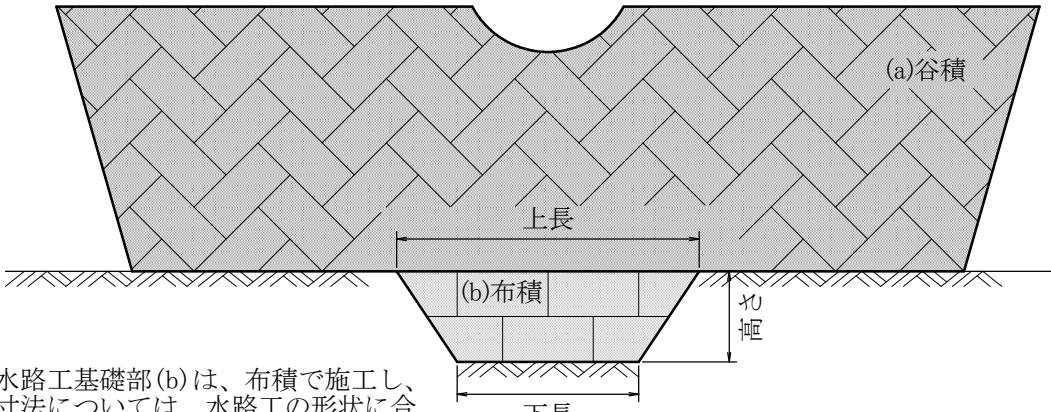
[側面図]



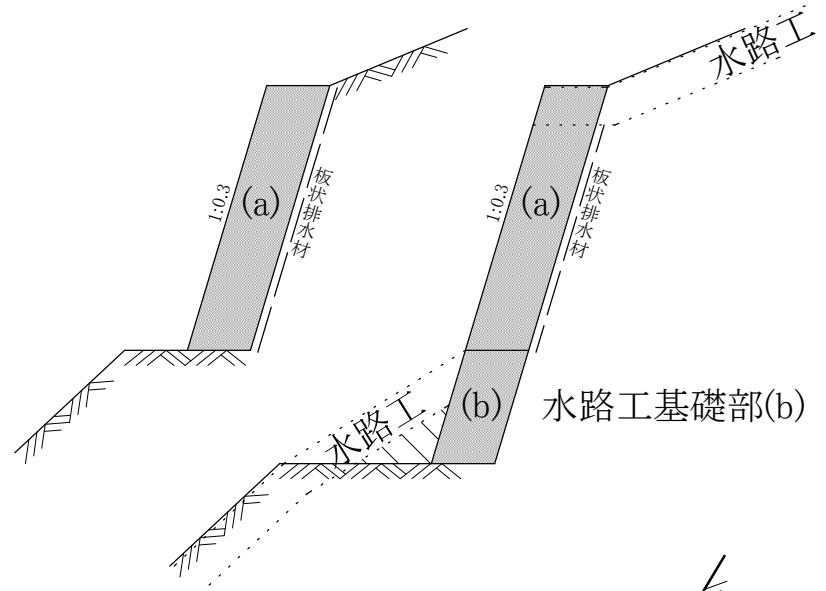
残存型枠(平割材用)上下流面セット (13.7kg/m<sup>2</sup>)

名 称	規 格	数量表	
		側 面 図	備 考
残存型枠(平割材用)上下流面セット	軽量鋼製枠複合式 (SPHC-P、エポキシ樹脂二重電着塗装)	100.0m <sup>2</sup> (土留工施工面積)	C型セバ、付属品を含む
平割材	45mm×90mm L2000mm	9.6m <sup>3</sup>	
水抜パイプ	塩ビ管 VU 径50mm 長0.50m	50 [100] 本	
板状排水材	厚さ 7mm 幅 30cm	100.0m <sup>2</sup>	

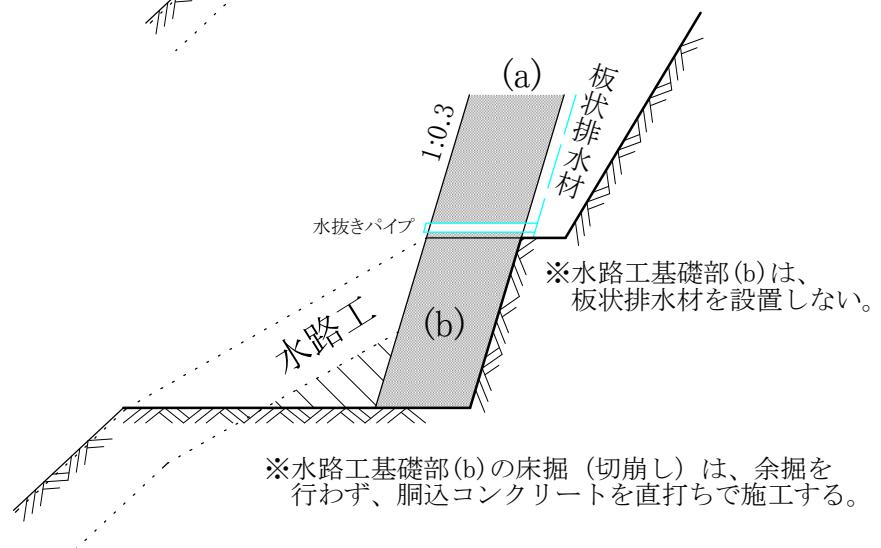
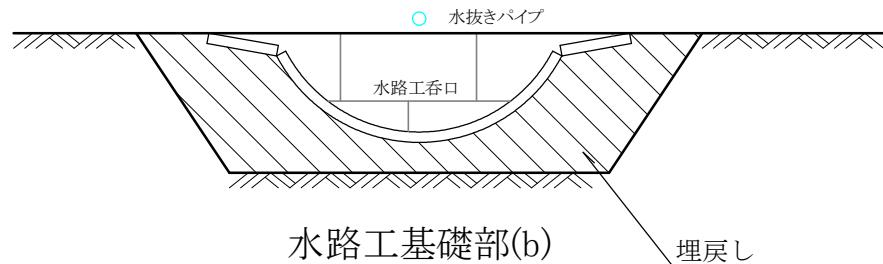
番号	工種	種別
他5	その他	水路工基礎部



※水路工基礎部(b)は、布積で施工し、寸法については、水路工の形状に合わせ必要幅とする。



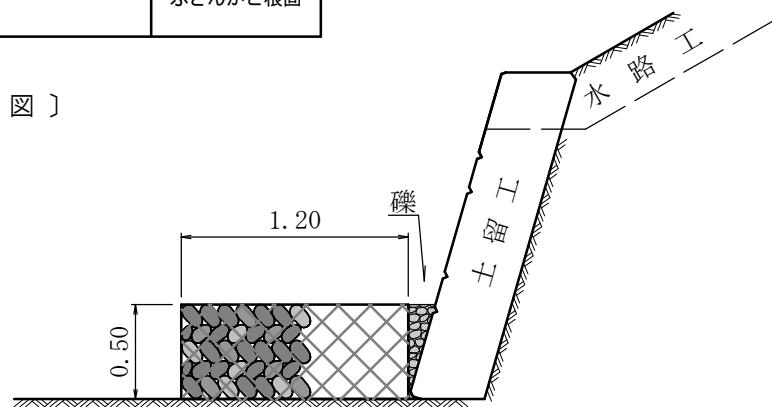
#### ◆水路工基礎部(b)と水路工呑口の設置例



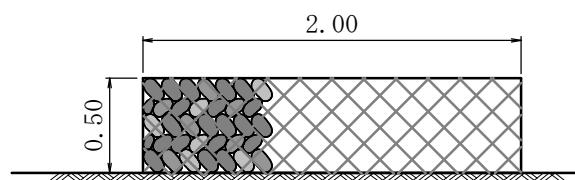
※水路工基礎部(b)は、間知ブロックを使用(植生土のう水路工等に適用)

番号	工種	種別
他6		ふとんかご根固

[側面図]

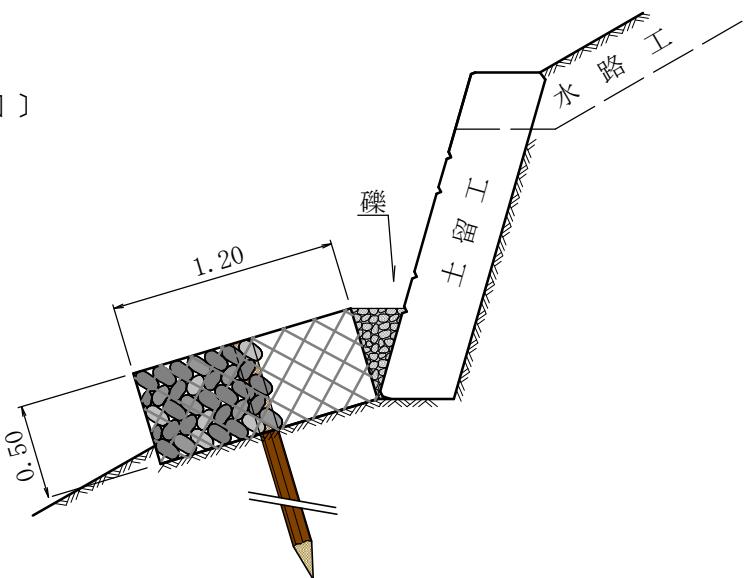


[正面図]

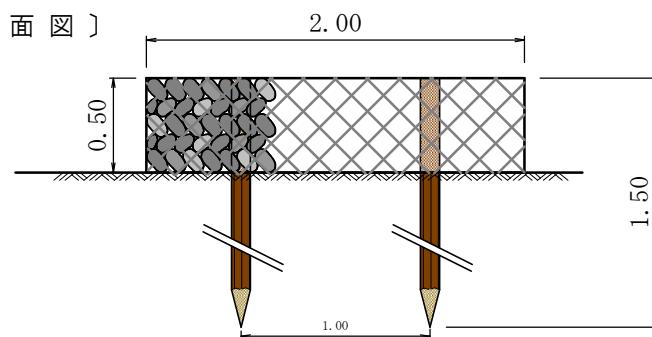


凡例	
----	--

[側面図]



[正面図]



ふとんかご根固工(1) 数量表 1.0個当たり

名 称	規 格	数 量	備 考
ふとんかご	網目15cm 3.2mm 200×120×50cm	1.0本	
詰 石	径 15~30cm	1.14m <sup>3</sup>	
礫	径 5~15cm	0.07m <sup>3</sup>	

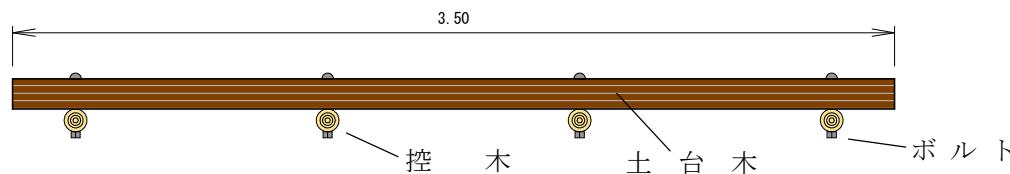
ふとんかご根固工(2) 数量表 1.0個当たり

名 称	規 格	数 量	備 考
ふとんかご	網目15cm 3.2mm 200×120×50cm	1.0本	
詰 石	径 15~30cm	1.14m <sup>3</sup>	
礫	径 5~15cm	0.11m <sup>3</sup>	
止 杭	末口径 10cm · 長さ1.5m以上	2.0本	

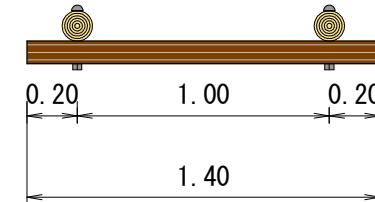
番号	工種	種別
他7	基礎工	梯子土台

凡例	
----	--

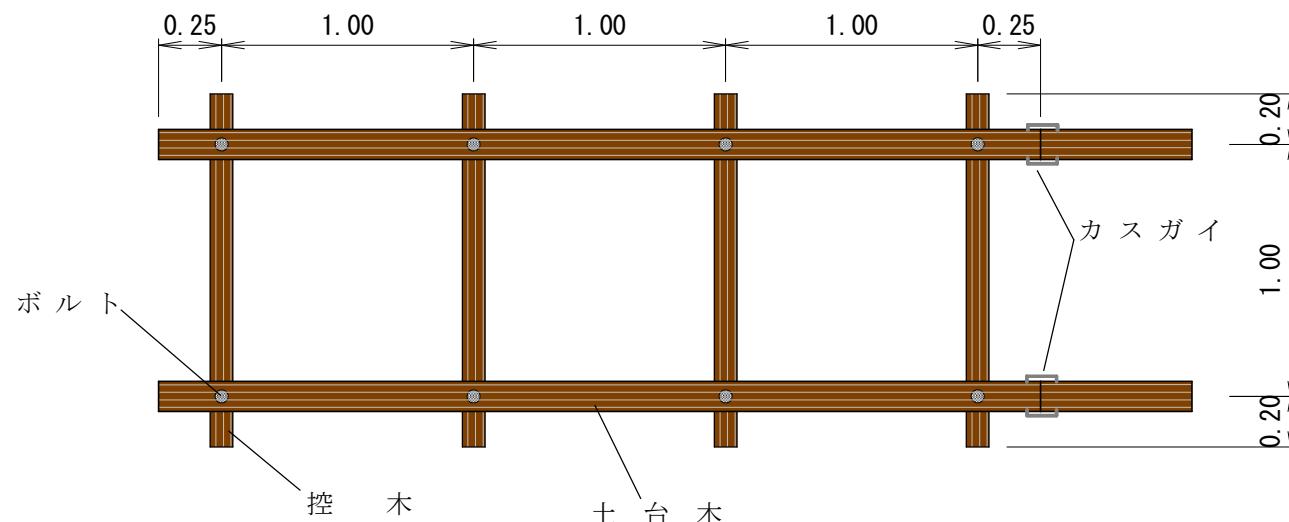
[正面図]



[側面図]



[平面図]



梯子土台数量表				10.0m 当り
名 称	規 格	数 量	備 考	
土 台 木	末口径 12cm ・ 長さ 3.5m	0.30m <sup>3</sup>	( 6.0 本 : マツ類)	
控 木	末口径 9cm ・ 長さ 1.4m	0.11m <sup>3</sup>	(10.0 本 : マツ類)	
ボ ル ト	φ 13mm ・ 長さ 240mm	20.0 本		
か す が い	φ 9.0mm ・ 長さ 100~150mm	12.0 本		